

公立大学法人広島市立大学の概要

2 0 2 2 年 6 月

公 立 大 学 法 人

広 島 市 立 大 学

目 次

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念	1
(2) 沿革	1
(3) 運営組織	(2022年4月1日時点)	2
(4) 学部、大学院、附置研究所の概要	(2022年4月1日時点)	3
(5) 附属施設の概要(概要)	(2022年4月1日時点)	7
	(利用状況) (2021年度)	7
(6) 施設	(2022年4月1日時点)	9
(7) 学年暦	(2022年度)	11
(8) 教職員数(2022年度)	(2022年5月1日時点)	12
	(2021年度) (2021年5月1日時点)	13
(9) 学生数	(2022年5月1日時点)	14
(10) 研究生・留学生等	(2021年度)	14
(11) 入学検定料、入学料、授業料等	(2022年4月1日時点)	15

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー	16
(2) 特色ある講義科目	(2022年度)	39
(3) 外部資金の獲得状況	(2017年度～2021年度)	41
(4) 科学研究費補助金の内訳	(2021年度)	42
(5) 研究開発費助成制度等の採択状況	(2012年度～2021年度)	47
(6) FD・SD活動実施状況	(2021年度)	53

3 入学者選抜

(1) 入学者選抜の概要(学部)	(2023年度入試)	55
	(大学院) (2023年度入試)	56
(2) 入学者選抜実施状況	(2022年度入試)	57
(3) 年次別競争率等	(2013年度～2022年度入試)	59
(4) 入学者の状況(出身都道府県別内訳(学部))	(2018年度～2022年度)	60
(5) 社会人入試(大学院)の状況(募集人員等)	(2022年度入試)	61
	(入学者数) (2017年度～2021年度)	62

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況	(2021年度)	63
-------------	----------------	----

目 次

5 就職

(1) 就職・進学等			
ア 学部別の状況	(2021年度卒)	68
イ 就職率の推移	(2012年度卒～2021年度卒)	69
(2) 就職先の構成比			
ア 業種別	(2021年度卒)	70
イ 地域別	(2021年度卒)	71
(3) 就職先企業等一覧	(2021年度卒)	72

6 社会連携

(1) 産学官連携			
ア 推進体制	(2022年4月1日時点)	76
イ 研究・事業等の実施状況	(2012年度～2021年度)	76
(2) 地域連携			
ア 公開講座	(2021年度)	79
イ その他の事業	(2021年度)	84
ウ 広島市等の学外委員等の就任状況	(2021年度)	85
(3) 高大連携			
ア 教育ネットワーク中国における高大連携	(2021年度)	90
イ 広島市教育委員会との高大連携講座	(2021年度)	90
ウ 高校での模擬授業の開催	(2021年度)	91
(4) その他の連携	(2022年4月1日時点)	92

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校	(2022年4月1日時点)	94
(2) 国際交流事業実績	(2021年度)	94
(3) オンラインプログラムの実績	(2021年度)	95

1 大学の概要

(1) 建学の基本理念

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」

(2) 沿革

- 1989年11月 広島市立大学（仮称）設立準備委員会を設置
- 1991年7月 「広島市立大学（仮称）基本構想」策定
- 1992年11月 校舎建設工事起工式
- 1993年12月 文部省設置認可
- 1994年4月 開学
- 1996年10月 講堂完成
- 1998年4月 大学院修士課程開設。広島平和研究所（中区）を設置
- 2000年3月 情報科学部棟別館完成
- 2000年4月 大学院博士後期課程開設
- 2003年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 2003年4月 情報科学部情報数理学科、大学院情報科学研究科博士前期課程情報数理学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更
- 2007年4月 情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編（2007年度入学生より）
大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編（2007年度入学生より）
- 2007年7月 社会連携センターを設置
- 2010年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 2012年4月 情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編（2012年度入学生より）
- 2013年4月 大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編（2013年度入学生より）
国際交流推進センターを設置
- 2013年10月 サテライトキャンパス（中区）を開設
- 2014年4月 キャリアセンターを設置
- 2016年4月 大学院情報科学研究科博士前期課程創造科学専攻を医用情報科学専攻に名称変更（2016年度入学生より）
- 2016年10月 COC+宮島教育研究施設（サテライトハウス宮島）を開設（2020年3月閉所）
- 2018年4月 国際学生寮「さくら」を開寮
- 2019年4月 大学院平和学研究科（修士課程）を開設
- 2021年4月 大学院平和学研究科（博士後期課程）を開設

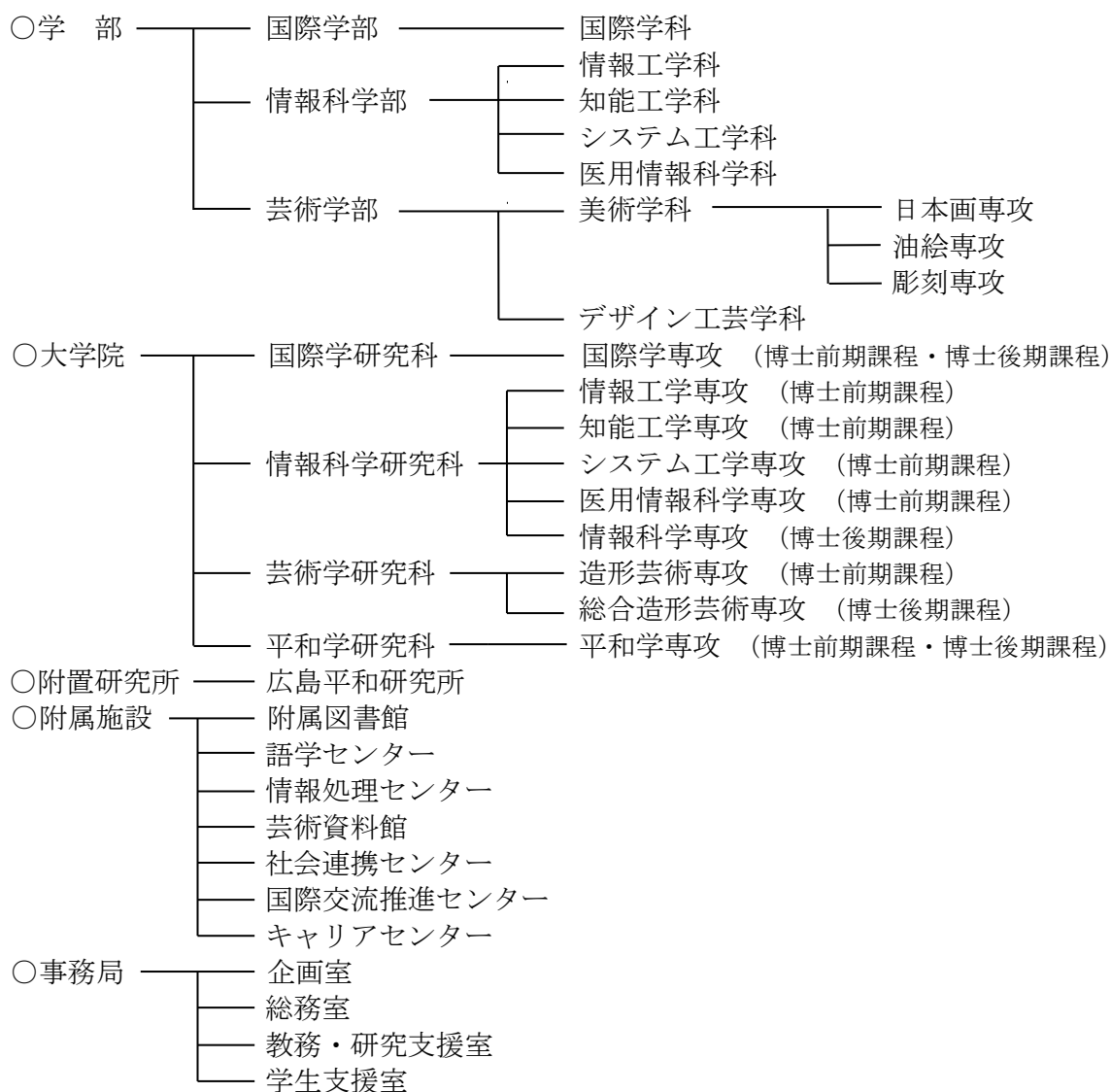
(3) 運営組織 (2022年4月1日時点)

ア 公立大学法人広島市立大学の概要

- 所在地
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
- 設立年月日
2010年4月1日
- 資本金
155億1,019万1,000円
(広島市出資額 155億1,019万1,000円 出資割合100%)
- 役員

役職名	氏名	備考
理事長	若林 真一	学長
理事 (企画・戦略担当)	石田 賢治	副学長 (企画・戦略担当)
理事 (教育・研究担当)	渡辺 智恵	副学長 (教育・研究担当)
理事 (総務・危機管理担当)	天野 博司	事務局長
理事 (非常勤)	岡谷 義則	(株)中国新聞社特別顧問
理事 (非常勤)	秋山 伸隆	県立広島大学名誉教授
監事 (非常勤)	大本 和則	弁護士
監事 (非常勤)	吉中 邦彦	公認会計士

イ 構成図



(4) 学部、大学院、附置研究所の概要（2022年4月1日時点）

ア 学部／大学院

(7) 国際学部／大学院国際学研究科

a 教育方針

(a) 国際学部：

国際学部は、異質で多様な知識を、単なる情報としてではなく、問題の解決に役立つべく統合された新しい知として身に付け、世界各地の違いのあり方を尊重し、共生の必要性を理解できる国際的な感覚を備えた人材を育成することを目的としている。真の国際人を目指し、5つのプログラム（「国際政治・平和」、「公共政策・NPO」、「多文化共生」、「国際ビジネス」、「言語・コミュニケーション」）を柱とした学際的なカリキュラムを設け、学生の関心や将来目的に応じた多様な履修形態を可能にするとともに、学生同士や教員としっかりとした議論ができるように、少人数による演習科目を重視している。

(b) 大学院国際学研究科：

博士前期課程においては、国際研究の先導的な役割を担うとともに、国際社会の問題点や課題を自ら発見し、解決できる実践的な真の国際人の養成と、高度で先端的な国際研究に携わることのできる教育・研究者の育成を目指している。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応じて、国際社会の文化、政治、経済、教育、科学、産業等、さまざまな分野において指導的役割を果たしうる高度な専門職業人及び高度で先端的な学際的研究に携わる能力を備えた教育・研究者の育成を目指している。

b 研究活動状況

学際的な学術研究やコロキウム形式による国際的な研究交流活動などを行っている。その研究成果を学術書の公刊や国内外の学会、シンポジウム等において研究発表するとともに、公開講演会、公開講座を通して地域社会への還元を行っている。

また、2002年度より、本学部教員が独自に開発したコンピュータ・ネットワークによる英語集中教育プログラム（※注）を正規の英語科目として導入したほか、本プログラムを本市の生涯学習施設が主催するリカレント教育事業の一環として取り入れるとともに、公民館等でも市民向けの講座を開催している。

※注：英語の語学力のうち、主に「聞く」「読む」の2技能をより高い水準に向上させることを目的に、コンピュータ・ネットワークを利用して英語学習を実施するもので、将来的にはインターネットによる受講により市民を対象とした在宅での英語の授業実施を目指している。

(1) 情報科学部／大学院情報科学研究科

a 教育方針

(a) 情報科学部：

情報科学を統合する視点に立って、理論的な基礎や情報メディアからコンピュータ、人工知能、ヒューマンインタフェース及びこれらを統合したロボットなどの各種システムに至るまで、幅広く情報科学に関する専門的な教育研究を行っている。

また、高速のキャンパス情報ネットワークと多数のコンピュータを活用し、電子メールや掲示板などによる学生相互の情報交換やレポート提出、インターネット上に公開されている情報の調査や調査研究結果の公表など、知的生産のためにコンピュータを道具として有効活用できる人材を育成している。

さらに、21世紀の知的社会で、問題解決ができる人材を育成するため、実践、実習、演習、口頭発表などの体験的・総合的学習を重視した教育プログラムや、論理的思考の訓練や発表・表現の手段としての言語（日本語、英語及びコンピュータ言語など）の教育訓練プログラムを実施している。

(b) 大学院情報科学研究科：

博士前期課程においては、情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者及び高度専門技術者を養成することを目的とし、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータ&ネットワークを創生する能力 ②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理及びシステム化する能力 ③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力 ④情報、自然科学、工学の3分野を医用情報科学分野の基礎と位置付け体系化し、それらを実践的に応用展開する能力 ⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材の養成を行っている。

博士後期課程においては、新しい時代の要請に応え、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目的とし、①高度な専門知識と幅広い識見、実践力を持つ研究者・技術者 ②先端的な科学技術に柔軟に対応し、均衡のとれた学識と感性を持って後進を指導できる教育者 ③高度な科学技術を広く社会に還元し、地域の活性化に資する人材 ④自主的課題発掘能力、実践的課題解決能力、高度な研究開発能力を備えた人材の養成を行っている。

b 研究活動状況

多岐にわたる情報科学の研究分野において、高度で先端的な学術研究を行っており、特に他大学・企業との人的交流、受託研究、共同研究を実施しながら多様かつ柔軟な研究活動を実施している。

産学官連携への取り組みも積極的に実施しており、本学の産学官連携推進活動の中核として、多様な研究活動を推進しているほか、地域産業界を対象とした研究公開など、積極的な情報発信を行っている。

(ウ) 芸術学部／大学院芸術学研究科

a 教育方針

(a) 芸術学部：

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと習得し、多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際社会でもアートを通じて活躍できる能力を育むことを目指している。

このため、自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の習得を重視した教育を行うとともに、独自の表現方法と出会えるよう過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる多角的かつ総合的な教育を行っている。また、地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を学び、社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供している。

さらに、単科大学が多い芸術系大学の中で3学部構成という特色を生かし、国際的な視野の下に教育・研究を推進するため、3学部の連携による幅広い教養教育を基礎に美術教育を行っている。

(b) 大学院芸術学研究科：

芸術創造活動を自ら行う芸術家、研究者の養成と、地域文化振興のための人材養成を目指し教育・研究を行っている。また、各研究分野の内容を深化させるとともに、各領域を横断する研究や理論的研究など、より深く総合的な教育・研究を行っている。前期、後期課程とも、複数の専攻に分割する構成をとらず、造形芸術専攻、総合造形芸術専攻の各1専攻とし、一貫した教育体制を整え、以下の内容の高度な教育・研究を実践している。

- ・ 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究
- ・ 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究
- ・ 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造、表現及びその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究
- ・ 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究

b 研究活動状況

地域の美術文化及び産業の振興・発展に多様な形で貢献に努めるため、地域とともに歩む大学として専門分野に関わる諸活動に参画し、作品制作に関わる研究や実技指導、展覧会の審査委員等の活動を幅広く行っている。

特に、地域団体との協力による文化イベントの開催は、高い評価を得ている。

(I) 大学院平和学研究科

a 教育方針

平和学研究科は、国際紛争及びグローバル問題の背景・要因を分析する手法を修得するとともに、平和創造及び平和維持に貢献する能力を身に付けるための教育課程を通じ、国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる人材の養成を行っている。

b 研究活動内容

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論関連カリキュラムとアジア、特に東アジアの地域研究関連科目を中心としたカリキュラムの学習を通して、現代アジアの国際関係の構造及び政治・ガバナンスの基本構造と、人間の安全保障との関係を洞察できる能力を養うとともに、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案する能力を修得させることを目指している。

イ 広島平和研究所

(7) 研究方針

- ・世界で最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、学術研究活動を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、地球社会が直面する諸問題の解決にも寄与し、世界平和の創造・維持と地域社会の発展に貢献する国際的な平和研究機関を目指す。
- ・国内外における平和研究機関と積極的に連携してネットワークを構築することにより、平和研究の発展に寄与するとともに、学術研究の成果を社会に積極的に公開する。

(イ) 研究活動状況

「核」に関する諸問題の研究、「平和」に関する理論的及び実証的研究並びに東アジアの平和に関する研究を主な研究領域として、国際社会に通用する高度な水準の学術研究を実施している。

・研究成果の公開

市民を対象とした国際シンポジウムの開催、紀要（ジャーナル）及びニューズレターの発行やホームページの運営等により研究成果の地域社会への還元に努めている。また、時宜に応じたテーマで講師を招き意見交換する「HP I 研究フォーラム」を開催するとともに、平和に関するさまざまな問題について講義形式により共に学ぶ機会を市民に提供する「連続市民講座」を実施している。

(5) 附属施設の概要 (2021 年度実績)

ア 附属図書館

図書約 34 万冊 (年間受入数約 5,000 冊)、雑誌約 300 誌、視聴覚資料約 1,900 タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディに手に入れることができる。館内には LAN 環境が整備されており、Web 情報や所蔵資料を活用しながら学習もできる。自然光を取り入れた、気持ちの安らぐ空間設計が特徴。能動的学習が進めやすい 80 人収容の大型ラーニングコモンズも人気がある。

○ 利用状況

2021 年度 入館者数 55,274 名 (231 名/日)

図書貸出 20,329 冊 (85 冊/日)、8,351 名 (35 名/日)

コロナ禍も 2 年目となり、「おうち de 図書館」と銘打った自宅等からの電子リソースの様々な活用方法を紹介する広報のシリーズ化による実施や、利用指導やトピックスを伝える当館独自の動画サイトの立ち上げにより、非来館型サービスを充実させた。入館者数 19,325 名、図書貸出 13,905 冊と入館者等が大幅に落ち込んだ前年 2020 年度に比べると回復傾向にあるが、コロナ禍以前には戻っていない。これを機に来館型、非来館型の両方を充実させたハイブリットな図書館作りを進めている。

イ 語学センター

各教室に CALL (コンピュータ支援による言語学習) システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、e ラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL 英語集中」や「e ラーニング英語」の教室としても利用されている。

自習室では、約 2,600 点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK 語学講座のテキストや CD が利用可能である。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気です留学生と母国語を教え合ったり会話練習をしたりする「ランゲージチュータープログラム」も行われている。

○ 利用状況

2021 年度 自習室の利用者数 5,451 名 (22.8 名/日)

〈内訳〉自習者 (その他含む) 5,234 名

CALL 英語集中・e ラーニング英語受講者 217 名

ウ 情報処理センター

高性能なネットワーク機器を備え、利便性に優れた情報通信サービスを提供している。実習室にはパソコンを約 160 台設置し、一般情報処理科目の実施や自習スペースとして活用されている。

教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できる。

また、学内各所で無線 LAN を整備しているほか、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備の技術支援、履修登録や成績確認を行うことができる大学情

報サービスシステムの運用管理の支援など、学内のさまざまなネットワークサービス支援を行っている。

○ 利用状況

2021 年度	実習室等の学内利用者数(講義含む)	9,095 名 (39 名/日)
	自宅等からの仮想環境利用者数	27,576 名 (76 名/日)
	学外者の仮想環境利用数	422 名

(※実習室等には情報科学部演習室・図書館貸出デスクトップを含む)

エ 芸術資料館

本館は、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチ他、国内外の作品約 1,355 点を保存している。世界の有名なデザイナーズチェアは 69 点と、まとまった数を収蔵している。そして、大学の教育成果としての作品群、「卒業制作優秀買い上げ作品」、被爆者の肖像画「光の肖像」シリーズを収蔵するなど、幅広い分野の作品の収集を行ってきた。

展示室では、企画展や学部・大学院の研究発表展を随時開催している。また、国内外の美術館や美術展への作品貸出を実施し、大学での研究や広島市立大学芸術資料館のコレクションを一般に公開している。

2020 年度から、新型コロナウイルスの流行により、入場者数、収蔵作品貸出美術展数ともに減少している。

○ 入場者数

2021 年度	1,968 名
---------	---------

○ 収蔵作品貸出美術展数

2021 年度	0 件
---------	-----

(6) 施設 (2022年4月1日時点)

ア 校地面積等

面積 (未取得の面積を含む)	取得費 (未取得分を除く)
総面積 30万2,432㎡	総額 135億5,126万円

イ 建物

施設名	建設工事費
総延床面積 7万9,830㎡	
[内訳]	
・本部棟 (RC造2F)	1,822㎡
・国際学部棟・講義棟 (SRC一部S造7F)	1万2,085㎡
・情報科学部棟・情報処理センター (SRC一部S造8F)	1万8,912㎡
・情報科学部棟別館 (SRC一部S造6F)	5,892㎡
・芸術学部棟・芸術資料館・第一工房棟 (SRC一部S造6F)	1万4,086㎡
・第二工房棟 (S造2F)	489㎡
・第三工房棟 (S造2F)	975㎡
・第四工房棟 (S一部RC造1BF2F)	1,277㎡
・図書館・語学センター (RC造4F)	6,310㎡
・講堂 (RC一部S造2F)	2,543㎡
・体育館 (RC一部S造2F)	3,100㎡
・クラブハウス (RC造2F)	400㎡
・第2クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・第3クラブハウス (軽量鉄骨造1F)	105㎡
・トラック&フィールド倉庫 (RC一部S造1F)	118㎡
・学生寮もみじ (RC造3F)	2,874㎡
・国際学生寮さくら (RC造6F)	2,830㎡
・学生会館 (RC造2F)	2,542㎡
・特殊排水処理施設 (RC造1F)	106㎡
・エネルギーセンター (RC造1F)	1,002㎡
・その他 (コリドール、駐輪場、公用車車庫)	2,257㎡
	総額 329億6,863万円

※ 第3クラブハウスについてはリース物件であり、建設工事費には含まない。

ウ 屋外

トラック&フィールド

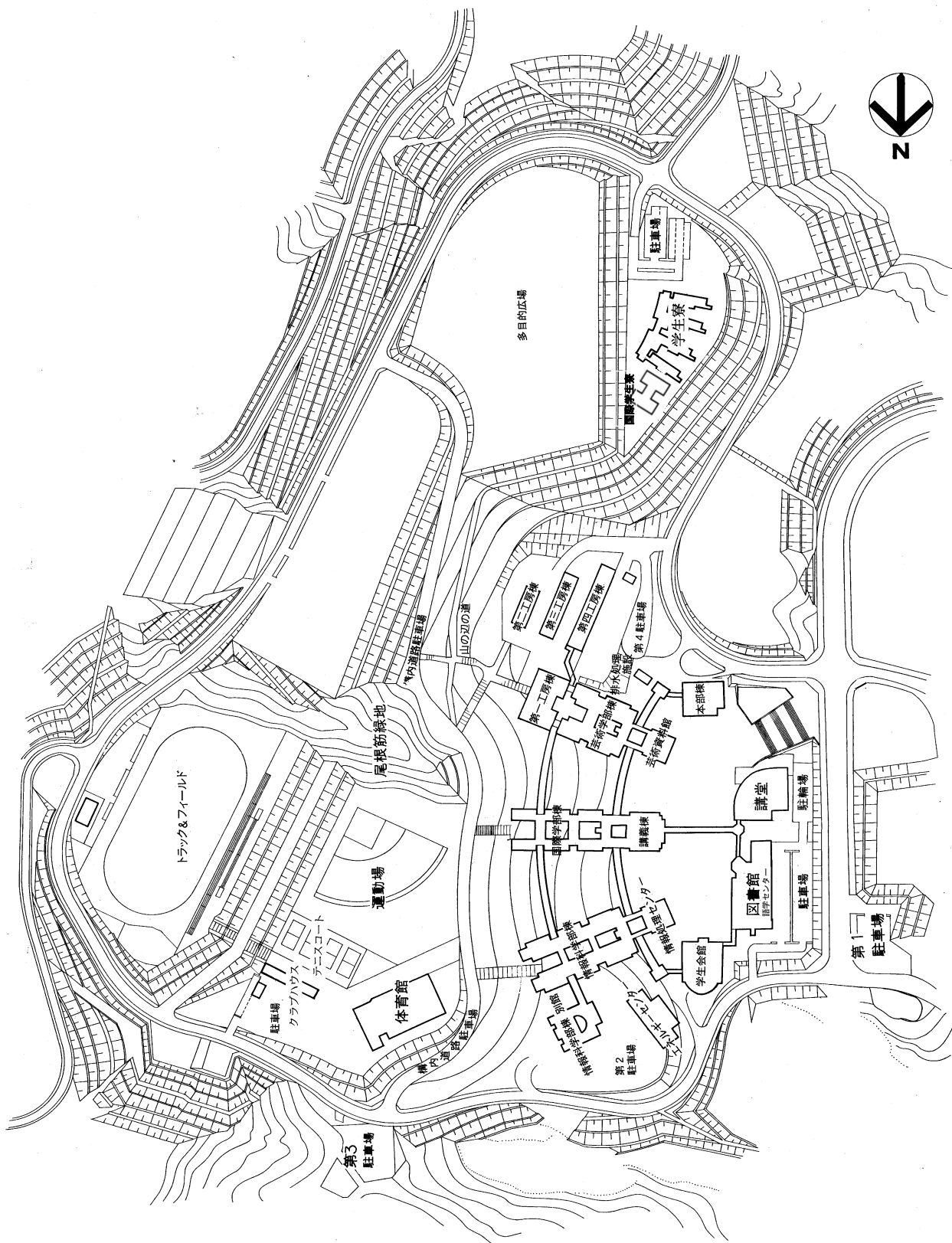
運動場

全天候型テニスコート (4面)

駐車場 (約796台)

駐輪場 (約350台)

工 施設配置図



施設配置図

(7) 学年暦 (2022年度)

前期 (4月1日～9月30日)

第1 ター ム (4 / 1 5 6 / 9)	4月1日 (金)～10日 (日)	春季休業
	4月4日 (月)	春季入学式
	4月4日 (月)～8日 (金)	オリエンテーション
	4月4日 (月)～7日 (木)	定期健康診断
	4月4日 (月)～22日 (金)	前期履修手続期間
	4月11日 (月)	前期授業開始
	4月29日 (金・昭和の日)	金曜日の授業実施
	5月2日 (月)	全学休業日
	5月20日 (金)～6月2日 (木)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	6月3日 (金)～6月9日 (木)	第1ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う)
第2 ター ム (6 / 1 0 5 8 / 9)	6月14日 (火)	開学記念日 (授業実施)
	7月15日 (金)～7月28日 (木)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	7月18日 (月・海の日)	月曜日の授業実施
	7月29日 (金)～8月9日 (火)	前期定期試験
	8月10日 (水)～9月30日 (金)	夏季休業
	8月12日 (金)・15日 (月)・16日 (火)	全学休業日
	9月26日 (月)	秋季卒業式
	9月26日 (月)～10月14日 (金)	後期履修手続期間

後期 (10月1日～3月31日)

第3 ター ム (1 0 / 3 5 1 1 / 2 5)	10月3日 (月)	秋季入学式・後期授業開始
	10月10日 (月・スポーツの日)	月曜日の授業実施
	10月29日 (土)・30日 (日)	大学祭
	11月3日 (木・文化の日)	木曜日の授業実施
	11月7日 (月)～11月18日 (金)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	11月21日 (月)～11月25日 (金)	第3ターム試験期間 (通年・セメスター科目は授業を行う)
	11月23日 (水・勤労感謝の日)	水曜日の授業・試験実施
第4 ター ム (1 1 / 2 8 5 2 / 1 0)	11月25日 (金)	防火・防災訓練の日
	12月20日 (火)	全学休業日
	12月26日 (月)～1月3日 (火)	冬季休業
	1月13日 (金)	開学記念日の振替日 (授業は実施しない)
	1月18日 (水)～1月31日 (火)	補講週 (6時限に補講を行う週)
	2月1日 (水)～2月10日 (金)	後期定期試験
	2月11日 (土)～3月31日 (金)	学年末休業
3月23日 (木)	春季卒業式	

(8) 教職員数

ア 2022年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		19 (5)	23 (2)	5			47 (7)	
	男		13 (4)	15 (1)	3			31 (5)	
	女		6 (1)	8 (1)	2			16 (2)	
情報科学部	小計		29	37	12	18 (1)	2	98 (1)	
	男		27	35	12	17 (1)	2	93 (1)	
	女		2	2		1		5 (0)	
芸術学部	小計		11 (1)	11	6	3		31 (1)	
	男		11 (1)	8	4	2		25 (1)	
	女			3	2	1		6 (0)	
広島平和研究所	小計		5 (2)	5 (2)	1		3	14 (4)	
	男		5 (2)	2 (1)			3	10 (3)	
	女			3 (1)	1			4 (1)	
学長付	小計				1		2	3 (0)	
	男				1		2	3 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						3	3 (0)	
	男						3	3 (0)	
	女							0 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	64 (8)	76 (4)	25 (0)	21 (1)	11 (0)	200 (13)
	男	1	1	56 (7)	60 (2)	20 (0)	19 (1)	11 (0)	168 (10)
	女	0	1	8 (1)	16 (2)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	32 (3)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	
非常勤講師	計	61	125	186 (16)
	男	52	91	143 (14)
	女	9	34	43 (2)

※ 2022年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	54	32	14
	男	22	6	-
	女	32	26	-
社会連携センター	小計	9	1	0
	男	3	0	-
	女	6	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	2
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	65	34	16
	男	25	6	-
	女	40	28	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	5
	男	1
	女	4

※ 職員 …… 2022年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 …… 2022年5月1日現在
臨時職員 …… 2022年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

イ 2021年5月1日時点

(7) 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計	
学長・副学長	小計	1	2					3	
	男	1	1					2	
	女		1					1	
国際学部	小計		20 (4)	20 (3)	7			47 (7)	
	男		14 (3)	13 (2)	4			31 (5)	
	女		6 (1)	7 (1)	3			16 (2)	
情報科学部	小計		28	33	17	18 (1)	4	100 (1)	
	男		26	32	16	17 (1)	4	95 (1)	
	女		2	1	1	1		5 (0)	
芸術学部	小計		11 (1)	9	8	3		31 (1)	
	男		11 (1)	6	6	1		24 (1)	
	女			3	2	2		7 (0)	
広島平和研究所	小計		5 (2)	6 (3)	1		3	15 (5)	
	男		5 (2)	2 (1)			3	10 (3)	
	女			4 (2)	1			5 (2)	
企画室	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
社会連携センター	小計						3	3 (0)	
	男						3	3 (0)	
	女							0 (0)	
国際交流推進センター	小計						1	1 (0)	
	男						1	1 (0)	
	女							0 (0)	
合計	計	1	2	64 (7)	68 (6)	33 (0)	21 (1)	12 (0)	201 (14)
	男	1	1	56 (6)	53 (3)	26 (0)	18 (1)	12 (0)	167 (10)
	女	0	1	8 (1)	15 (3)	7 (0)	3 (0)	0 (0)	34 (4)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	
非常勤講師	計	55	99	154 (24)
	男	47	72	119 (19)
	女	8	27	35 (5)

※ 2021年5月1日現在 学校基本調査
特任教員を含む
カッコ内の数字は外国人教員数で内数

(イ) 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員	
事務局	小計	50	33	14
	男	22	5	-
	女	28	28	-
社会連携センター	小計	6	2	0
	男	1	1	-
	女	5	1	-
国際交流推進センター	小計	2	1	1
	男	0	0	-
	女	2	1	-
合計	計	58	36	15
	男	23	6	-
	女	35	30	-

(ウ) 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員	
事務局	小計	3
	男	0
	女	3

※ 職員 …… 2021年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者及び特任職員を含む
嘱託 …… 2021年5月1日現在
臨時職員 …… 2021年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

(9) 学生数 (2022年5月1日時点)

ア 学部

(単位:人)

学部	学科	総定員	1年次			2年次			3年次			4年次			合計			
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
国際学部	国際学科	400	20	92	112	21	90	111	23	91	114	38	91	129	102	364	466	
情報科学部	(学部所属)	-	194	27	221	1		1			0			0	195	27	222	
	情報工学科	240			0	71	5	76	63	7	70	58	13	71	192	25	217	
	知能工学科	240			0	63	8	71	53	10	63	56	15	71	172	33	205	
	システム工学科	240			0	52	19	71	57	14	71	54	9	63	163	42	205	
	医用情報科学科	120			0	46	9	55	22	9	31	20	8	28	88	26	114	
	計	840	194	27	221	233	41	274	195	40	235	188	45	233	810	153	963	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	40	3	9	12	3	7	10	4	9	13		14	14	10	39	49
		油絵専攻	80	7	16	23	6	14	20	5	16	21	7	18	25	25	64	89
		彫刻専攻	40	5	6	11	5	6	11	4	5	9	4	14	18	18	31	49
		小計	160	15	31	46	14	27	41	13	30	43	11	46	57	53	134	187
	デザイン工芸学科	160	10	33	43	7	34	41	3	39	42	4	43	47	24	149	173	
	計	320	25	64	89	21	61	82	16	69	85	15	89	104	77	283	360	
合計		1,560	239	183	422	275	192	467	234	200	434	241	225	466	989	800	1,789	

イ 大学院

(単位:人)

研究科	専攻	総定員	1年次			2年次			3年次			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
研究国際科学	国際学	30	2	3	5	5	9	14			0	7	12	19
	国際学(後期)	21			0	1	1	2	3	2	5	4	3	7
	計	51	2	3	5	6	10	16	3	2	5	11	15	26
研究情報科学	情報工学	46	21	3	24	22	1	23			0	43	4	47
	知能工学	46	26		26	20	3	23			0	46	3	49
	システム工学	46	18	3	21	26	2	28			0	44	5	49
	医用情報科学	30	4	1	5	6	3	9			0	10	4	14
	(前期計)	168	69	7	76	74	9	83	0	0	0	143	16	159
	情報科学(後期)	84	1	1	2	1		1	6		6	8	1	9
計	252	70	8	78	75	9	84	6	0	6	151	17	168	
研究芸術科学	造形芸術専攻	60	9	21	30	11	15	26			0	20	36	56
	総合造形芸術(後期)	18	3	6	9	2	5	7	4	4	8	9	15	24
	計	78	12	27	39	13	20	33	4	4	8	29	51	80
研究平和科学	平和学専攻	20	4	4	8	7	2	9			0	11	6	17
	平和学専攻(後期)	12			0	3	1	4			0	3	1	4
	計	32	4	4	8	10	3	13	0	0	0	14	7	21
計	前期	278	84	35	119	97	35	132	0	0	0	181	70	251
	後期	135	4	7	11	7	7	14	13	6	19	24	20	44
合計		413	88	42	130	104	42	146	13	6	19	205	90	295

(10) 研究生・留学生等 (2021年度)

(単位:人)

区分	人数	摘要
研究生	0	
外国人研究生	12	中国8、ベトナム1、タイ1、マレーシア1、アメリカ1
科目等履修生	5	中国1
特別聴講生	5	ドイツ5
外国人留学生	77	中国64、韓国5、ベトナム3、インドネシア2、スリランカ1、台湾1、ドイツ1

※ 外国人留学生は、2021年12月31日の在籍状況。その他は2021年度の受入数

※ 2021年度外国人留学生の学部等別内訳…国際学部22、情報科学部8、芸術学部2、国際学研究科14、情報科学研究科10、芸術学研究科18、平和学研究科3

(11) 入学検定料、入学料、授業料等（2022年4月1日時点）

区 分			金 額	
入学検定料	学生	学部	17,000円 (転学、編入学又は再入学に係る入学検定料については、30,000円)	
		大学院	30,000円	
	研究生		9,800円	
	科目等履修生		9,800円	
入学料	学生	市内の者	282,000円	
		市外の者	423,000円	
	研究生	市内の者	84,600円	
		市外の者	126,900円	
	科目等履修生	市内の者	28,200円	
		市外の者	42,300円	
授業料	学生		年額	535,800円
	研究生		月額	29,700円
	科目等履修生		1単位につき	14,800円
	特別聴講学生		1単位につき	14,800円
公開講座受講料			1講座につき5時間まで	5,200円
			1講座につき5時間を超える時間5時間までごとに	1,000円
学位論文審査手数料			1件につき	57,000円
学生寮使用料			月額	5,900円
国際学生寮使用料			月額	20,000円
			日額	710円
証明書交付手数料			1件につき（証明書又は翻訳文書の用紙1枚を1件とする。）	350円

※1 この表において「市内の者」とは次の各号のいずれかに該当する者をいい、「市外の者」とは市内の者以外の者をいう。

- (1) 入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (2) 入学の日の属する月の初日において配偶者又は1親等の親族が引き続き1年以上広島市の区域内に住所を有する者
- (3) 理事長が前2号に掲げる者に準ずると認める者

※2 国際学生寮使用料の日額については、短期滞在者に適用する。

2 教育・研究

(1) 人材育成の目標及び各ポリシー

ア 学士課程

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の知識・技能・能力を身に付けた上で当該学部が定める審査に合格した学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。

- ① 多様な文化・価値観を尊ぶための、人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を有している（知識・技能）
- ② 専門領域に関する体系的な知識・技能を身につけている（知識・技能）
- ③ 発見した問題について論理的に考え、判断することができる（思考力・判断力）
- ④ 自らの考えをわかりやすく表現する能力を身につけている（表現力）
- ⑤ 社会的課題の解決ないしは社会との関わりの中での創作活動に向けて主体的に取り組む姿勢を有している（主体性）
- ⑥ 他者と協働して取り組む姿勢を有している（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学の学士課程における学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

1. 人間、社会、自然、平和に関する幅広い教養と知識・技能を得るため、全学共通系科目を開設する。
2. 多様な文化・価値観に対する理解を深めるのに必要となる外国語によるコミュニケーション能力を養成するため、外国語系科目を開設する。
3. 各学部の理念と専門教育の特色に対応した専門教育科目を開設する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学部

人材育成の目標

国際学部は、グローバル化の進展など社会が変化する中で、豊かな学識と広い視野に基づいて、グローバルな視点から平和で持続可能な国際社会の実現や地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解し、分野を統合して思考し判断することができる人材
2. 社会が抱える諸課題を自発的に見出し、課題の解決に向かって主体的に取り組むことができる人材
3. 多様な価値観を持った人々と対話し、協働して課題の解決に向かって取り組むことができる人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の専門的な知識・技能及びそれらを社会で活用するための資質・能力を身に付けた上で、卒業論文を執筆し審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（国際学）」の学位を授与する。

[知識・技能]

1. 人文・社会科学の知見や理論についての系統的な知識を身に付けている。（知識）
2. 人文・社会科学の分野をまたいで学際的に探求する技能を身に付けている。（技能）

[思考力・判断力・表現力]

1. 人文・社会科学のさまざまな分野に関する知識や理論を基に社会の諸問題を探求することができる。（思考力）
2. 根拠に基づいて論理的に考え判断することができる。（判断力）
3. 自らの考えを説得的に分かりやすく表現する能力を身に付けている。（表現力）

[主体性・協働性]

1. 社会が抱える課題を自発的に見出し、取り組む姿勢を有している。（主体性）
2. 世界の中で、多様な背景を持った人々とともに生きる社会を築いていくために、他者と協働する態度を有している。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部が掲げる学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

（全学共通系科目）

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

(学際的なカリキュラム編成)

- ・人文・社会科学の分野を幅広く系統的に理解するための学際的なカリキュラムを編成し、分野を統合して思考・判断し、国際社会や地域社会の諸問題を多面的・複眼的に解決できる能力を養成する。

(専門基礎科目)

- ・国際学部における専門分野を学ぶ上で基礎となる知識と技能を修得し、国際学部での学びを展望することを目的に、専門基礎科目を開設する。(1～2年次)

(外国語運用能力を発展させる科目)

- ・実践的な外国語運用能力を身に付け発展させるため、国際学部専門科目として英語特講科目群を開設する。また、英語を含む外国語で授業を行う専門科目を各プログラム科目群や国際研究特講科目群に開設する。(1～3年次)

(専門科目)

- ・専門的な知識・技能を修得し、思考力・判断力・表現力を高めるため、以下のプログラム分野に専門科目を開設する。専門科目では、人文・社会科学の理論や知見を幅広く系統的に理解するとともに、学際的な視野を開くことを目指す。各プログラムには、1年次に入門科目を配置してあり、2年次以降の専門科目へのスムーズな導入を図る。(1～3年次)

(1) 国際政治・平和プログラム

紛争、テロ、難民、開発、環境などの地球規模の課題を解決するため、国際関係の理論や歴史、平和研究の方法や実践について学ぶ科目

(2) 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するため、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方、市民・NPO・政府などが果たす役割について学ぶ科目

(3) 多文化共生プログラム

国家、地域、民族、文化の垣根を越えて、多様な考え方を持つ人々との共生に関する理論や実践について学ぶ科目

(4) 国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題など、国際的な視点からビジネスについて学ぶ科目

(5) 言語・コミュニケーションプログラム

人間の社会的営みの基礎である言語・コミュニケーションに関する諸問題を学ぶ科目

(演習科目、卒業論文)

・発表や討論などの主体的な学修を重視する少人数双方向での演習科目を、1年次から4年次まで継続して開設する。自らのテーマを多面的に追究するため、3年次には複数の専門演習の履修を可能とする。各年次の演習は、国際学部における学修の集大成としての卒業論文に有機的につなげる指導と結び付ける。

- (1) 国際学部における学びに必要な知識・技能や協働性に加え、関心・意欲を持って学び続ける態度を身に付ける基礎演習（1年次）
- (2) 専門分野を見極め、論理的な思考力・判断力・表現力に磨きをかける発展演習（2年次）
- (3) 専門性を磨き、応用力を養うための専門演習（3年次）
- (4) 自らのテーマを専門的かつ総合的に追究し、学修の集大成として卒業論文を執筆する卒論演習（4年次）

（少人数教育）

・演習や各授業クラスを少人数で編成し、対話を通じた主体的で深い学びを推進するとともに、少人数教育ならではの濃密できめ細かな指導を行う。

（キャリア教育）

・各学年の演習科目では、各自の学修プランを基に、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する。

（グローバル人材育成）

・グローバルな視点から国際社会や地域社会に貢献できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外インターンシップなど、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

（地域志向人材育成）

・地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、地域再生や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を開設する。

（評価）

- ・上記科目における知識量、理解度、能力については、客観的な指標、学習及び発表に関わる成果物などを利用して総合的に評価を行い、教育課程を継続的に評価・検証する。
- ・専門科目のプログラム科目群1つで、所定の単位数を修得した場合、当該プログラム領域を主専攻として専門に履修したことを認定する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。

そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

(関心・意欲)

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

(知識・技能)

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

(思考力・判断力・表現力)

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人。
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

(主体性・協働性)

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人。

(4) 情報科学部

人材育成の目標

情報科学部は、以下の専門分野における基本的な知識・技能を基に、高度情報化社会を支え創造していくことができる人材を育成します。

[情報工学分野]

コンピュータやネットワークなどの情報基盤技術に関する分野

[知能工学分野]

人工知能を支える数理、知識情報処理、ソフトウェア技術に関する分野

[システム工学分野]

情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術に関する分野

[医用情報科学分野]

情報科学・自然科学・工学を基に、医用、生命、環境などへの活用技術に関する融合分野

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

情報科学部は、下記に挙げる3つの観点における能力を修得した者に対して卒業を認定し、次に示すように、修得した内容に応じて「学士（情報科学）」または「学士（情報工学）」を授与する。

- ・学士（情報科学）：情報科学における真理の探究に必要となる能力を主に修得した者
- ・学士（情報工学）：情報科学の利活用による課題解決に必要となる能力を主に修得した者

〔知識・技能〕

1. 多様な文化・価値観を尊ぶための人間、社会、自然に関する幅広い知識を身に付けている。（知識）
2. 情報科学または情報工学における技術者や研究者に求められる基本的な知識を身に付けている。（知識）
3. 情報科学または情報工学の課題に取り組み、結果や考察を理論的に記述することができる。（技能）
4. 国際的なコミュニケーションのための基礎的な語学力を身に付けている。（技能）

〔思考力・判断力・表現力〕

1. 情報科学または情報工学における知識・技能に基づき、論理的・合理的に思考・判断することができる。（思考力・判断力）
2. 技術者・研究者として自分の考えを分かりやすくプレゼンテーションすることができる。（表現力）

〔主体性・協働性〕

1. 情報科学の切り口から真理の探求または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組むことができる。（主体性）
2. 多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組むことができる。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学部が掲げる学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

（全学共通系科目）

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

（情報科学系・情報工学系科目）

- ・急速に発展する情報通信技術（ICT）に適応しながら次世代の情報化社会を創造する人材

を育成するため、情報科学、情報工学、計算機科学、計算機工学とその応用を修得する次の2系統の科目を学部共通科目・専門基礎科目・専門科目のそれぞれに編成する。

- (1) 情報科学系科目：高度情報化社会を支える技術の基盤となる自然科学とその応用に関する科目
- (2) 情報工学系科目：高度情報化社会を実現するために必要な知識と基礎技術及びその応用に関する科目

(数学、プログラミング及び英語の重点的な教育)

- ・情報科学または情報工学を学ぶ上で特に重要な基礎科目である数学、プログラミングは1～2年次に、英語は1～3年次に重点的な教育を行う。教育にあたっては、コンピュータ及び情報関連機器を用いた情報処理能力が身に付くように、継続的に情報機器の利用とそれによる学習が可能になるように配慮する。また、英語教育については、一般的な内容から専門分野における内容まで学習できるように科目を配置する。

(学部共通科目)

- ・情報科学または情報工学の基礎的、普遍的な知識・技能を修得するため、学部共通科目を開設する。また、学部共通科目を履修した上で、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを導入する。

(専門基礎科目)

- ・各学科の専門分野における基礎的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、情報科学及び情報工学に関する専門基礎科目を主に2年次に開設する。
- (1) 情報工学科：技術者や研究者に求められる情報工学の基本的な知識が身に付くように、コンピュータ、ネットワーク、コミュニケーション基盤の分野を横断した内容の科目を2・3年次に配置する。
 - (2) 知能工学科：知識情報処理、メディア情報処理、及びそれらに関連する数理を中心とした知能工学全般に共通して必要な能力を身に付けるための専門基礎科目を2年次に配置する。
 - (3) システム工学科：システム工学科では、情報システム全体の調和と協調を図った創造的なシステム化技術を学ぶ。それに必要となる数学・情報・工学に関する基礎的な科目を2年次に配置する。
 - (4) 医用情報科学科：医用情報科学または医用情報工学分野などの異分野融合領域を支える3つの普遍的学問領域（情報系科目、工学系科目、自然科学系科目）を専門基礎として開設する。

(専門科目)

- ・各学科の専門分野における専門的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力を修得するため、情報科学及び情報工学に関する専門科目をそれぞれ主に3年次に開設する。
- (1) 情報工学科：3年次にコンピュータ、ネットワーク、コミュニケーション基盤の各分

野における専門性を高める専門科目を配置する。

- (2) 知能工学科：知識情報処理、メディア情報処理、及びそれらに関連する数理を中心とした各知能工学分野の専門的な能力を身に付けるための専門科目を3年次に配置する。
- (3) システム工学科：体系的に専門知識が身に付くようにシステム基礎、ロボット・人間共生、インタフェースデザインの各専門系列科目を3年次に配置する。
- (4) 医用情報科学科：専門基礎科目を土台として、3つの普遍的学問領域（情報系科目、工学系科目、自然科学系科目）を医用、生命、環境などへ応用展開する医用情報科学系科目を開設する。

（実験科目、卒業研究）

- ・実験、演習、口頭発表などの体験的・総合的な学修を重視した以下の科目を開設する。
- (1) 学部共通科目で習得した知識を具体的な問題に適用する能力を育成する実験科目
- (2) 専門基礎科目・専門科目で習得した知識を具体化させ、思考力・洞察力を養い、実際的な問題・課題を解決する能力を育成する実験科目
- (3) 研究に対する方法論、問題解決力を身に付け、研究の成果・意義・有用性を論理的にまとめ、発表・討論する能力を育成する以下の2種類のテーマでの卒業研究
 - 情報科学・自然科学における真理の探究を目的としたテーマ
 - 情報科学の利活用による課題解決を目的としたテーマ

（学生の多様化への対応）

- ・少人数教育、習熟度別のクラス編成、主体的・対話的で深い学びの推進などにより、知識や学力の多様化した学生に対して効果的な教育を行う。

（キャリア教育）

- ・技術者・研究者としての使命感・倫理観の養成、実社会において求められるスキルやコミュニケーション能力、社会人としての資質を育み、学生のキャリア形成を支援する科目を1～3年次に開設する。

（グローバル人材育成）

- ・技術者・研究者としてグローバルに活躍できる能力を養成するため、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学、海外での研究発表など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

（地域志向人材育成）

- ・地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、情報科学を用いた地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を1～3年次に開設する。

（評価）

- ・上記科目における知識量、理解度、能力については、客観的な指標、学習及び発表に関わる成果物などを利用して総合的に評価を行い、教育課程を継続的に評価・検証する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。

情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。

そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

（関心・意欲）

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

（知識・技能）

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科及び語学の知識・技能を有している人。

（思考力・判断力・表現力）

- ・物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

（主体性・協働性）

- ・情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人。
- ・多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人。

(ウ) 芸術学部

人材育成の目標

芸術学部は、創造性、先見性及び独創性に富み、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、次のような人材を育成します。

1. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、創造性に富んだ創作と先見性、独創性に富んだ表現・研究を発信できる人材。

2. 美術、デザイン・工芸に関する専門性の高い知識と技術を基に、地域や産業などさまざまな社会分野において、文化芸術の創造及び発展に貢献できる人材。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

芸術学部は、所定の期間在学中に、所定の単位を修得し、卒業制作を行い、審査に合格した学生に対して卒業を認定し、「学士（芸術）」の学位を授与する。なお、学生が卒業までに求められる3つの観点の能力を次に挙げる。

[知識・技能]

〈美術学科〉

以下のいずれか1つの専攻における専門的な知識・技能を有している。

（日本画専攻）

1. 日本画における伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 日本画に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

（油絵専攻）

1. 油絵における西洋の伝統的な絵画表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 油絵に関する独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

（彫刻専攻）

1. 彫刻における伝統的な表現の知識を身に付けている。（知識）
2. 現代における独創的な創作をする技能を身に付けている。（技能）

〈デザイン工芸学科〉

現代表現、視覚造形、映像メディア造形、立体造形、金属造形、染織造形、漆造形のいずれか1つの分野における専門的な知識・技能を有している。

1. デザイン工芸の各分野における歴史的変遷を理解している。（知識）
2. 社会や生活に関わる作品を創作するための造形技術を身に付けている。（技能）

[思考力・判断力・表現力]

1. 次代の文化芸術を創造するために、柔軟に想像したものを論理的に構想することができる。（思考力）
2. 創作過程における問題に対して、効果的な解決策を見出すことができる。（判断力）
3. 作品と言葉によって、創作に込めた自らの考えを的確に他者や社会に伝えることができる。（表現力）

[主体性・協働性]

1. 社会との関わりの中で、自らの感性を創作に生かそうとする姿勢を有している。（主体性）
2. 自らの創作を通じて、他者と協働する姿勢を有している。（協働性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学部が掲げる学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するため、教育課程を次のように編成する。

（全学共通系科目）

- ・幅広い教養・知識の修得を通じ、多様な価値観を尊び平和を希求する精神や感性豊かな人間性を涵養するとともに、グローバル化・情報化等に対応できる能力を身に付けるため、全学共通系科目・外国語系科目を教育課程に組み入れる。

（芸術学部のカリキュラム編成）

- ・学位授与の方針に掲げる基準を達成させるため、各学科・専攻に関わる基礎的な知識や技能を修得できる科目（専門基礎科目）と、専門知識や独創的な表現を修得できる科目（専門科目）を体系的に配置する。専門科目では、学年に応じて、実習・演習を段階的に配置し、創作の基礎力、応用力、展開力を養う教育を行う。

（専門基礎科目）

- ・主に 1・2年次で、芸術の理論、歴史、技術や素材等に関する基礎的な知識・技能を身に付けるための科目を配置する。

（専門科目）

- ・専門的な知識・技能を段階的に学び、思考力・判断力・表現力を身に付け、創作を通じて主体性、協働性を養うための実習・演習を主とした科目を配置する。3年次では国内外の古典芸術について事前調査・実地研究を行い、より専門的な知見を深めるための科目として、「古美術研究」を配置する。4年次では主体的に創作を行い、プレゼンテーション能力を含む表現力を修得するための科目として、「卒業制作」を配置する。

〔美術学科日本画専攻〕

- ・1・2年次では絵画表現の基礎となる観察力、描写力、技法材料への知識を身に付けるための科目を配置する。
- ・3年次には1・2年次で養った基礎力を各課題で反復応用し、独創性を涵養するための科目を配置する。
- ・4年次にはこれまでに修得した創作能力を活かし、幅広い知識とプレゼンテーション等を含む絵画の表現力と、他者との協働性を身に付けるための科目を配置する。

〔美術学科油絵専攻〕

- ・1・2年次では絵画表現の基礎として、観察力と描写力を主とした造形及び創作を行う知識・技能を身に付けるための科目を配置する。
- ・3年次には1・2年次の習作を通して養った能力を、自身の表現へ昇華させるための科目を配置する。また、他者と協働できるよう、プレゼンテーション能力を身に付けるた

めの科目を配置する。

- ・ 4年次にはこれまでに修得した知識・技能・思考力・判断力・表現力を、独創性へと高めるための科目を配置する。

[美術学科彫刻専攻]

- ・ 1・2年次では、彫刻表現の基礎となる造形力及び彫刻制作の知識・技能を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 3年次では1・2年次に養った造形力と知識・技能を用い、他者と協働しながら自身の考えを作品として表現する応用力を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 4年次にはこれまでに修得した造形力及び知識・技能を深め、プレゼンテーション能力を含む創作者としての展開力を身に付けるための科目を配置する。

[デザイン工芸学科]

- ・ 1年次では、デザイン工芸で必要となる能力のうち、知識、技能及び思考力を中心としてその基礎を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 2年次では、学生の指向性と7つの専門分野を対応させ、各分野における専門的な知識、技能及び思考力を身に付けるための科目を配置する。
- ・ 3年次では、2年次までに養った能力をさらに発展させ、創作に必要となる判断力や表現力、主体性を身に付けるための科目を配置する。また、グループ展の企画・運営を通じて、協働性を涵養するための科目を配置する。
- ・ 4年次では、これまでに修得した能力を統合的に応用し、作品を制作する表現力と、作品制作から展示までの過程を通じて主体性、協働性を高めるための科目を配置する。

(キャリア教育)

- ・ 芸術の専門的な知識・技能を生かして社会で活躍できる能力を養成するため、専門科目の中で学生のキャリア形成を支援する教育を行う。

(グローバル人材育成)

- ・ グローバルな視点に立った創作を行うことができるよう、海外学術交流協定大学への学生派遣や短期語学留学など、国際感覚を養う教育活動への学生の参加を促進する。

(地域志向人材育成)

- ・ 地域に愛着・誇りを持ち、地域に根ざした視点から、その発展に貢献する人材を育成するため、芸術による地域振興や地域の課題解決を実践的に試行する科目などの地域志向科目を配置する。

(評価)

- ・ 上記科目における知識、技能、表現力については、卒業制作などから総合的に評価を行い、専門教育課程を継続的に評価・検証する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

[求める人物像]

（関心・意欲）

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

（知識・技能）

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

（思考力・判断力・表現力）

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

（主体性・協働性）

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

イ 大学院課程

人材育成の目標

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

広島市立大学大学院は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の高度な知識・技能・能力を身に付けた上で研究科が定める審査に合格した学生に対して修了を認定し、学位を授与します。

- 多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識〈普遍

的教養)

- 専門領域に関する体系的な知識・技術・技能〈専門的知識・技術・技能〉
- 豊かな感性と真理探究への情熱に基づく課題発見・分析・解決能力〈課題解決能力〉

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

広島市立大学大学院は、それぞれ博士前期課程と博士後期課程を有する4研究科で構成され、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標として、教育課程を次のとおり編成します。

1. 高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うため、各研究科において、基礎から応用に至る教育課程を編成します。
2. 博士前期課程については、幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うことを目的とする全研究科共通科目群を開設します。
3. 博士後期課程については、各研究科の特性に応じた、高度な研究指導を行います。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

1. 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
2. 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
3. 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

(7) 国際学研究科

人材育成の目標

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. 国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化のさまざまな機能と役割の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題の分析と解決に資するための教育・研究を行い、現代社会の問題点や課題を自ら発見し、解決に貢献したり指導力を発揮したりできる実践的な能力を備えた人材
2. 独自性及び独創性をもって研究や諸活動に携わることができる教育者・研究者・実務者

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下のいずれかの学識・能

力を身に付けた上で、修士論文あるいは課題研究報告書を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- ・それぞれの専門分野（国際関係研究、公共政策研究、経営政策研究、社会文化研究、言語文化研究）における十分な学識と、グローバル化時代における諸課題を多面的かつ的確に分析し考察できる能力、及び高い研究能力
- ・国際学研究科における学修を通じて研鑽し身に付けた学識と、文系実務者としての能力

博士後期課程

国際学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力を身に付けた上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（国際学、学術又は平和学）の学位を授与します。

- ・グローバル化時代において国際社会とそれを構成する多様なコミュニティが抱える諸課題を各専門分野の理論や方法を用いて分析する国際社会研究分野、あるいは日本をはじめ世界各地域を対象として政治・経済・文化・言語などについて多面的に研究を深める地域研究分野における高度な学識
- ・研究者として自立できる研究能力と独自性の高い研究成果を達成できる能力
- ・課程修了見込者及び課程修了者と同等以上の学力及び研究能力（博士学位請求論文を提出して審査に合格した者）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学研究科は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能の育成を基本理念としています。国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言語文化等に関わる課題の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題点や課題を自ら発見し解決できる実践的な人材の養成と、独自性の高い研究や諸活動に携わることのできる教育者・研究者・実務者の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目（広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。）は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成します。

2. 研究科開設科目

政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際学研究科特有の特色を持った専門

研究に取り組めるように、専門基礎科目群と専門研究科目群（国際関係研究群、公共政策研究群、経営政策研究群、社会文化研究群、言語文化研究群）を設置するとともに、これらの領域を横断する地域研究や平和研究に関わる多彩な教育・研究内容の授業科目を開設します。

（１）専門基礎科目

研究者及び高度文系実務者を養成するために、専門基礎科目、国際研究特講、特別講義・演習を開設します。

専門基礎科目として、人文・社会科学研究の基本的なアプローチ方法とアカデミック・スキルズ、及び統計処理・分析に必要な基礎知識を習得する科目を開設します。また、特に広島と世界の関連に着目した修士（平和学）の学位取得を目指す院生を対象とした平和学コア科目群や、国際研究特講としてのピース・インターンシップ等を配置します。

（２）専門研究科目群

2-1. 国際関係研究群

グローバル化時代の国際社会やそれを構成するさまざまなコミュニティの変化に対応できる能力を養成することを目的に、国家、国際組織、市民や非政府組織など多様な主体の相互関係を、歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。また、世界各地の国際関係史や政治外交史に関する高度な専門研究を通じて、課題解決能力を高めることを目指します。

2-2. 公共政策研究群

多様化する現代社会の課題について、公共関連組織や民間企業などの役割や機能を考察しながら分析し対処できる能力を高めることを目的に、経済・社会の諸側面から理論的・実践的に学ぶ専門科目を開設します。経済政策、国際開発、環境経済、都市経済、非営利組織、情報メディア、持続可能な開発のための教育などの分野で、公共政策に関する高度な専門研究を通じた実践的能力を高めることを目指します。

2-3. 経営政策研究群

グローバル化が進む事業環境で活動する組織や企業に求められる組織経営手法とビジネス・センスを磨くことを目的に、経営に関わる諸課題を、理論的・実践的に学ぶための専門科目を開設します。国際経営、マーケティング、人的資源管理、会計、国際商務、多国籍企業、国際金融などの専門研究を通じて、実際の経営に生かせる、長期的・多角的視野での柔軟かつ創造的な実践的能力を高めることを目指します。

2-4. 社会文化研究群

複雑化が進行する世界と、多様化が進む地域の双方の課題に、人間とその社会に対する深い理解をもって対処できる能力を身に付けることを目的に、社会と文化の諸側面を歴史的・理論的に深く学ぶための専門科目を開設します。世界各地の社会や文化に関

して、歴史学、社会学、文化人類学、哲学などの専門研究を通じて、多様化が進む社会の中で、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

2-5. 言語文化研究群

言語と文化に関わるさまざまな課題を専門的な理論や方法に基づき、研究することを目的とし、言語や文化が人々の社会的営みに果たす役割を深く学ぶための専門科目を開設します。日本語及び外国語教育、比較言語、言語政策、文学、異文化理解、通訳・翻訳などの専門研究を通じて、言語や文化に関わる分野に造詣を深めるとともに、関連する分野で活躍できる実践的能力を高めることを目指します。

博士後期課程

国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティの多彩な側面を正確に把握し、多種多様な領域を解明するために、政治、経済、文化の基本的枠組みを念頭に置き、国際社会研究分野と地域研究分野の2つの研究分野から教育課程を編成します。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 国際社会やそれを構成する様々なコミュニティが抱える諸課題について、専門的なアプローチを用いて課題の発見や解決に取り組もうとしている人
2. 専門性を深めるために探究し、思考や議論を深めるための論理性や説得力を備えている人
3. 本研究科の研究分野に関する基礎知識及び研究に必要な語学力を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高め、研究や職業に役立てようとする人
4. 本研究科での学びを通じて、自己研鑽に努めたい人

(4) 情報科学研究科

人材育成の目標

情報科学研究科は、情報工学及び情報科学分野において、学理の探求と科学技術の発展に貢献するとともに、高度な専門学識、専門技術及び創造力を身に付けた人材の育成を教育理念とし、次のような人材の育成を目標としています。

1. コンピュータ及びネットワークについて深く、広い知識を身に付けるとともに、コンピュータとネットワークの両者が融合した新たな情報環境の創出を担える人材
2. 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた高度な知的情報システムの研究開発能力を持った人材
3. 広範な価値観のもとでシステム全体の高機能化と協調を図る広い視野を持った研究開発能力を身に付けた人材
4. 分野間研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓する問題発見・解決型能力を持った人材

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、高度な専門的技術と理論を修得した上で、修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

博士後期課程

情報科学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の分野において、極めて高度な専門的技術と理論を修得した上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（情報工学又は情報科学）の学位を授与します。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

情報科学研究科は、以下の分野において、学理の探究と科学技術の発展に貢献するとともに高度な専門学識・技術と創造力を身に付けた人材の育成を理念としています。

- コンピュータ及びネットワークの基盤技術、融合技術並びに運用技術分野
- 人間の知的活動を支援する知的情報システム技術分野
- 効率・環境・安全などの多様な価値観のもとで調和と協調を図ったシステム技術分野
- 情報科学・自然科学・工学及び医用生体工学に関連する学際融合分野

これらの分野において、高度な専門的知識・技能・能力を修得させる教育を実施するために、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野に立った学識を身に付け、高い倫理観を養うため、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技術・技能を養うために、理学・工学を統合する視点から教育課程を編成し、以下の科目を開設します。
 - 基礎から応用までの学識・技術の体系を修得する科目
 - 幅広い専門知識を修得するコア科目
 - 情報科学の最先端事項を修得する科目
 - 高度技術者・研究者の素養を修得する科目（研究成果の学会発表の原則義務化）

- 創造性と自立性及び問題解決能力を育成する科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識を養い、高度な研究開発能力及び実践的課題解決能力を育成するため、以下の科目を開設します。

- 最先端の極めて高度な学識・技術の体系を修得する科目
- 創造性と自立性の育成、及び研究成果の社会的還元を目指す科目
- 産学連携による創造的な人材を育成する科目

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

情報科学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人。
2. 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人。
3. 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人。

(ウ) 芸術学研究科

人材育成の目標

芸術学研究科は、文化芸術の創造及び発展をけん引できる、卓越した創作研究能力及び芸術理論に関する高度の専門性を有した人材の育成を教育理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した制作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目標としています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けた上で、以下の修了作品(研究報告書を含む)又は修士論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士(芸術)の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において高度な能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して高度な能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を有する。
- 修了作品にあっては、専門的な技術を持ち、独創的な表現を追求した作品。
- 修士論文にあっては、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行っている論文。

博士後期課程

芸術学研究科は、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の技術や能力を身に付けるか、それと同等以上の学力があると確認された上で、以下の研究作品及び博士学位論

文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（芸術）の学位を授与します。

- 研究分野の創作・研究活動において卓越した能力を有する。
- 研究分野の創作・研究活動における多様な素材や技術に関して卓越した能力を有する。
- 地域や国際社会と関わりながら、芸術と社会に関する高度な学識と経験を有する。
- 研究作品にあつては、高度に専門的な技術を持ち、独創的で卓越した表現を追求した上で、さらなる芸術上の展開が期待できる作品。
- 博士学位論文にあつては、適切なテーマを設定し、文献を十分に調査した上で、独自の洞察を行い、的確な構成と表現によって一貫した主張を行っている論文。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

芸術学研究科は、文化芸術の創造・発展をけん引することを理念とし、美術、デザイン・工芸に関する卓越した創作研究、及び芸術理論に関する研究の能力を培うことにより、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たし、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を育成することを目的として、教育課程を次のように編成します。

博士前期課程

1. 幅広い視野から芸術を理解し、深い教養を身に付けることができるよう、全研究科共通科目群を教育課程に組み入れます。
2. 専門分野における知識・技能を養うための科目を開設し、研究指導を行います。
 - 専門的な創作と理論の研究及び発表
 - 創作を基礎づける理論に習熟するための芸術学関連講義
 - 理論構築能力を養う論文作成の演習
 - 分野を超えた造形演習や語学演習
 - 国際的、社会的な環境における創造に関わる研究実践

博士後期課程

専門分野に必要な深い学識と高度な研究能力を養うための科目を開設し、研究指導を行います。

- 高度で専門的な創作の研究及び発表
- 専門的な理論研究と高度な理論構築能力を養う論文作成の演習
- 専門領域での探究を基に領域を超えた横断的な研究実践

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

芸術学研究科では、次のような人の入学を求めています。

1. 美術、デザイン、工芸に関する高度な創造や表現を行うために、卓越した制作・研究能力を身につけたい人。
2. 自らの創造や表現の幅を広げるために、多様な素材や技術に関する専門的な知識を学びたい人。
3. 芸術理論研究を通して、芸術に対する高度な感性と思考力を身につけ、幅広い芸術文

化に関わる専門的な知識・研究能力を身につけたい人。

4. 地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たすために、芸術と社会に関する豊かな学識と経験を身につけたい人。

(I) 平和学研究科

人材育成の目標

国際紛争の背景を分析する視点を身に付け、平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信している、次のような資質を持つ人材を養成します。

1. 国際関係の仕組み及び政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
2. 平和創造及び平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、及び公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
3. 今日の国際紛争やグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリスト及びマスメディア専門家

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力等を身につけた上で、修士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、修士（平和学）の学位を授与する。

1. 核戦争の脅威に対する十分な認識と戦争の予防と人間の安全保障に関する十分な学識
2. 人間の安全保障問題及び国際紛争原因を専門的かつ総合的に分析する能力と平和創造及び平和維持に関し発信する能力
3. 修士論文のテーマ設定に基づき、必要な資料の分析と論旨の整理を行い、明快な論文を作成する能力

博士後期課程

所定の期間在学し、所定の単位を修得し、以下の学識・能力等を身につけた上で、博士学位論文を提出して審査に合格した学生に対して修了を認定し、博士（平和学）の学位を授与する。

1. 戦争の予防や人間の安全保障など平和創造や平和維持に関する高度な学識
2. 博士学位論文のテーマ設定に基づき、独自性の高い研究成果を作成する能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

平和学研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際邦楽、国際関係論の関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、専門的かつ総合的な分析能力をもって、平和創造及び平和維持の阻害要因を鋭く追究できるジャーナリストや平和創造及び平和維持に関するアイデアと手法を世界に発信できる研究者、またそれらの知見を行政に生かせる公務員などのプロフェッショナルな人材の養成を目的として、教育課程を次のように編成し、実践します。

博士前期課程

博士前期課程は、全研究科共通科目及び研究科開設科目で構成する。

1. 全研究科共通科目

全研究科共通科目（広島市立大学大学院国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科及び平和学研究科の共通科目をいう。）は、多様な文化・価値観を尊び、人間、社会、自然、平和に関する幅広い関心と知識を習得し、専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、多角的な分析視点、多様な問題意識、及び柔軟な判断力を養うことを目的として、人文、社会、自然、芸術などの学際的な授業科目で編成する。

2. 研究科開設科目

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、及びこれまで人類が開発してきた平和創造の手法を修得することを目指すものである。また、研究者をはじめとして、ジャーナリストや公務員など平和創造や平和維持に関するプロフェッショナルな人材を養成する上で、社会科学の分析手法の修得は言うに及ばず、平和創造の理論を修得し、その土台の上で研究、発信することが必須である。また理論研究を進める上で地域研究の学修は不可欠である。

これらのことを踏まえ、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」及び「グローバル／リージョナル・ガバナンス」の三つの科目群で構成し、それぞれの科目群をさらに小さな科目群に区分する。

(1) 第一群「研究基礎科目」

社会科学研究的な基本的アプローチ（接近法）を修得することを目指す「分析・接近法」と広島への原爆投下の歴史と政治的背景など核戦争の脅威と悲惨さについて修得することを目指す「広島と核」という二つの小科目群を置く。

(2) 第二群「平和の理論」

第一次世界大戦後に開発されてきた平和創造に関する理論の修得を目指す。

平和の実現のために人類が開発してきた様々な戦争予防策と平和創造の手法を修得することを目指す「平和と軍縮」と第二次世界大戦後に開発された様々な平和創造の方法論を修得することを目指す「平和の創造」という二つの小科目群を置く。いずれも平和創造を見る眼、あるいは平和構築の諸問題を分析する眼を養うことを目的とする。

(3) 第三群「グローバル／リージョナル・ガバナンス」

第三群の目的は、特にアジアでは、国際社会の組織化と規範構築に果たす国際機構の役割が相対的に弱いことが、平和創造においてどのような意味を持つかを問うことにある。

アジア、なかでも東アジア地域研究、及び平和創造において実践の担い手になっている国際機構の役割について分析する眼を養うために、今日のアジア諸国の政治・外交が直面する危機と課題について考察する「地域と平和」と普遍的国際機構及び地域機構の役割について理解を深める「国際機構と平和」という二つの小科目群を置く。

博士後期課程

研究科開設科目として、博士学位論文の構想作成に必要な学識を身につける特殊研究科目と博士学位論文の作成に必要な研究指導を行う研究演習科目を置く。国際平和を脅かす軍事要因、人間の安全を脅かす非軍事要因、及びグローバル諸課題の構造要因を分析する科目により、教育課程を編成する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

平和学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- 国際紛争やグローバル問題などの様々な事象に関して、その背景や要因を追求し、客観的かつ科学的に分析できる人
- 職業経験を有する社会人においては、平和、人権、及び民主主義に強い関心を持ち、平和創造及び平和維持に関する自らの知識や経験を学問的に捉え直し深めた上で、さらに強く発信したい、今後の仕事に活かしたいという意欲と熱意を有している人
- 平和を創造し維持するためにどのような制度と規範が必要かを自ら考え、研究し、考案したアイデアを国内外に向けて平和創造の視点から発信したいという意欲と熱意を有している人

(2) 特色ある講義科目 (2022 年度)

科目名	学部等	概要																		
広島・長崎講座	ひろしま論	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島歴史、行政、経済、産業、文化などをひもといてその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と将来の繁栄を思考できる幅広い見識を持った人材を育てる。また、「国際平和文化都市」広島の原点である被爆体験及び広島からの平和の取り組みについて講義する。 																	
	平和と人権A (ヒロシマと国際平和)	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と人権のうち、本講義では「平和」に焦点を当て、ヒロシマについて様々な分野の専門家が掘り下げ分析する。 ・ 広島の被爆体験も歴史上でみれば、数多くの悲惨な体験の一つである。その内容を専門性に基づき客観的に分析することで、初めて学ぶ事は多い。客観的な分析は、他の悲惨な体験と痛みの共有をもたらし、国際平和に近づける。 																	
	広島からの平和学：実践の方法	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島で平和をめざす多様な取り組みについて、キャンパスの外で当事者から学び、実践する能力を養う。 ・ 土曜の午後、平和文化センターが平和記念資料館で開催する市民講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、社会人と共に学ぶことで、社会性を養う。 ・ 被爆証言を聞いて被爆の実相や核兵器の非人道性を学ぶとともに、いま海外で起きている紛争や虐殺の当事者を講師に招き、平和を創ることの難しさと重要さを学ぶ。 																	
	平和インターンシップ	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市周辺に存在する資料館、美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題を多角的に学ぶ。 ・ 本インターンシップは、キャンパス外で平和を学ぶ試みとして 2008 年度から 2011 年度まで単位なしの課外活動として実施した後、内容をより充実させ、2012 年度から単位科目化した。 																	
	HIROSHIMA and PEACE 【不開講】	国際学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への原爆投下を含む戦時経験について、さまざまな観点から光を当てるとともに、グローバル化時代における世界平和に関連した今日的課題を取り上げることにより、戦争と平和の本質に対する理解を深める機会を、国内外の学生に提供することを目的として、国際学部と広島平和研究所との協力により、夏期集中講座として開講する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応募者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名</td> <td>国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名</td> <td>国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名</td> <td>国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名</td> <td>国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名</td> <td>国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名</td> </tr> </tbody> </table>	年度	応募者	参加者	2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名	2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名	2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名	2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名	2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名
年度	応募者	参加者																		
2015	国外 49 名 (13 カ国) 国内 22 名	国外 16 名 (8 カ国) 国内 20 名																		
2016	国外 101 名 (26 カ国) 国内 26 名	国外 20 名 (12 カ国) 国内 21 名																		
2017	国外 38 名 (21 カ国・地域) 国内 19 名	国外 17 名 (12 カ国・地域) 国内 16 名																		
2018	国外 44 名 (11 カ国) 国内 17 名	国外 20 名 (11 カ国) 国内 12 名																		
2019	国外 51 名 (17 カ国) 国内 18 名	国外 16 名 (11 カ国) 国内 18 名																		

科目名		学部等	概要
広島・長崎講座	国際化時代の平和	全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島への被爆体験をはじめ、世界が経験した多様な悲惨な体験とその記憶の継承、現在の社会への影響について学ぶことにより、悲惨な体験と記憶の継承が、平和の喪失から平和の創造へと転じる上で果たす役割について考える。
創作と人間		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術学部を持った本学の特徴を最大限に生かし、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える。全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養うことを目的とする。 ・ 絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間性の陶冶について考察する。
広島市の観光学		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島市を中心とする圏域が有する自然、歴史、文化、食等の地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫、観光による地域づくりについて理解を深める。 ・ 人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組み等の基礎知識を修得し、地域活性化における観光の意義と役割について学ぶ。
3学部合同基礎演習		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学部合同授業の中で多様な価値観に触れると同時に、プレゼンテーションを通して他人に伝えるスキルを身につける。 ・ 具体的には、「知のトライアスロン事業」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身につけると同時に、レポート作成やディスカッション、プレゼンテーションにより自己表現能力を養う。 ・ 少人数のゼミ形式の授業を体験することで、教員と学生相互のコミュニケーションを図り、学部を越えた学習集団の形成に役立てる。
CALL 英語集中 (eラーニングによる集中英語学習プログラム)		全学共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ eラーニングによる集中英語学習プログラムを利用し、リーディング、リスニング、文法、語彙を集中的に学習する。 ・ 履修者は、指定された期間中、自分の都合のよい時間にコンピュータ・ネットワークを通じて配信される教材をコンピュータの指示に従って自分のペースで学習していく。 ・ このプログラムで用意されている教材をすべて消化するには、毎日1時間程度の学習が必要となる。 ・ プログラムの受講前と受講後にTOEIC IPテストを実施し、英語力及び学習効果を測定する。 ・ 情報科学部においては、「eラーニング英語」として実施している。

(3) 外部資金の獲得状況 (2017年度～2021年度)

(7) 科学研究費助成事業 (交付決定額)

○2021年度内訳は、別表「2021年度科学研究費補助金交付決定内訳」のとおり

(2022年3月31日現在)

区 分	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
基盤研究(A)	- 件	- 千円	1 件	5,700 千円	1 件	9,100 千円	1 件	6,500 千円	1 件	8,500 千円
基盤研究(B)	8 件	24,270 千円	6 件	19,300 千円	5 件	18,700 千円	6 件	18,900 千円	4 件	11,200 千円
基盤研究(C)	49 件	45,240 千円	45 件	45,900 千円	50 件	50,700 千円	48 件	44,800 千円	40 件	35,850 千円
挑戦的萌芽研究	5 件	3,900 千円	2 件	1,600 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
挑戦的研究(萌芽)	- 件	- 千円	1 件	2,100 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
若手研究(A)	2 件	7,000 千円	2 件	7,000 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
若手研究(B)	8 件	6,300 千円	6 件	4,900 千円	3 件	2,900 千円	3 件	1,500 千円	- 件	- 千円
若手研究	- 件	- 千円	3 件	2,300 千円	6 件	5,100 千円	8 件	7,100 千円	11 件	7,800 千円
新学術領域研究	1 件	6,300 千円	1 件	6,300 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円
研究成果公開促進費	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	2,200 千円	- 件	- 千円	1 件	1,200 千円
研究活動スタート支援	1 件	1,100 千円	2 件	1,500 千円	3 件	2,500 千円	1 件	1,100 千円	1 件	1,200 千円
国際共同研究加速基金	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	- 件	- 千円	1 件	(交付申請前) 千円
合 計	74 件	94,110 千円	69 件	96,600 千円	69 件	91,200 千円	67 件	79,900 千円	59 件	65,750 千円
【参考】間接経費	27,882 千円		29,340 千円		26,160 千円		23,970 千円		19,365 千円	

※交付決定額(直接経費)の件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費及び間接経費を除く。
 ※参考掲載の間接経費は、本学研究者代表者分である。

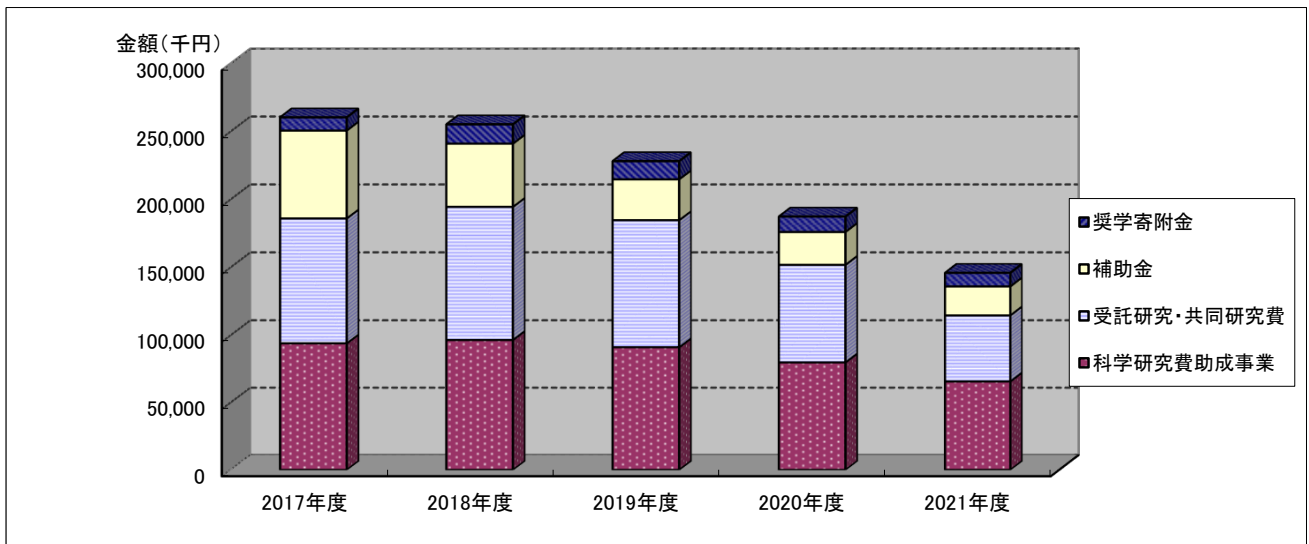
(イ) その他外部資金獲得状況

(2022年3月31日現在)

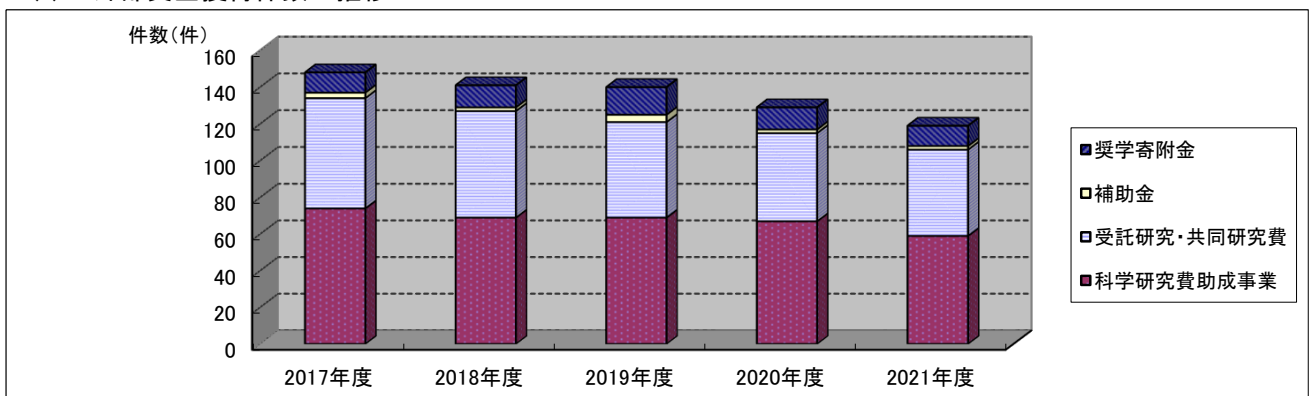
区 分	2017年度		2018年度		2019年度		2020年度		2021年度	
受託研究・共同研究費	60 件	91,982 千円	58 件	98,034 千円	52 件	93,636 千円	48 件	72,057 千円	47 件	48,980 千円
補助金	4 件	64,707 千円	2 件	46,526 千円	2 件	30,057 千円	2 件	24,196 千円	3 件	21,311 千円
奨学寄附金	11 件	9,694 千円	12 件	14,184 千円	15 件	13,347 千円	12 件	11,302 千円	11 件	9,966 千円
合 計	75 件	166,383 千円	72 件	158,744 千円	69 件	137,040 千円	62 件	107,555 千円	61 件	80,257 千円

※補助金は交付決定額、奨学寄附金は寄附金受入時の年度で整理している。

(ウ) 外部資金獲得金額の推移



(イ) 外部資金獲得件数の推移



(4) 科学研究費補助金 (2021年度) ※交付決定額は直接経費のみ

① 基盤研究(A) 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 准教授 古川 亮	パターン投影と深層学習を利用した頑健で高精度な3次元内視鏡システム	8,500

② 基盤研究(B) 4件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 教授 高野 知佐	オンラインエコーチェンバー現象を緩和するAI仮想ユーザによる情報流通適正化技術	4,600
情報科学研究科 教授 満上 育久	注視を介した心の理解とコントロール	2,200
情報科学研究科 講師 脇田 航	低コストかつ高没入なロコモーションプラットフォーム基盤技術の構築	3,200
平和研究所 教授 ロバート・ジェイコブズ	American Hibakusha: Radiation Affected Communities Inside of the United States of America	1,200

③ 基盤研究(C) 40件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 教授 大庭 千恵子	EU加盟候補国における「国民国家」変容－旧ユーゴスラヴィア・マケドニア共和国	700
国際学部 教授 マイケル・ゴーマン	Beyond Cli-Fi: Expanding the Boundaries of American Climate Literature	800
国際学部 教授 寺田 英子	ASEAN時代のロジスティクス構築戦略に関する研究	1,200
国際学部 教授 李 在鎬	自動車産業の電動化の移行期におけるバリューチェーンと企業間分業～日中韓の比較～	1,400
国際学部 教授 卜部 匡司	三分岐型から二分岐型への中等学校制度改革に伴うドイツ教育評価制度の再編と機能変容	400
国際学部 教授 福本 昌之	高信頼性組織化によるレジリエンスを高める学校危機管理に関する開発的研究	800
国際学部 教授 渡辺 智恵	オンライン授業時代における英語eラーニングの学習質保証	500
国際学部 准教授 大場 静枝	フランス・ブルターニュ地方における近現代の文芸運動とナショナリズム	800
国際学部 准教授 城多 努	芸術文化団体の経営力向上を目指した会計情報活用の研究	1,100
国際学部 准教授 古澤 嘉朗	平和構築の力学と国家に関する研究:サブサハラ・アフリカの事例に着目して	1,000
国際学部 講師 武田 悠	原子力の国際管理と日本:プルトニウム国際貯蔵構想の挫折、1978-1982	450
国際学部 名誉教授 曾根 幹子	オリンピックの出征と戦争体験が戦後のスポーツ界の復興・再建過程に与えた影響	1,000
情報科学研究科 教授 石田 賢治	異種混合ネットワークにおける多次元情報逗留技術	800
情報科学研究科 教授 鷹野 優	蛋白質構造形成に関する高次構造依存性の解明および新規分子力場の開発	700
情報科学研究科 教授 田中 輝雄	多価確率微分方程式に対する確率制御理論の構築と展開	500
情報科学研究科 教授 永山 忍	次世代車載ネットワークへの不正侵入を高速に検知する自己学習型システムの開発	800
情報科学研究科 教授 藤坂 尚登	量子ドット結合系の非線形確率常微分方程式による記述と大容量THz無線通信の検討	400
情報科学研究科 教授 前田 香織	通信品質を考慮するサイバー攻撃防御システムに関する研究	700
情報科学研究科 教授 松原 行宏	力覚提示および擬似力覚提示機能を持つ学習支援システムの開発と比較研究	700
情報科学研究科 教授 李 仕剛	注視情報から意図を推定する「人馬一体」型の車いすロボットの開発	600
情報科学研究科 教授 増谷 佳孝	拡散MRIによる生体組織の定量特徴推定のための生成型X-Q空間学習の研究	1,900

情報科学研究科 教授	市原 英行	ストカスティックコンピューティング回路のための高位合成手法に関する研究	900
情報科学研究科 准教授	内田 智之	大規模グラフ構造圧縮データに対する並列グラフマイニングシステムの開発	700
情報科学研究科 准教授	小畑 博靖	現象数理学に基づく無線LAN通信品質のモデル化技術	1,300
情報科学研究科 准教授	釘宮 章光	網羅的に病態の診断が可能なアミノ酸計測用小型装置の開発	1,100
情報科学研究科 准教授	河野 英太郎	大規模ネットワークへの拡張を可能とする高速Bluetooth MANET構成法	1,400
情報科学研究科 准教授	高橋 賢	準天頂測位衛星「みちびき」から放送される災害・危機通報の移動受信方法	1,000
情報科学研究科 講師	岡本 勝	実際の実験器具を用いたAR型化学学習支援	600
情報科学研究科 講師	神尾 武司	強化学習ベース多船航路探索法における行動表現の高度化	800
情報科学研究科 講師	香田 次郎	バイオディーゼル燃料洗浄廃水から調製した液体肥料の微生物増殖抑制に関する研究	500
情報科学研究科 講師	常盤 達司	立位姿勢制御における前庭覚の役割を段階的・定量的に解明する新規な評価法の開発	500
情報科学研究科 講師	馬場 雅志	光の散乱・吸収を考慮した海中動画像の色補正と物体形状復元	700
情報科学研究科 講師	齋藤 徹	金属酵素の酵素反応機構およびリガンド相互作用の定量的解明	2,100
情報科学研究科 講師	上土井 陽子	ブロックチェーンでファンジビリティとセキュリティを両立するための自己防衛方式	1,900
情報科学研究科 助教	岩垣 剛	確率的演算に基づく非同期式回路の設計と高信頼化に関する研究	1,000
情報科学研究科 助教	川本 佳代	キットビルド方式に基づく学習支援システムによる論理的思考力の育成	1,000
情報科学研究科 助教	鈴木 祐介	多様な付加情報を活用したグラフ構造データに対する高性能グラフマイニング手法の開発	900
芸術学部	准教授 石松 紀子	脱植民地期の東南アジアにおける美術形成プロセスの検証—旧英国植民地3国をとおして	900
平和研究所	講師 加藤 美保子	ロシアと中国・旧ソ連友好国の関係回復の検証:戦後国際秩序へのインパクトの観点から	500
平和研究所	特任教授 佐藤 哲夫	国際公益機関としての国際組織やNGOなどの活動を規律する原則と実施の仕組みの研究	800

④ 若手研究

11件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)		研究課題名	交付決定額
国際学部	准教授 李 玲	中国的パトリオティズムに関する質的・量的調査	200
国際学部	講師 原 雅樹	金融資本主義胚胎期としてのヴィクトリア時代の小説における責任主体表象に関する研究	900
国際学部	講師 寺井 里沙	企業集団の人権侵害に対する国際私法的アプローチ	600
国際学部	講師 秦野 貴光	国連平和維持活動が紛争の政治的解決に貢献するための諸条件に関する比較分析	200
情報科学研究科	准教授 毛利 考佑	仮想議論者を用いた協調学習空間の構築と評価	1,300
情報科学研究科	助教 小林 真	田渉除去技術を用いた複数端末連携による高信頼・低遅延無線ネットワーク構築	900
情報科学研究科	助教 高橋 雄三	仮想運動による視知覚空間の歪みを是正するインタフェース・デザインに関する研究	900
芸術学部	助教 古賀 くらら	『原爆の図』の技法材料と絵画表現 —第1部《幽霊》を主として—	600
平和研究所	准教授 河 昞珍	戦後PRの歴史的変容に関する研究:言説と表象の比較的分析を通じて	600
平和研究所	准教授 四條 知恵	マイノリティをめぐる原爆被害の歴史叙述の検討——長崎におけるろう者の語りから	700
企画室	特任助教 山咲 博昭	日本の大学における内部質保証システムを推進する人材のあり方に関する研究	900

⑤ 研究活動スタート支援 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
情報科学研究科 助教 ムハンマド・サルマン・アル・ファリシイ	呼吸器系のその場連続監視に向けた生分解性埋込み型流量センサ	1,200

⑥ 研究成果公開促進費 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	刊行物の名称	交付決定額
国際学部 教授 金谷 信子	介護サービスと市場原理—効率化・質と市民社会のジレンマ—	1,200

⑦ 国際共同研究加速基金 1件

単位:千円

研究代表者(所属・職名・氏名)	研究課題名	交付決定額
国際学部 准教授 斎藤 祥平	北方・シベリア人会和北ユーラシア構想:マイノリティと広域思想に関する国際共同研究	(交付申請前)

59 件

65,750 千円

基盤研究:1人で行う研究または複数の研究者が共同して行う創造的・先駆的な研究

若手研究:博士の学位取得後8年未満の研究者が一人で行う研究

研究活動スタート支援:我が国の研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰した研究者等が行う研究

研究成果公開促進費:研究成果の公開発表、学術研究成果の発信、データベースの作成・公開のための助成金

国際共同研究加速基金:国際共同研究を行うことで、研究計画を発展させ、優れた研究成果を上げることが目的とした助成金

⑧ 2020年度科学研究費補助金採択状況（公立大学分）

（新規採択＋継続分）

○交付決定件数順

（金額単位：千円）

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
1	名古屋市立大学	595	829,781	245,163	1,074,944
2	大阪市立大学	522	853,200	261,070	1,114,270
3	東京都立大学	494	805,590	226,860	1,032,450
4	大阪府立大学	408	910,340	265,440	1,175,780
5	横浜市立大学	382	779,360	231,819	1,011,179
6	京都府立医科大学	340	472,370	141,711	614,081
7	福島県立医科大学	290	301,947	93,068	395,014
8	兵庫県立大学	274	495,000	147,045	642,045
9	札幌医科大学	268	331,050	98,634	429,684
10	奈良県立医科大学	254	338,700	101,310	440,010
11	和歌山県立医科大学	217	256,130	76,839	332,969
12	静岡県立大学	155	248,500	73,950	322,450
13	富山県立大学	117	183,820	53,265	237,085
14	秋田県立大学	110	169,757	50,310	220,067
15	愛知県立大学	108	85,700	25,500	111,200
16	滋賀県立大学	104	141,000	41,130	182,130
17	県立広島大学	104	99,400	29,550	128,950
18	京都府立大学	85	119,200	33,990	153,190
19	北九州市立大学	80	127,410	37,755	165,165
20	埼玉県立大学	78	82,000	23,310	105,310
21	九州歯科大学	73	87,900	26,370	114,270
22	広島市立大学	68	79,900	23,970	103,870
23	高知工科大学	67	159,640	47,892	207,532
24	岡山県立大学	66	68,600	20,280	88,880
25	岩手県立大学	64	54,450	16,290	70,740
26	高知県立大学	62	116,123	23,497	139,620
27	岐阜薬科大学	62	108,300	29,070	137,370
28	福井県立大学	56	86,250	25,365	111,615
29	茨城県立医療大学	51	39,440	11,400	50,840
30	宮城大学	48	46,060	13,668	59,728
31	神奈川県立保健福祉大学	44	79,000	23,700	102,700
32	島根県立大学	42	37,000	10,650	47,650
33	神戸市外国語大学	42	48,400	14,520	62,920
34	熊本県立大学	41	40,700	11,640	52,340
35	長崎県立大学	40	35,760	10,287	46,047
36	福岡県立大学	39	30,300	9,090	39,390
37	会津大学	38	38,800	11,370	50,170
38	神戸市看護大学	37	36,400	10,470	46,870
39	山陽小野田市立山口東京理科大学	36	41,806	12,542	54,348
40	高崎経済大学	36	30,100	9,030	39,130
41	公立小松大学	36	39,400	11,820	51,220
42	福岡女子大学	33	31,270	9,240	40,510
43	公立はこだて未来大学	32	48,100	13,920	62,020
44	山梨県立大学	31	26,000	7,800	33,800
45	石川県立大学	31	62,600	18,570	81,170
46	京都市立芸術大学	30	30,600	8,790	39,390
47	都留文科大学	29	18,520	6,150	24,670
48	山口県立大学	29	21,700	6,000	27,700
49	石川県立看護大学	29	27,300	8,190	35,490
50	青森県立保健大学	28	23,350	7,005	30,355
51	札幌市立大学	27	27,392	8,218	35,610
52	三重県立看護大学	26	24,600	7,320	31,920
53	千葉県立保健医療大学	25	15,500	4,650	20,150

○交付決定件数順

(金額単位：千円)

順位	機 関 名	件数	配分額	間接経費	合計
54	新潟県立看護大学	24	14,150	4,245	18,395
55	静岡文化芸術大学	23	23,200	6,960	30,160
56	新潟県立大学	23	25,200	7,560	32,760
57	大分県立看護科学大学	22	20,700	6,210	26,910
58	福山市立大学	20	13,700	4,110	17,810
59	群馬県立県民健康科学大学	20	13,983	4,020	18,003
60	前橋工科大学	20	21,050	6,315	27,365
61	愛媛県立医療技術大学	18	19,600	5,880	25,480
62	新見公立大学	18	11,700	3,510	15,210
63	長野県看護大学	17	14,500	4,350	18,850
64	香川県立保健医療大学	16	17,400	5,220	22,620
65	国際教養大学	16	11,100	3,330	14,430
66	長野県立大学	15	13,784	2,603	16,387
67	名寄市立大学	15	10,400	3,120	13,520
68	公立諏訪東京理科大学	15	16,200	4,860	21,060
69	福知山公立大学	15	12,510	3,753	16,263
70	沖縄県立芸術大学	14	14,353	4,306	18,659
71	釧路公立大学	14	15,950	4,785	20,735
72	山形県立保健医療大学	13	9,400	2,670	12,070
73	公立鳥取環境大学	13	9,502	2,850	12,352
74	東京都立産業技術大学院大学	12	13,300	3,990	17,290
75	下関市立大学	12	8,400	2,520	10,920
76	宮崎県立看護大学	12	11,400	3,420	14,820
77	群馬県立女子大学	12	8,200	2,460	10,660
78	尾道市立大学	11	7,800	2,340	10,140
79	長野大学	10	8,740	2,622	11,362
80	秋田公立美術大学	10	5,140	1,572	6,712
81	岐阜県立看護大学	9	5,100	1,530	6,630
82	愛知県立芸術大学	8	10,380	2,760	13,140
83	宮崎公立大学	8	4,433	1,269	5,702
84	金沢美術工芸大学	8	8,200	2,460	10,660
85	奈良県立大学	8	8,800	2,640	11,440
86	愛知県立芸術大学	8	10,380	2,760	13,140
87	公立千歳科学技術大学	6	16,000	4,800	20,800
88	沖縄県立看護大学	5	5,000	1,500	6,500
89	長岡造形大学	5	4,304	1,230	5,534
90	名桜大学	4	5,100	1,530	6,630
91	敦賀市立看護大学	4	5,900	1,770	7,670
92	情報科学芸術大学院大学	2	1,358	360	1,718
93	山形県立米沢栄養大学	1	200	60	260
94	青森公立大学	1	1,000	300	1,300
95	静岡農林環境専門職大学	1	1,700	510	2,210
96	山形県立米沢栄養大学	1	200	60	260

※2020年度、日本学術振興会から交付決定された内定情報が対象(当年度の転出情報を含む。転入情報は含まない。)

(5) 研究開発費助成制度等の採択状況

《2021 年度》

◆2021 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017 年度から 5 年間）

2021 年度：6,150,000 円

◆2021 年度日本中央競馬会畜産振興事業（農林水産省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 石光 俊介

研究課題：豚呼吸器病早期発見のための AI 耳標センサ研究開発
（2020 年度から 3 年間）

2021 年度：14,661,000 円

◆2021 年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：ウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマットに関する国際標準化
（2020 年度から 3 年間）

2021 年度：4,356,968 円

◆人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業／実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 准教授 古川 亮

研究課題：医用画像向け準汎用学習済みモデルの構築
（2020 年度から 2 年間）

2021 年度：4,842,200 円

《2020 年度》

◆2020 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 前田 香織

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
（2017 年度から 5 年間）

2020 年度：9,085,000 円

◆2020 年度日本中央競馬会畜産振興事業（農林水産省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 石光 俊介

研究課題：豚呼吸器病早期発見のための AI 耳標センサ研究開発
（2020 年度から 3 年間）

2020 年度：15,111,000 円

◆2020 年度省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：ウェアラブルセンサ信号のコンテナフォーマットに関する国際標準化
(2020 年度から 3 年間)

2020 年度：6,940,560 円

◆人と共に進化する次世代人工知能に関する技術開発事業／実世界に埋め込まれる人間中心の人工知能技術の研究開発（経済産業省）

【2020 年度採択】

情報科学研究科 准教授 古川 亮

研究課題：医用画像向け汎用学習済みモデルの構築
(2020 年度から 2 年間)

2020 年度：11,034,000 円

《2019 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業（総務省）

【2018 年度採択】

情報科学研究科 教授 田中 宏和

研究課題：干渉コーディネーションによる高信頼な医療・ヘルスケア BAN 構築に向けた研究開発
(2018 年度から 2 年間)

2019 年度：8,434,351 円

◆2019 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
(2015 年度から 5 年間)

2019 年度：20,232,000 円

◆2019 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）
(2017 年度から 5 年間)

2019 年度：9,825,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点
(2014 年度から 9 年間)

2019 年度：6,045,000 円

《2018 年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015 年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明

（2015 年度から 5 年間）

2018 年度：8,710,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

（2014 年度から 9 年間）

2018 年度：6,045,000 円

◆2018 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT-Pro）

（2017 年度から 5 年間）

2018 年度：8,152,000 円

◆2018 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

（2015 年度から 5 年間）

2018 年度：38,374,000 円

《2017 年度》

◆戦略的創造研究推進事業（文部科学省）

【2015 年度採択】

情報科学研究科 教授 鷹野 優

研究課題：新規細胞膜電位シグナルの構造基盤の解明

（2015 年度から 5 年間）

2017 年度：8,710,000 円

◆センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム（文部科学省）

【2014 年度採択】

情報科学研究科 教授 竹澤 寿幸

プログラム名：精神的価値が成長する感性イノベーション拠点

（2014 年度から 9 年間）

2017 年度：7,995,000 円

◆2017 年度研究拠点形成費等補助金（文部科学省）

【2017 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明
プログラム名：成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT-Pro)
(2017年度から5年間)

2017年度：10,578,000円

◆2017年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
(2015年度から5年間)

2017年度：50,464,000円

《2016年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域ICT型研究開発]（総務省）

【2015年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣
研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発
(2015年度から2年間)

2016年度：5,252,000円

◆2016年度大学間連携共同教育推進事業運営交付金（文部科学省）

【2012年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012年度から5年間)

2016年度：6,408,000円

◆2016年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2016年度採択】

情報科学研究科 教授 増谷 佳孝
プログラム名：ひろしま医工学ウィンタースクール

2016年度：4,440,000円

◆2016年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業
(2015年度から5年間)

2016年度：46,798,000円

《2015年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進事業[地域ICT型研究開発]（総務省）

【2015年度採択】

情報科学研究科 准教授 難波 英嗣
研究課題：訪日外国人旅行者を対象とした地域情報マイニング技術の研究開発

2015年度：2,028,000円

◆2015 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2015 年度：9,750,000 円

◆2015 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013 年度から 3 年間)

2015 年度：4,207,000 円

◆2015 年度大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）（文部科学省）

【2015 年度採択】

プログラム名：地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

(2015 年度から 5 年間)

2015 年度：52,513,000 円

《2014 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
(2013 年度から 2 年間)

2014 年度：9,243,000 円

◆2014 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2014 年度：12,600,000 円

◆2014 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013 年度から 3 年間)

2014 年度：4,207,000 円

《2013 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 教授 角田 良明

研究課題：アシュアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用システムの研究開発

2013 年度：4,596,800 円

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[地域 ICT 型研究開発]（総務省）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 講師 谷口 和弘

研究課題：広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
(2013 年度から 2 年間)

2013 年度：11,350,300 円

◆2013 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2013 年度：14,000,000 円

◆2013 年度大学連携による新たな教育プログラム開発・実施事業（広島県）

【2013 年度採択】

情報科学研究科 准教授 双紙 正和

プログラム名：大学間連携による新たなグローバル人材育成プログラム
(2013 年度から 3 年間)

2013 年度：6,390,000 円

《2012 年度》

◆戦略的情報通信研究開発推進制度[ICTイノベーション創出型研究開発]（総務省）

【2010 年度採択】

情報科学研究科 講師 古川 亮

研究課題：4次元メディアシステムの研究開発
(2010 年度から 3 年間)

2012 年度：8,320,000 円

◆2012 年度大学間連携共同教育推進事業補助金（文部科学省）

【2012 年度採択】

情報科学研究科 教授 樋脇 治

研究課題：臨床情報医工学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成
(2012 年度から 5 年間)

2012 年度：13,000,000 円

(6) F D ・ S D 活動実施状況 (2021年度)

内 容	年 月 日	テーマ／講師
新任教職員 F D ・ S D 研修会 ①参加者数：17名 ②場所：大会議室	2021年4月5日 ～4月6日	理事長講話／理事長・学長 若林真一 大学紹介／副学長 渡辺智恵 事務局の概要／総務室室長補佐 高路地英司 学内視察
前期授業アンケート ①受講登録者数：17,443人 ②回答者数：12,363人 (回答率：70.9%)	2021年6月2日 ～10月8日	
令和3年度 科研費・外部資金獲得 セミナー ①参加人数：90名 ②場所：オンライン	2021年6月24日	副学長 石田賢治 国際学部教授 倉科一希 情報科学研究科教授 小野貴彦 社会連携センター長 田村慶一
安全保障貿易管理セミナー ①参加者数：72人 ②場所：オンライン	2021年6月30日	本学の安全保障貿易管理に係る取組について／ 教務・研究支援室教育研究支援グループ 秋嶋 優佑
危機管理研修 ①参加者数：179名 ②場所：オンライン	2021年8月10日 ～9月30日	広島市危機管理室災害予防課 玖島課長
公務員倫理研修 ①参加者数：35名 ②場所：オンライン	2021年8月18日 ～10月8日	広島市が実施する公務員倫理研修 ／広島市人事課職員
後期授業アンケート ①受講登録者数：15,625人 ②回答者数：9,760人 (回答率：62.5%)	2021年11月12日～ 2022年2月18日	
教育DXの取組について ①参加者数：99名 ②場所：オンライン	2021年11月19日	広島市立大学のデジタル化について／学長 若 林真一 本共同トライアルについて／情報科学研究科教 授 弘中哲夫 教育の質向上に向けてラーニングアナリティク スができることとは何か？／九州大学ラーニ ングアナリティクスセンター部門長 山田政寛
業務効率化研修(1)基礎編 ①参加者数：109名 ②場所：情報科学棟別館409会 議室及びオンライン	2021年11月25日、 26日	業務効率化に関する意識醸成を目的とした研修 ／寺尾コンサルティング 寺尾健志
研究倫理・コンプライアンスe ラーニング研修 ①参加者数：230名 ②場所：オンライン	2021年12月15日～ 2022年1月31日	職員：日本学術振興会が提供する研究倫理e ラーニングコース 教員：一般財団法人公正研究推進協会が提供す るA P R I N eラーニングプログラム
情報セキュリティ研修—SNSの正 しい使い方 ①参加者数：73名 ②場所：オンライン	2022年1月17日	広島県警察本部 サイバー犯罪対策課対策係 金山喜和

内 容	年月日	テーマ／講師
2022年度「3学部合同基礎演習」 担当教員説明会 ①参加者数：21名 ②場所：オンライン	2022年2月22日	副学長 渡辺智恵
情報セキュリティ監査の実施方法 等について ①参加者数：7名 ②場所：オンライン	2022年2月28日	・ 本学情報セキュリティポリシーの概要 ・ 情報セキュリティ監査の実施方法等 ・ 2021年度監査計画の内容 ／総務室長 田中良典
業務効率化研修(2)ツール編 ①参加者数：37名 ②場所：情報科学棟501及びオ ンライン	2022年3月8日、9日	業務効率化に関し、共同・同時作業、ファイル 共有等参加職員によるパソコンを使った実務研 修／寺尾コンサルティング 寺尾健志
本学における利益相反マネジメン トについて ①参加者数：84名 ②場所：オンライン	2022年3月10日	本学における利益相反マネジメントについて／ 社会連携センター 主事 長山哲也
配慮を要する学生の支援について ①参加者数：29人 ②場所：オンライン	2022年3月11日～31 日	・ 障害者差別解消法や対応要領等に基づく配慮 について ・ 「配慮申請の実際」と題して本学における対 応状況について(2022年3月11日動画掲載)／心と 身体の相談センター カウンセラー 今江秀和
今後の地域志向教育のあり方につ いて―検討状況の報告― ①参加者数：67名 ②場所：オンライン	2022年3月14日	今後の地域志向教育のあり方について、2022年 度の検討状況等の報告／社会連携センター 國 本善平
法人職員向け人材育成セミナー ①参加者数：10名 ②場所：本部棟第1会議室(15 日)、芸術学部会議室 (25日)	2022年3月15日、25 日	企画室 特任助教 山咲博昭
アクティブラーニング研修会 ①参加者数：77名 ②場所：オンライン	2022年3月17日	情報科学研究科教授 満上育久 同教授 市原英行 同准教授 大田知行 同准教授 藤原久志 芸術学部講師 古堅太郎
ハラスメント研修 ①参加者数：－ ②場所：オンライン	通年	全教職員を対象にメールで情報共有
公立大学協会各種研修 ①参加者数：5名 ②場所：オンライン	通年	・ 公立大学に関する基礎研修 ・ 公立大学リスクマネジメントセミナー ・ 公立大学職員セミナー

3 入学者選抜

(1) 入学者選抜の概要

ア 学部（2023年度入試）

◇一般選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考
前期日程	60	国際学部	総合問題	本学が指定する科目について大学入学共通テストの受験を課す。
	120	情報科学部	数学	
	45	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
後期日程	15	国際学部	小論文	
	35	情報科学部	数学	
	17	芸術学部 美術学科彫刻専攻 デザイン工芸学科	実技検査	
計	292	(内訳 国際学部 75 情報科学部 155 芸術学部 62)		

◇特別選抜

試験区分	募集人員	学部	試験科目等	備考	
総合型選抜	5	国際学部	1次選考（書類審査） 2次選考（小論文、面接）		
	5	情報科学部	1次選考（書類審査） 2次選考（総合問題、面接）		
	18	芸術学部 美術学科日本画専攻 油絵専攻 彫刻専攻	提出書類、 本選考（小論文、実技検査、面接）		
		芸術学部 デザイン工芸学科	提出書類、 本選考（小論文、課題作品、面接）		
学校推薦 型選抜	市内公募	10	国際学部	市内公募：入学時の1年以上前から広島市に住所を有している者	
	全国公募				小論文、面接
	市内公募	25	情報科学部		総合問題、面接・出願書類
	全国公募				
外国人留学生選抜	若干名	国際学部	小論文、面接	本学が指定する科目について日本留学試験の受験を課す。	
	若干名	情報科学部	数学、面接		
	若干名	芸術学部	実技検査、面接		
計	98	(内訳 国際学部 25 情報科学部 55 芸術学部 18)			

イ 大学院（2023年度入試）

◇一般入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考
博士前期課程	15	国際学研究科	小論文、口述試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
	47	情報科学研究科	外国語、数学、データ構造とアルゴリズム、面接 ※実施科目は全専攻で統一	
	30	芸術学研究科	作品提出又は論文 研究計画書 実技、プレゼンテーション又は筆記試験 口述試験 ※実施科目は志望研究領域によって異なる	
	10	平和学研究科	小論文、口述試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
博士後期課程	7	国際学研究科	口述試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
	28	情報科学研究科	専門科目、口頭試験	
	6	芸術学研究科	外国語、作品提出、口述試験、小論文	
	4	平和学研究科	口述試験	2022年10月入学有り(募集人員:若干名)
計	147	(内訳 博士前期課程 102 博士後期課程 45)		

◇特別入試

試験区分	募集人員	研究科	試験科目等	備考	
博士前期課程	社会人入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
		若干名	情報科学研究科	面接	
		若干名	平和学研究科	口述試験	
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	
	海外在住者対象外国人留学生入試	若干名	国際学研究科	口述試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
	外国人留学生入試	若干名	平和学研究科	書類選考、面接	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
	推薦入試	若干名	国際学研究科	口述試験	
37		情報科学研究科	面接	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)	
博士後期課程	社会人入試	若干名	情報科学研究科	口頭試験	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
	海外学術交流協定大学推薦入試	若干名	国際学研究科	書類選考	2022年10月入学有り (募集人員:若干名)
計	37+若干名 (内訳 博士前期課程 37+若干名 博士後期課程 若干名)				

(2) 入学者選抜実施状況 (2022年度入試)

ア 学部1年次入学

・入学者選抜実施状況

学部	学科	募集人員	志願者数	受験者数 (A)	合格者数 (B)	入学者数	倍率 (A/B)	
国際学部	国際学科	人 100	人 554	人 339	人 120	人 112	倍 2.8	
情報科学部	情報工学科	210	1,213	748	250	221	3.0	
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	28	26	13	12	2.0
		油絵専攻	20	59	58	25	23	2.3
		彫刻専攻	10	25	22	15	11	1.5
	デザイン工芸学科	40	220	183	46	43	4.0	
	計	80	332	289	99	89	2.9	
合 計		390	2,099	1,376	469	422	2.9	

・入学者の男女別、県内・県外別、卒業年調

学 部	入学者数	男	女	広島県内		広島県外	卒 業 年	
				広島市内	広島市外		新卒	既卒・他
国際学部	人 112	人 20	人 92	人 43	人 26	人 43	人 105	人 7
情報科学部	221	194	27	100	43	78	196	25
芸術学部	89	25	64	21	11	57	65	24
計 (構成比)	422	239 (56.6%)	183 (43.4%)	164 (38.9%)	80 (19.0%)	178 (42.1%)	366 (86.7%)	56 (13.3%)

イ 大学院（博士前期課程 2022年4月入学分）

・入学者選抜実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究所	国際学専攻	人 15	人 6 (3)	人 6 (3)	人 6 (3)	人 6 (3)
情報科学研究科	情報工学専攻	23	25 (0)	25 (0)	25 (0)	24 (0)
	知能工学専攻	23	31 (2)	31 (2)	29 (1)	26 (1)
	システム工学専攻	23	26 (0)	26 (0)	24 (0)	21 (0)
	医用情報科学専攻	15	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)
	計	84	87 (2)	87 (2)	83 (1)	76 (1)
芸術学研究所	造形芸術専攻	30	37 (10)	37 (10)	30 (5)	30 (5)
平和学研究所	平和学専攻	10	14 (5)	12 (5)	11 (4)	8 (4)
合計		139	144 (20)	142 (20)	130 (13)	120 (13)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究所、情報科学研究科及び平和学研究所の募集人員は、2021年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学		卒業年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究所	人 6	人 3	人 3	人 2	人 4	人 3	人 3
情報科学研究科	76	69	7	74	2	75	1
芸術学研究所	30	9	21	24	6	25	5
平和学研究所	8	4	4	0	8	4	4
計	120	85	35	100	20	107	13

ウ 大学院（博士後期課程 2022年4月入学分）

・入学者選抜実施状況

研究科	専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国際学研究所	国際学専攻	人 7	人 1 (0)	人 1 (0)	人 1 (0)	人 1 (0)
情報科学研究科	情報科学専攻	28	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
芸術学研究所	総合造形芸術専攻	6	11 (6)	11 (6)	9 (4)	9 (4)
平和学研究所	平和学専攻	4	2 (1)	2 (1)	1 (0)	1 (0)
計		45	16 (8)	16 (8)	13 (5)	13 (5)

※()内は留学生数で内数である。

※国際学研究所、情報科学研究科及び平和学研究所の募集人員は、2021年10月入学分を含む。

・入学者の男女別、出身大学院別、卒業年調

研究科	入学者数	男	女	出身大学院		修了年	
				本学	他大学	新卒	既卒他
国際学研究所	人 1	人 1	人 0	人 0	人 1	人 0	人 1
情報科学研究科	2	1	1	1	1	1	1
芸術学研究所	9	3	6	7	2	5	4
平和学研究所	1	0	1	0	1	0	1
計	13	5	8	8	5	6	7

(3) 年次別競争率等 (2013年度～2022年度入試)

ア 年次別競争率

(単位：倍)

区 分		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
国際学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	5.0	5.0
	学校推薦型選抜	2.2	1.9	1.9	2.0	2.4	2.1	2.3	1.9	2.4	2.2
	一般選抜 前期日程	3.3	2.3	3.0	2.1	3.3	3.3	2.0	2.3	2.0	2.4
	一般選抜 後期日程	5.3	3.3	4.1	4.0	5.5	6.7	3.7	4.8	1.7	5.0
情報科学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	3.2	1.8
	学校推薦型選抜	2.1	1.9	2.1	1.8	1.8	2.2	2.0	2.3	1.8	1.5
	一般選抜 前期日程	3.4	2.4	3.1	2.5	1.8	2.0	2.4	1.9	3.3	2.7
	一般選抜 後期日程	6.7	2.4	4.7	4.0	3.1	3.0	3.6	3.4	6.6	6.0
芸術学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	3.2	2.9
	彫刻専攻 自己推薦入試	3.8	2.8	3.5	3.0	1.5	3.5	2.3	1.3	/	/
	一般選抜	2.4	2.3	3.0	2.8	3.0	2.7	3.0	2.7	3.1	2.9

イ 特別入試入学者数

(単位：人)

区 分		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
国際学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	6	5
	学校推薦型選抜	22	25	26	25	25	27	27	27	24	26
	外国人留学生選抜	5	7	1	4	9	8	7	4	2	3
情報科学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	5	6
	学校推薦型選抜	49	47	46	44	44	47	46	46	50	50
	外国人留学生選抜	2	2	1	1	1	1	2	3	2	2
芸術学部	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	22	20
	彫刻専攻 自己推薦入試	4	4	4	4	4	4	4	4	/	/
	外国人留学生選抜	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
計	総合型選抜	/	/	/	/	/	/	/	/	33	31
	学校推薦型選抜	71	72	72	69	69	74	73	73	74	76
	彫刻専攻 自己推薦入試	4	4	4	4	4	4	4	4	/	/
	外国人留学生選抜	7	9	2	5	10	9	9	7	5	6

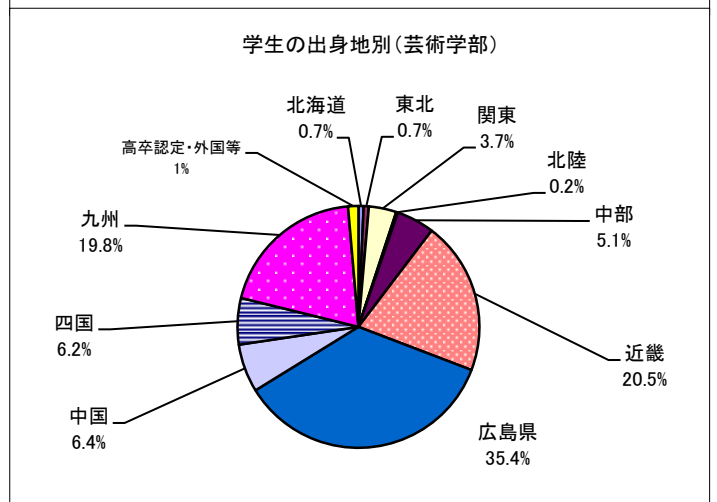
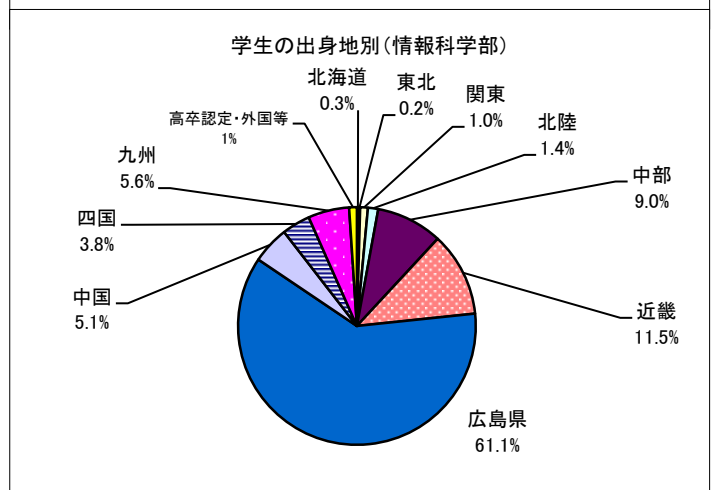
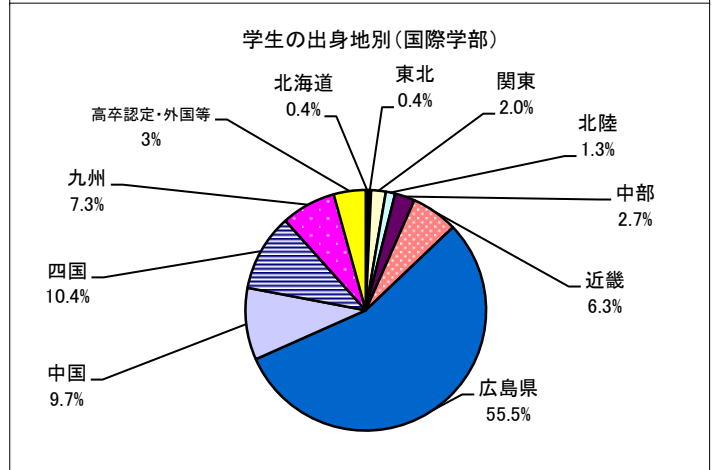
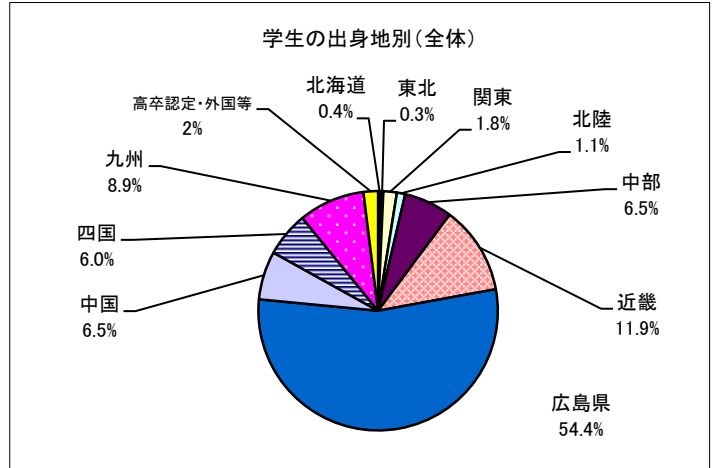
ウ 編入学者数

(単位：人)

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	/	/
受験者数	1	2	4	1	1	3	1	2	/	/
入学者数	0	1	1	0	0	2	0	1	/	/

(4) 入学者の状況
出身都道府県別内訳 (2018年度～2022年度 学部)

出身地域	人数	内訳			
		国際学部	情報科学部	芸術学部	
北海道地方	8	2	3	3	
東北地方	青森県	3	0	1	2
	岩手県	3	2	0	1
	宮城県	0	0	0	0
	秋田県	0	0	0	0
	山形県	1	0	1	0
	福島県	0	0	0	0
	計	7	2	2	3
関東地方	茨城県	6	3	1	2
	栃木県	1	0	1	0
	群馬県	1	0	1	0
	埼玉県	2	2	0	0
	千葉県	3	2	1	0
	東京都	14	3	4	7
	神奈川県	12	1	4	7
	計	39	11	12	16
北陸地方	新潟県	0	0	0	0
	富山県	4	0	4	0
	石川県	12	4	7	1
	福井県	8	3	5	0
	計	24	7	16	1
中部地方	山梨県	7	1	4	2
	長野県	9	1	6	2
	岐阜県	19	2	11	6
	静岡県	39	3	31	5
	愛知県	66	8	51	7
	計	140	15	103	22
近畿地方	三重県	22	1	15	6
	滋賀県	13	3	6	4
	京都府	59	6	22	31
	大阪府	56	8	25	23
	兵庫県	74	10	50	14
	奈良県	18	2	5	11
	和歌山県	13	5	8	0
	計	255	35	131	89
中国地方	鳥取県	20	7	10	3
	島根県	21	11	9	1
	岡山県	58	25	19	14
	広島県	1,163	310	699	154
	山口県	41	11	20	10
計	1,303	364	757	182	
四国地方	徳島県	21	10	10	1
	香川県	50	23	15	12
	愛媛県	48	17	19	12
	高知県	10	8	0	2
計	129	58	44	27	
九州地方	福岡県	68	9	22	37
	佐賀県	12	3	2	7
	長崎県	17	4	8	5
	熊本県	30	6	8	16
	大分県	15	6	7	2
	宮崎県	18	4	7	7
	鹿児島県	21	3	9	9
	沖縄県	10	6	1	3
	計	191	41	64	86
高卒認定・外国等	42	24	12	6	
合計	2,138	559	1,144	435	



(5) 社会人入試（大学院）の状況

◆ 国際学研究所（2022年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例：ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 情報科学研究科（2022年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 面接

(2) 博士後期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 修士の学位を有する者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において、通算して2年以上の勤務経験を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 平和学研究所（2022年度入試）

(1) 博士前期課程

- ア 募集人員 若干名
- イ 出願資格 学校教育法に規定する大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学時において3年以上の職歴又はその他の経験（例：ボランティア活動など）を有する者
- ウ 選抜方法 口述試験

◆ 社会人入試による入学者数 (2017～2021 年度)

単位：人

区 分			2017	2018	2019	2020	2021
国際学研究科	博士前期課程	4月入学	2	0	1	3	0
		10月入学	0	1	0	1	0
情報科学研究科	博士前期課程	4月入学	1	0	0	1	1
		10月入学	0	0	0	0	0
	博士後期課程	4月入学	2	1	0	2	0
		10月入学	0	0	0	0	0
平和学研究科	博士前期課程	4月入学	-	-	1	4	1
		10月入学	-	-	0	0	0

4 学生生活

(1) 学生の受賞状況

《2021 年度》

※学年は受賞当時

◆印は学生表彰受賞者

学術活動

【情報科学部・情報科学研究科】

◆情報科学研究科（博士前期課程）システム工学専攻 2 年 油木悠

「The 15th International Conference on Innovative Computing, Information and Control (ICICIC2021)」において、マツダとの共同研究発表で、「Best Presentation Award」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 2 年 山崎樹生

「電子情報通信学会ネットワークソフトウェア研究会」において、「若手研究奨励賞」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士後期課程）情報科学専攻 3 年 佐々木公

「第 49 回日本磁気共鳴医学会大会 (JSMRM2021)」において、「学術奨励賞（大会長賞）」を受賞した。

◆情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 2 年 秦将裕

広島市環境局・安佐南工場との連携事業において、「大型ごみ自己搬入抽選受付システム」の開発に尽力した。

◆情報科学部システム工学科 4 年 平井孝明

「第 23 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム」において、「HISS 優秀プレゼンテーション賞」を受賞した。

◆情報科学部システム工学科 4 年 村本修斗

「第 23 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム」において、「HISS 優秀研究賞」を受賞した。

◆情報科学部システム工学科 4 年 河野和葉

「フレッシュ IT あわ〜ど 2021」において、コロナ禍でも安心して学生食堂を利用できるアイデアを応募し、入賞（アイデア部門 3 位相当）した。

◆情報科学部システム工学科 4 年 河野和葉

◆情報科学部医用情報科学科 4 年 津崎星

「みんなのラズパイコンテスト 2021」において、「優良賞」を受賞した。

□情報科学部情報工学科 4年 河野一真

「情報処理学会第 83 回全国大会」プロミング・設計セッションにおいて、「学生奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻 1年 寺岡純

「2020 IEEE SMC Hiroshima Chapter 若手研究会」において、「IEEE SMC Hiroshima Chapter Young Researcher Award」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻 2年 三川元暉

「第 23 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム」において、「HISS 優秀研究賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 1年 浜田風

「第 23 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム」において、「HISS 優秀研究賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）知能工学専攻 1年 寺本ちひろ

「第 23 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム」において、「IEEE WIE 四国・福岡・広島支部賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士後期課程）知能工学専攻 1年 玄行朱里

「2021 IEEE SMC Hiroshima Chapter 若手研究会」において、「IEEE SMC Hiroshima Chapter Young Researcher Award」を受賞した。

□情報科学研究科（博士後期課程）知能工学専攻 1年 寺岡純

「電子情報通信学会 人工知能と知識処理研究会」において、「電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会研究奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 2年 勝坂優希

「第 72 回 電気・情報関連学会中国支部連合大会」において、「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」を受賞した。

□情報科学研究科（博士前期課程）情報工学専攻 2年 秦将裕

「第 72 回 電気・情報関連学会中国支部連合大会」において、「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」を受賞した。

□情報科学部情報工学科 4年 伊井克海

「第 72 回 電気・情報関連学会中国支部連合大会」において、「電子情報通信学会中国支部連合大会奨励賞」を受賞した。

【芸術学部・芸術学研究科】

◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻 2年 草地里帆

「第 14 回 Tokyo Midtown Award 2021」アート部門において、「優秀賞」を受賞した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 三松拓真
「六甲ミーツ・アート芸術散歩 2021」において、「オーディエンス大賞準グランプリ」を受賞した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 篠藤碧空
「ARTS CHALLENGE」において、入選した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 篠藤碧空
「第3回公募アートハウスおやべ現代造形展」の立体部門において、入選した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 松川華子
「第76回春の院展」において、入選した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 松川華子
「再興第106回秋の院展」において、初入選した。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 古川諒子
広島市内と東京で3回の個展を行うほか、二人展・グループ展に7回参加するなど、学外での作品発表に精力的に取り組んだ。

- ◆芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻2年 下村祐介
「第47回宮島特産品振興大会」において、「ブランド大賞（広島県知事賞）」を受賞。広島市立大学オリジナルグッズ制作（オリジナルグッズの開発研究）にも貢献した。

- ◆芸術学部デザイン工芸学科4年 浅井優人
「瀬戸内の風マルシェ・商品パッケージデザインコンペ」において、第2位に選ばれ（準グランプリ相当）商品化が決定した。

- ◆芸術学部デザイン工芸学科4年 亀井慶一郎
- ◆芸術学部デザイン工芸学科4年 富田 菜月
2021年3月に施工した横川駅南北通路のグラフィックデザインに、歴清社の金紙を用いた提案と監修に関わり、地域に貢献した。

- 芸術学部デザイン工芸学科3年 中山奈々
矯正職員のキャラクターの制作において、「広島矯正管区長賞」を受賞した。

- 芸術学部デザイン工芸学科4年 粟根誠一郎
「第28回伝統工芸諸工芸展」において、入選した。

- 芸術学部美術学科4年 大江里実
「第1回宮若国際芸術トリエンナーレ TRAiART」において、入選した。

- 芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 上本佳奈
「第23回雪梁舎フィレンツェ賞展」において、入選した。
- 芸術学部デザイン工芸学科4年 宮原萌子
「広島平和ポスター学生コンペティション2021」において、「グランプリ」を受賞した。
- 芸術学部デザイン工芸学科3年 富田佳央
「広島平和ポスター学生コンペティション2021」において、「準グランプリ」を受賞した。
- 芸術学部デザイン工芸学科4年 副島沙奈
「広島平和ポスター学生コンペティション2021」において、「HADC賞」を受賞した。
- 芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 福本直之
「令和3年度 広島県 web 公募美術展」の一般部門において、デザイン系で入選した。
- 芸術学部デザイン工芸学科4年 川本実果
「令和3年度 広島県 web 公募美術展」の一般部門において、工芸系で特選を受賞した。
- 芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 福本直之
「Protest Poster 2」のコンペティションにおいて、「Silver Award と Honorable Mention」を受賞した。
- 芸術学部美術学科3年 三坂日奈子
「第75回姫路市美術展」において、「姫路市教育委員会賞」を受賞した。
- 芸術学研究科（博士前期課程）造形芸術専攻1年 松井咲樹
「第75回姫路市美術展」において、「姫路市商工会議所会頭賞」を受賞した。
- 芸術学研究科（博士後期課程）造形芸術専攻1年 景井享平
「第75回姫路市美術展」において、入選した。

課外活動

- ◆情報科学部知能工学科4年 丸照正
学生広報サポーター、中国新聞キャンパスリポーターとして本学の広報活動や、市大塾修了生として新入生歓迎行事での発表、質問会の開催、バレーボール部のキャプテンとしてチーム作りに尽力するなどさまざまな活動を通じて大学に貢献した。
- ◆芸術学部デザイン工芸学科4年 原彰吾
「いちだい知のトライアスロン」のトライアスロンコースに2回のゴールを果たし、8代目知の鉄人及び13代目知の鉄人の称号を得た。

- ◆情報科学部情報工学科3年（第28回広島市立大学大学祭実行委員会代表者）橋本祐我
第28回広島市立大学大学祭実行委員会は、委員長のリーダーシップの下、委員全員が力を発揮し、2年ぶりに開催された大学祭（2021年10月31日開催）を成功に導いた。

社会活動

- ◆国際学部国際学科3年 河本涼音
「ONE DREAM 2021」学生プロジェクトチームのリーダーとして、事業成功に貢献した。

- ◆情報科学部知能工学科4年 武智涼恵
いちだいピア・サポート活動（いちピア）立ち上げ時のメンバーであり、りっすんポストと呼ばれる掲示板を通じた学生からの悩み相談やランチ会などの企画運営に主体的に取り組むとともに、いちピアを学内外に周知するための広報に尽力した。

- ◆情報科学部知能工学科4年 石山晴喜
本学入学時から国際学生寮第一期寮生として寮生活を始め、寮内リーダーに立候補し、2年生でリーダーのトップであるレジデントリーダーに就任。その後も4年生まで後輩リーダーの支援役として寮運営に貢献した。

- ◆芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻1年 土井紀子（影絵ユースワークショップ代表者）
広島市内の中高・幼稚園・大学・市民有志などと連携し、「小さな祈りの影絵展 2021」を成功させた。

5 就職

(1) 就職・進学等

ア 学部別の状況(2021年度卒)

2022年3月31日現在

(7) 学部

(単位:名、%)

区 分		(A + C + D) 卒業業者	就職希望者			進学者(C)	進学 の者・就職以外 (D)	前 年 度(2020年度卒)					
			希望者(A)	就職者(B)	就職 決定率 (B/A×100)			卒業 業者	就職希望者			進 学 者	進学・ 就職以外 の者
									希望者	就職者	就職 決定率		
国際学部	男	40	32	31	96.9	2	6	31	23	23	100.0	3	5
	女	89	76	75	98.7	2	11	68	59	57	96.6	1	8
	計	129	108	106	98.1	4	17	99	82	80	97.6	4	13
情報科学部	男	174	94	92	97.9	69	11	167	95	94	98.9	65	7
	女	41	31	31	100.0	7	3	45	32	32	100.0	11	2
	計	215	125	123	98.4	76	14	212	127	126	99.2	76	9
芸術学部	男	16	5	5	100.0	8	3	14	3	3	100.0	5	6
	女	65	37	34	91.9	16	12	67	33	29	87.9	14	20
	計	81	42	39	92.9	24	15	81	36	32	88.9	19	26
合 計	男	230	131	128	97.7	79	20	212	121	120	99.2	73	18
	女	195	144	140	97.2	25	26	180	124	118	95.2	26	30
	計	425	275	268	97.5	104	46	392	245	238	97.1	99	48

(イ) 大学院(博士前期課程)

(単位:名、%)

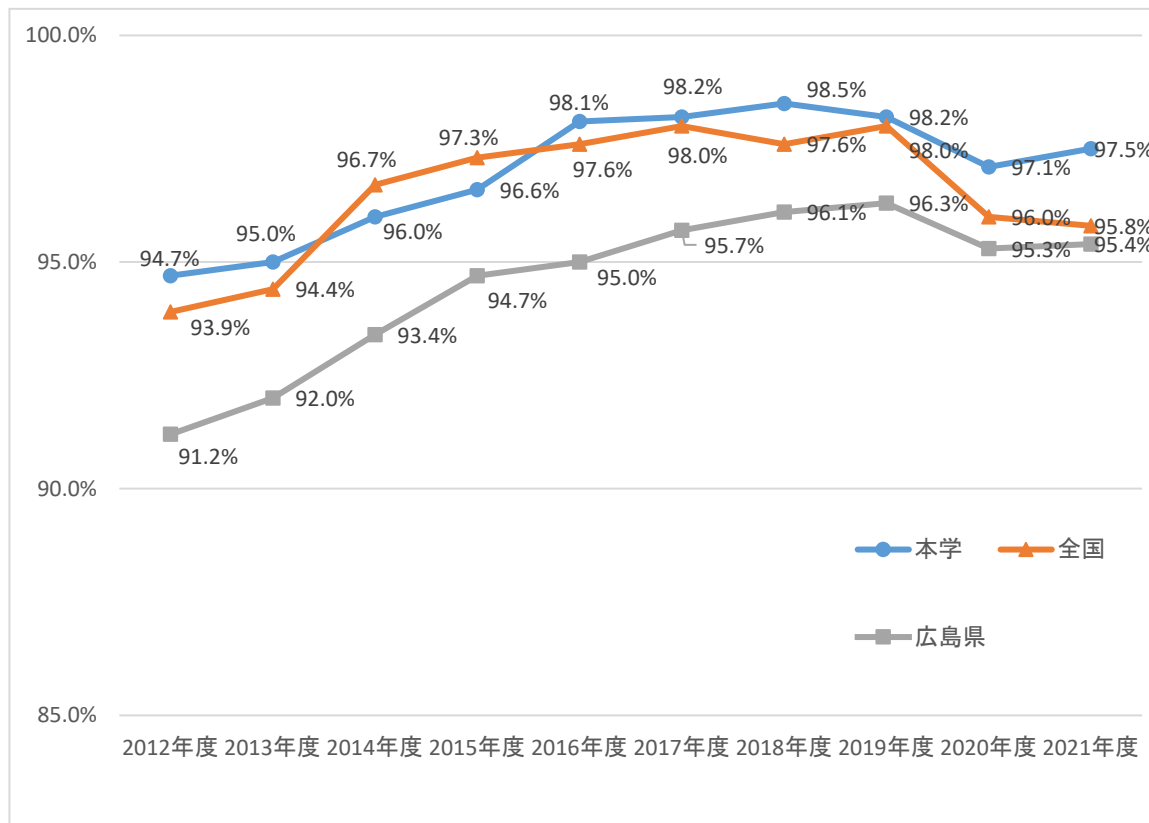
区 分		(A + C + D) 修了業者	就職希望者			進学者(C)	進学 の者・就職以外 (D)	前 年 度(2020年度卒)					
			希望者(A)	就職者(B)	就職 決定率 (B/A×100)			修了 業者	就職希望者			進 学 者	進学・ 就職以外 の者
									希望者	就職者	就職 決定率		
国際学研究科	男	2	2	2	100.0	0	0	0	0	0	-	0	0
	女	4	1	1	100.0	0	3	5	3	1	33.3	0	2
	計	6	3	3	100.0	0	3	5	3	1	33.3	0	2
情報科学研究科	男	48	45	45	100.0	1	2	47	45	45	100.0	1	1
	女	7	6	6	100.0	1	0	9	8	8	100.0	0	1
	計	55	51	51	100.0	2	2	56	53	53	100.0	1	2
芸術学研究科	男	9	1	0	0.0	2	6	6	3	1	33.3	2	1
	女	15	6	5	83.3	3	6	21	10	7	70.0	5	6
	計	24	7	5	71.4	5	12	27	13	8	61.5	7	7
平和学研究科	男	2	1	1	100.0	0	1	1	1	1	100.0	0	0
	女	1	0	0	-	0	1	0	0	0	-	0	0
	計	3	1	1	100.0	0	2	1	1	1	100.0	0	0
合 計	男	61	49	48	98.0	3	9	54	49	47	95.9	3	2
	女	27	13	12	92.3	4	10	35	21	16	76.2	5	9
	計	88	62	60	96.8	7	19	89	70	63	90.0	8	11

<参考> 学部生の就職率比較

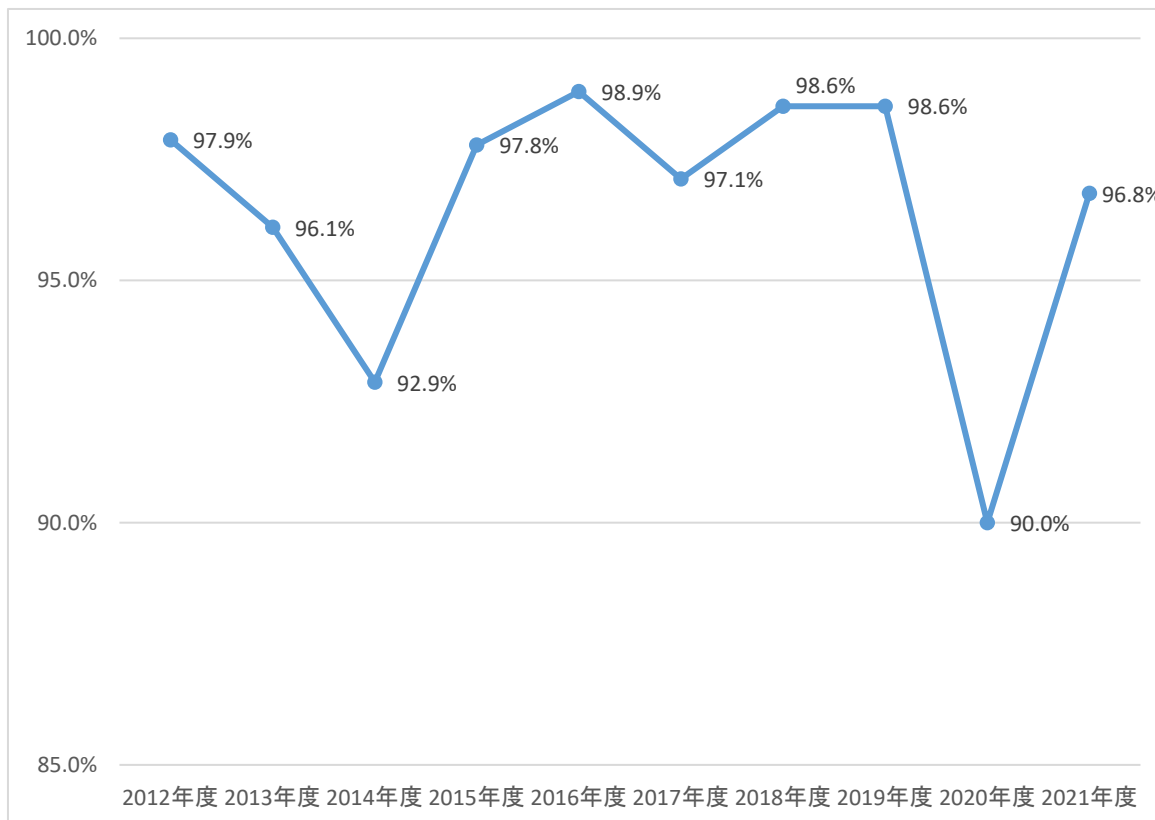
区 分	就職率	備 考
広島市立大学	97.5%	(2022年3月31日現在)
広 島 県	95.4%	広島労働局(2022年3月31日現在)
全 国	95.8%	文部科学省・厚生労働省調査(2022年4月1日現在)

イ 就職率の推移(2012年度卒～2021年度卒)

(ア) 学部



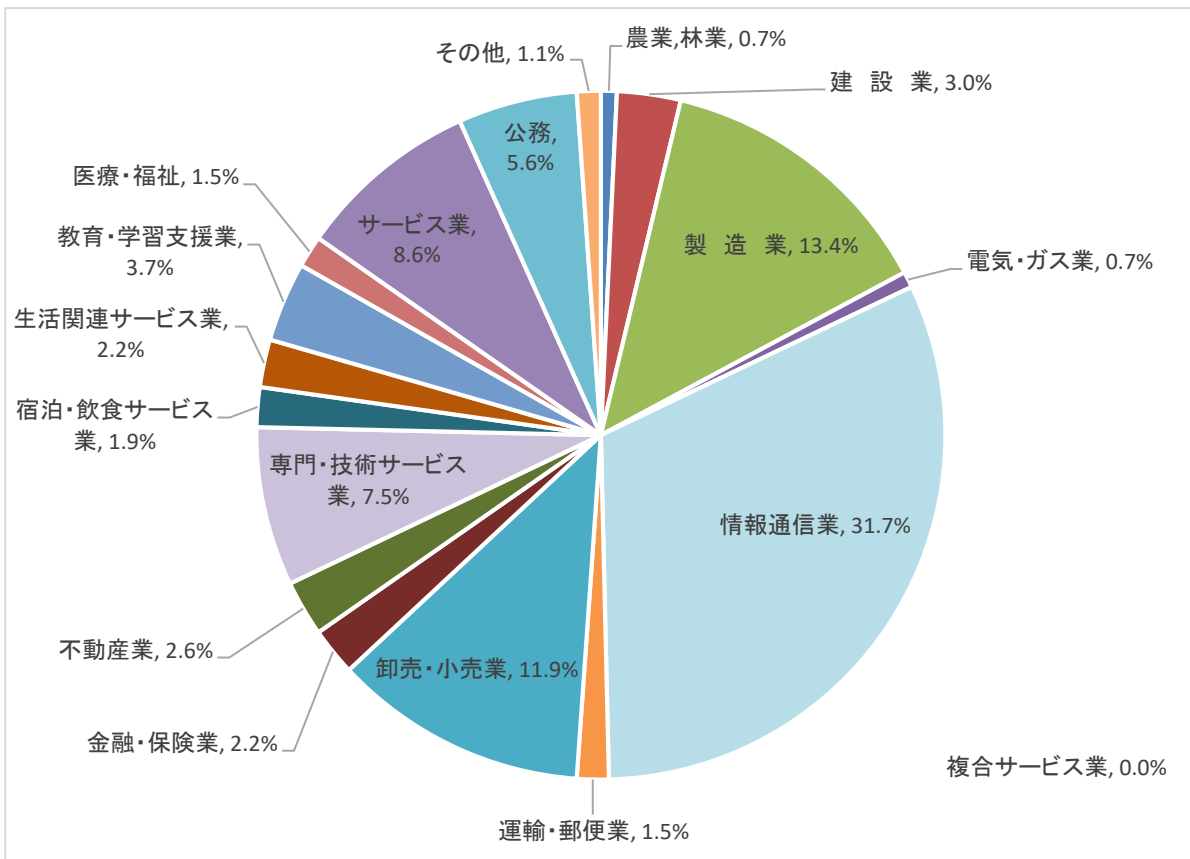
(イ) 大学院



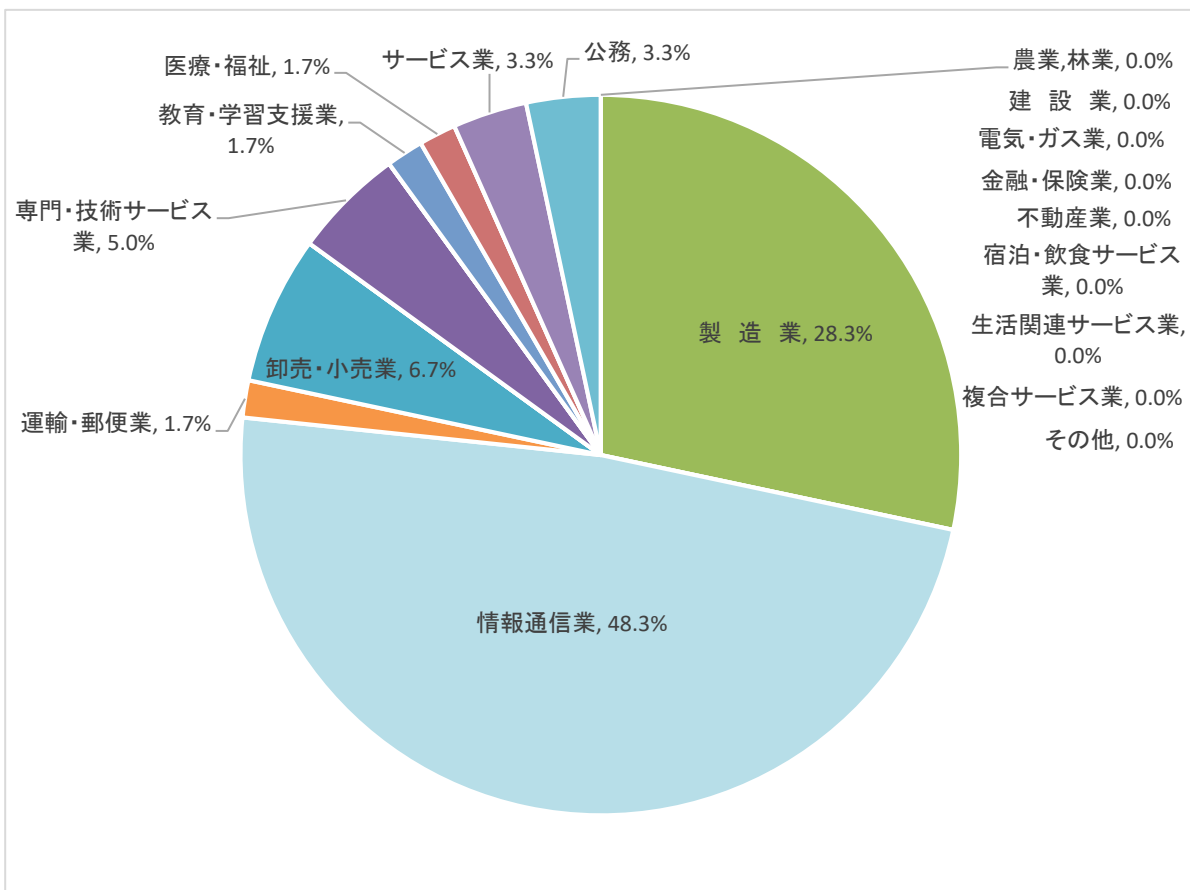
(2) 就職先の構成比

ア 業種別(2021年度)

(ア) 学部(268名)

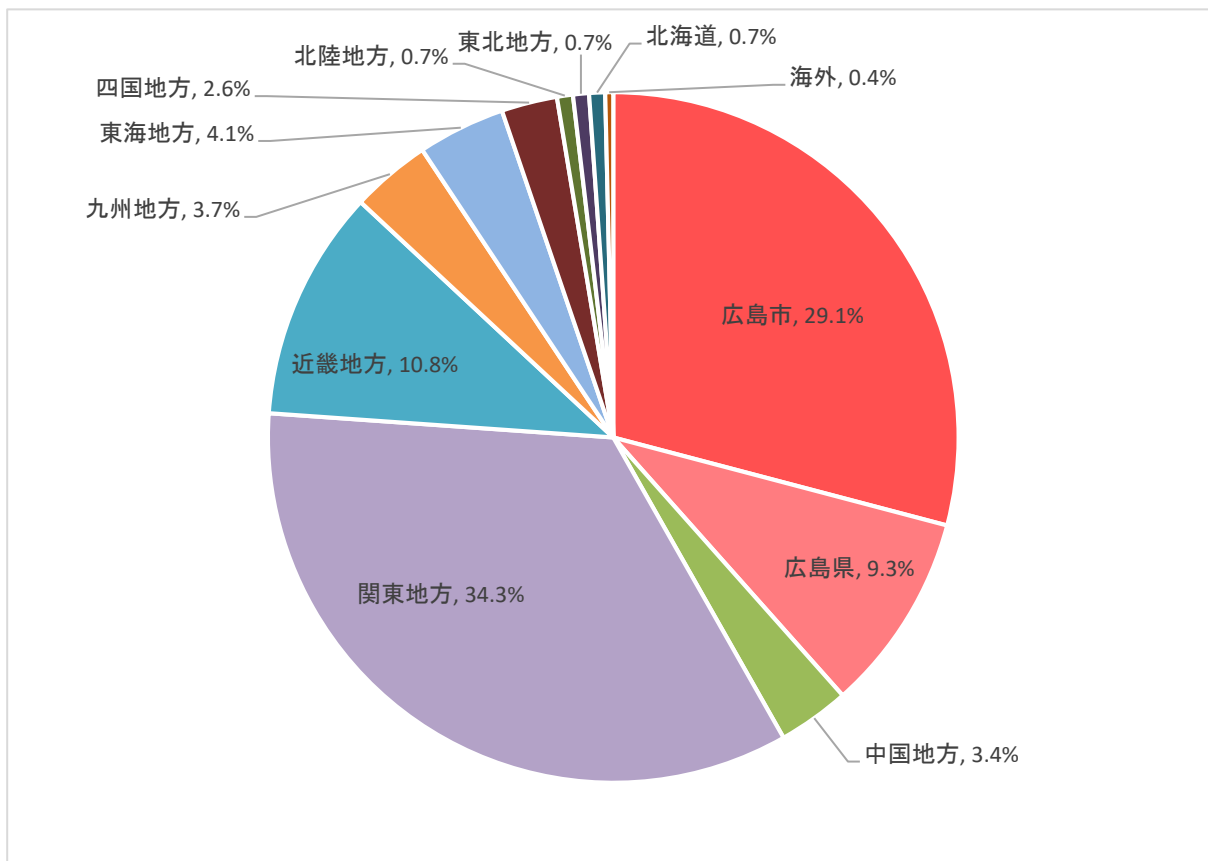


(イ) 大学院(60名)

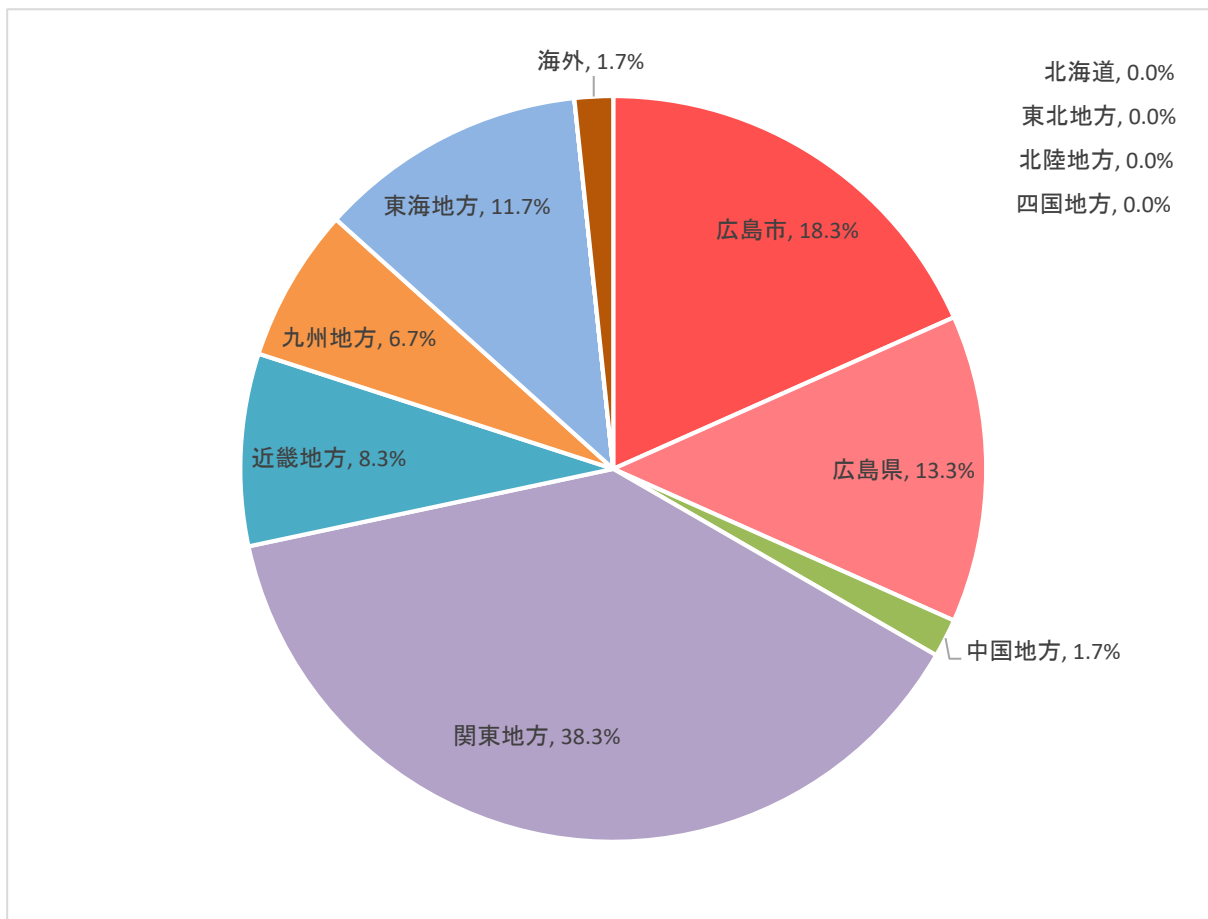


イ 地域別 (2021年度)

(ア) 学部 (268名)



(イ) 大学院 (60名)



(3)就職先企業等一覧

ア 2021年度卒 国際学部及び国際学研究科(大学院)における就職先

2022.3.31現在

《広島県内地域》39社43名

- ・(株)アイグラン(広島市)
- ・(株)安芸大谷製作所(広島県)
- ・(株)アグリッチ(広島市)
- ・(株)アルツト(広島市)
- ・(株)イズミ(広島市)
- ・(株)エネルギーL&Bパートナーズ(広島市)
- ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)
- ・(株)エム・アール・ピー(広島市)
- ・(株)北川鉄工所(広島県)
- ・(学)呉武田学園(広島県)
- ・自衛隊広島地方協力本部(広島市)
- ・しまなみ信用金庫(広島県)
- ・積水ハウス不動産中国四国(株)(広島市)2名
- ・(株)ソルコム(広島市)
- ・(株)ダイテック(広島市)
- ・(株)タイヨーパッケージ(広島市)
- ・チチヤス(株)(広島県)
- ・(株)中国四国博報堂(広島市)
- ・中国ターミナルサービス(株)(広島市)
- ・中国電機製造(株)(広島市)
- ・トータテグループ(広島市)
- ・(株)東洋シート(広島県)
- ・(株)ドコモCS中国(広島市)
- ・戸田工業(株)(広島市)
- ・(株)ナガイパン(広島市)
- ・長沼商事(株)(広島市)
- ・(株)ハイエレコン(広島市)
- ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)
- ・広島ガス(株)(広島市)
- ・広島県教育委員会(中学英語)(広島県)2名
- ・広島市役所(広島市)2名
- ・広島信用金庫(広島市)2名
- ・(株)ヒロテック(広島市)
- ・(株)フォルテ(広島市)
- ・(株)ブレひまわり(広島県)
- ・(株)フレスタ(広島市)
- ・プローバグループ(広島市)
- ・(株)ますやみそ(広島県)
- ・ユウベルグループ(広島市)

《関東地域》31社32名

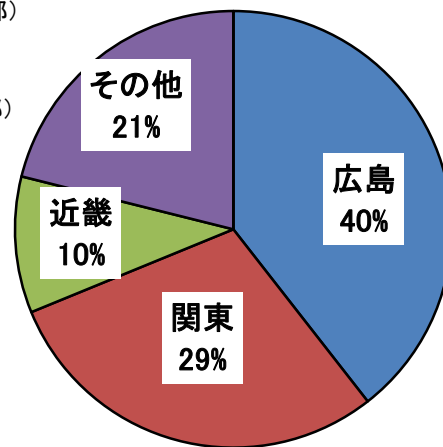
- ・Earth Technology(株)(東京都)
- ・(株)アーツテック(東京都)
- ・アブコグループジャパン(株)(東京都)
- ・イオンエンターテイメント(株)(東京都)
- ・SGグループ(株)(東京都)
- ・MIGホールディングス(株)(東京都)
- ・国際紙パルプ商事(株)(東京都)
- ・さきがけ(税)(東京都)
- ・(株)SUBARU(東京都)
- ・SOMPOケア(株)(東京都)
- ・(株)TMJ(東京都)
- ・ディップ(株)(東京都)
- ・(株)ティルウィンド(埼玉県)
- ・(株)DYM(東京都)
- ・TOKYO BIG HOUSE(株)(東京都)
- ・東永商事(株)(神奈川県)
- ・東武トップツアーズ(株)(東京都)
- ・東洋証券(株)(東京都)
- ・東和電気(株)(東京都)
- ・(株)トリニクス(東京都)
- ・(株)日本財託(東京都)
- ・日本通運(株)(東京都)2名
- ・(株)パソナグループ(東京都)
- ・(株)BUB(東京都)
- ・ビッグモーターグループ(東京都)
- ・ヒルトングループ(東京都)
- ・マイハート(株)(東京都)
- ・三菱電機ビルテクノサービス(株)(東京都)
- ・(株)メイク(東京都)
- ・(株)メディカルネット(東京都)
- ・LINDT & SPRUNGLI JAPAN(株)(東京都)

《近畿地域》11社11名

- ・(株)あさひ(大阪府)
- ・(株)ヴァインクス(大阪府)
- ・LRM(株)(兵庫県)
- ・ショーワグループ(株)(兵庫県)
- ・(株)ジンジブ(大阪府)
- ・総合食品エスイー(株)(京都府)
- ・(学)天理大学(奈良県)
- ・(株)ニチダイ(京都府)
- ・日本住宅流通(株)(大阪府)
- ・日本生命保険(相)(大阪府)
- ・(株)モンベル(大阪府)

《その他地域》22社23名

- ・(株)穴吹ハウジングサービス(香川県)
- ・(株)アミティー(岡山県)
- ・農業法人(有)井上誠耕園(香川県)
- ・愛媛県教育委員会(愛媛県)
- ・大平やさい(株)(香川県)
- ・(同)カンナギジャパン(徳島県)
- ・ゲンキー(株)(福井県)
- ・(株)コスモス薬品(福岡県)2名
- ・佐賀県庁(佐賀県)
- ・城山観光(株)(鹿児島県)
- ・スマートブルー(株)(静岡県)
- ・高松市消防局(香川県)
- ・東和ハイシステム(株)(岡山県)
- ・豊田市役所(愛知県)
- ・ニシム電子工業(株)(福岡県)
- ・日本ニューホランド(株)(北海道)
- ・パシフィックソフトウェア開発(株)(高知県)
- ・長谷川産業(株)(北海道)
- ・(株)ヒラタ(岡山県)
- ・山口県教育委員会(中学英語)(山口県)
- ・リゾートトラスト(株)(愛知県)
- ・(株)両備システムズ(岡山県)



※地域区分について
 【関東地域】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 【近畿地域】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(注)本社所在地により地域別に整理

イ 2021年度卒 情報科学部及び情報科学研究科(大学院)における就職先

2022.3.31現在

《広島県内地域》45社67名

- ・(株)インタフェース(広島市)
- ・(株)ウッドワン(広島県)
- ・栄秀アカデミー(広島市)
- ・NSウエスト(株)(広島県)4名
- ・(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国(広島市)4名
- ・(株)エネルギー・コミュニケーションズ(広島市)3名
- ・(株)IR(広島市)
- ・(株)エム・アール・ピー(広島市)
- ・(株)熊平製作所(広島市)2名
- ・呉市役所(広島県)
- ・(株)呉電子計算センター(広島県)
- ・(株)経営管理センター(広島市)
- ・国土交通省中国地方整備局(広島市)
- ・(株)コトブキソリューション(広島県)2名
- ・(株)サンネット(広島市)
- ・(株)シー・エス・デイ(広島市)
- ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市)
- ・(株)ダイコーIWS(広島市)2名
- ・(株)ダイセック(広島市)
- ・田中電機工業(株)(広島市)
- ・(株)中国新聞社(広島市)
- ・中国電力ネットワーク(株)(広島市)
- ・(株)中電工(広島市)4名
- ・(株)TSSソフトウェア(広島市)
- ・(株)データホライゾン(広島市)
- ・デルタ工業(株)(広島県)
- ・(株)ドコモCS中国(広島市)2名
- ・(株)ドリーム・アーツ(広島市)
- ・南条装備工業(株)(広島市)
- ・西川ゴム工業(株)(広島市)
- ・日本アイビーエム中国ソリューション(株)(広島市)3名
- ・(株)日立ソリューションズ西日本(広島市)
- ・広川グループ(広島市)
- ・(株)広島銀行(広島市)
- ・広島市役所(広島市)3名
- ・広島トヨタ自動車(株)(広島市)
- ・広島日産自動車(株)(広島市)
- ・(株)ビーライズ(広島市)
- ・(株)ヒロテック(広島市)2名
- ・福山市役所(広島県)
- ・ホーコス(株)(広島県)
- ・ホシザキ中国(株)(広島市)
- ・マイクロメモリアン(株)(広島県)
- ・マツダ(株)(広島県)3名
- ・マツダエース(株)(広島県)

《その他地域》21社21名

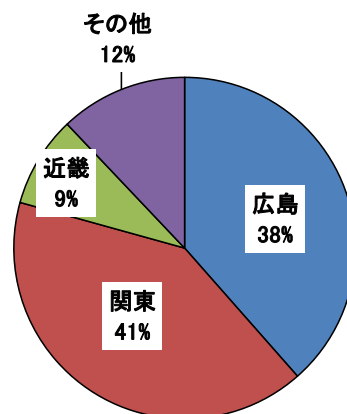
- ・IBM(外国)
- ・(株)ARS(鹿児島県)
- ・(株)エスエスワイ(山梨県)
- ・オークマ(株)(愛知県)
- ・(株)オープンセサミ・テクノロジー(愛知県)
- ・(株)カーネル・ソフト・エンジニアリング(愛知県)
- ・(同)クリエイターズギルド(佐賀県)
- ・三栄ハイテックス(株)(静岡県)
- ・島根県庁(島根県)
- ・住友電装(株)(三重県)
- ・(学)津田学園(三重県)
- ・(株)デンソークリエイト(愛知県)
- ・デンソーテクノ(株)(愛知県)
- ・(株)TOKAIコミュニケーションズ(静岡県)
- ・(株)ドコモCS九州(福岡県)
- ・日東工業(株)(愛知県)
- ・パーソルR&D(株)(愛知県)
- ・(株)ベネッセインフォシエル(岡山県)
- ・(株)三井ハイテック(福岡県)
- ・(株)両備システムズ(岡山県)
- ・(株)ワールドインテック(テクノ・SI事業部)(福岡県)

《関東地域》58社71名

- ・AIQVE ONE(株)(東京都)
- ・(株)アイレックス(東京都)
- ・(株)アウトソーシングテクノロジー(東京都)2名
- ・(株)アルトナー(神奈川県)
- ・(株)アルファシステムズ(神奈川県)
- ・(株)アルプス技研(神奈川県)
- ・(株)インターネットイニシアティブ(東京都)
- ・ARアドバンステクノロジー(東京都)
- ・(株)エイジェック(東京都)2名
- ・エクシオグループ(株)(東京都)
- ・(株)エースリー(東京都)
- ・NECソリューションイノベータ(株)(東京都)3名
- ・NECネットエスアイ(株)(東京都)3名
- ・エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)(東京都)
- ・エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)(東京都)
- ・(株)NTTデータMSE(神奈川県)2名
- ・(株)ENEOSジェイクエスト(東京都)
- ・(株)エルアイン(東京都)
- ・キャノンマーケティングジャパン(株)(東京都)
- ・(株)KELK(神奈川県)
- ・(株)KSK(東京都)
- ・(株)コア(東京都)2名
- ・国土交通省 気象庁(東京都)
- ・コンチネタル・オートモーティブ(株)(神奈川県)
- ・山九(株)(東京都)2名
- ・サンワコムシステムエンジニアリング(株)(東京都)
- ・(株)GSI(東京都)
- ・(株)システムメイク(東京都)
- ・新川センサテクノロジー(株)(東京都)
- ・(株)SUBARU(東京都)
- ・(株)セブンティエイティアイティ(東京都)2名
- ・(株)ゼンショーホールディングス(東京都)
- ・セントラルエンジニアリング(株)(神奈川県)2名
- ・総合警備保障(株)(東京都)
- ・ソニーLSIデザイン(株)(神奈川県)
- ・(株)ディー・エヌ・エー(東京都)
- ・(株)TakeFunSystem(東京都)
- ・(株)D2C(東京都)
- ・(株)テラスカイ・テクノロジーズ(東京都)
- ・(株)デンソーソリューション(東京都)
- ・東京海上日動調査サービス(株)(東京都)
- ・(株)東邦システムサイエンス(東京都)
- ・日本電気(株)(東京都)
- ・日本電気通信システム(株)(東京都)
- ・ネットワークシステムズ(株)(東京都)
- ・(株)日立ソリューションズ・クリエイト(東京都)
- ・(株)日立ソリューションズ・テクノロジー(東京都)
- ・富士ソフト(株)(神奈川県)
- ・(株)富士通エフサス(神奈川県)
- ・(株)Brightech(東京都)2名
- ・(株)ベストパーソン(東京都)
- ・(株)マイナビ(東京都)
- ・三井住友トラスト・システム&サービス(株)(東京都)
- ・三菱電機インフォメーションシステムズ(株)(東京都)
- ・三菱電機システムサービス(株)(東京都)
- ・(株)メイテック(東京都)
- ・横河ソリューションサービス(株)(東京都)2名
- ・UTエイム(株)(東京都)

《近畿地域》15社15名

- ・アバンテック(株)(大阪府)
- ・(株)インタークエスト(大阪府)
- ・(株)エスユーエス(京都府)
- ・カコム(株)(大阪府)
- ・クボタシステムズ(株)(大阪府)
- ・(株)シェア(大阪府)
- ・(株)システムリサーチ(兵庫県)
- ・(株)島津製作所(京都府)
- ・(株)ソフトウェア・サービス(大阪府)
- ・西日本高速道路(株)(大阪府)
- ・西日本電信電話(株)(大阪府)
- ・パナソニックプロダクションエンジニアリング(株)(大阪府)
- ・(株)マケレボ(大阪府)
- ・三菱電機コントロールソフトウェア(株)(兵庫県)
- ・(株)村田製作所(京都府)



※地域区分について

【関東地域】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 【近畿地域】滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(注) 本社所在地により地域別に整理

《広島県内地域》12社12名

- ・(一社) HAP(広島市)
- ・アクト中食(株)(広島市)
- ・(株)エブリイ(広島市)
- ・NPO法人コミュニティリーダーひゅーる ぽん(広島市)
- ・作家活動・ブランド起業(広島市)
- ・(株)ジェイ・エム・エス(広島市)
- ・(株)新星工業社(広島市)
- ・(株)制電社(広島県)
- ・(株)大創産業(広島県)
- ・マツダ(株)(広島県)
- ・(株)メイプルシティ(広島県)
- ・(株)モーツアルト(広島県)

《関東地域》11社11名

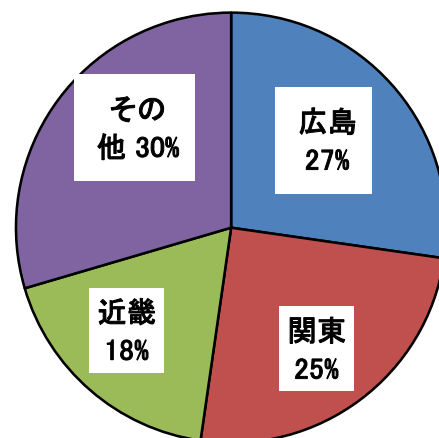
- ・AIQVE ONE(株)(東京都)
- ・(株)イマジカデジタルスケープ(東京都)
- ・(株)インゲーム(東京都)
- ・(株)エイジェック(東京都)
- ・(株)エステティナ(東京都)
- ・個人事業主(東京都)
- ・(株)Cygames(東京都)
- ・(株)ディー・エヌ・ツー(東京都)
- ・(株)トライエース(東京都)
- ・日鉄環境エネルギーソリューション(株)(東京都)
- ・(株)はせがわ(東京都)

《近畿地域》8社8名

- ・(株)京都アニメーション(京都府)
- ・東風美術工芸(株)(京都府)
- ・さくらキッズハウス(大阪府)
- ・(株)ジュエリーカミネ(兵庫県)
- ・(株)毛髪クリニックリーブ21(大阪府)
- ・(株)ヤマソロ(兵庫県)
- ・(福)由寿会(大阪府)
- ・ヨリタ歯科クリニック(大阪府)

《その他地域》13社13名

- ・(株)キャン(岡山県)
- ・Kudos Productions(中国)
- ・久留米市(福岡県)
- ・(株)ケイ・ウノ(愛知県)
- ・個人事業主(山口県)
- ・(株)コスモス薬品(福岡県)
- ・セントラルデザイン(株)(愛知県)
- ・(株)ソルブレイン(宮城県)
- ・(学)筑陽学園高等学校(福岡県)
- ・藤久(株)(愛知県)
- ・(株)保志(福島県)
- ・(株)メガネ流通センター(愛知県)
- ・(株)レベルファイブ(福岡県)



※地域区分について

【関東地域】

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

【近畿地域】

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(注) 本社所在地により地域別に整理

エ 2021年度卒 平和学研究科(大学院)における就職先

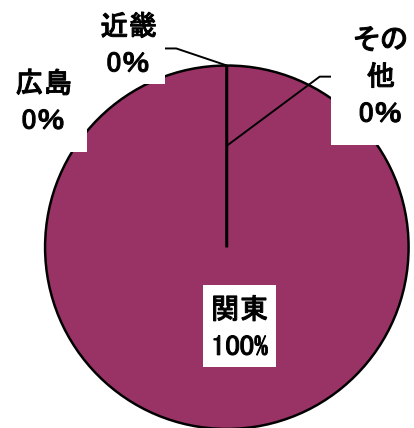
2022.3.31現在

《広島県内地域》0社0名

《関東地域》1社1名
・(独)日本学術振興会(東京都)

《近畿地域》0社0名

《その他地域》0社0名



※地域区分について
【関東地域】
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
【近畿地域】
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(注) 本社所在地により地域別に整理

6 社会連携

(1) 産学官連携

ア 推進体制（2022年4月1日時点）

◆社会連携センター

○産学官連携推進に係る学内外窓口

- ・企業等からの相談受付（共同研究、技術相談等）
- ・リエゾン活動（教員からの共同研究相手先企業等の開拓）
- ・受託研究、共同研究、補助金、奨学寄附金等受入
- ・他機関との連絡調整 等

○産学官連携コーディネーターの配置（2003年度から2016年度まで）

○知的財産管理体制の構築

○知的財産マネージャーの配置（2005年度から）

○社会連携センター設置（2007年度 産学官連携推進室から移行）

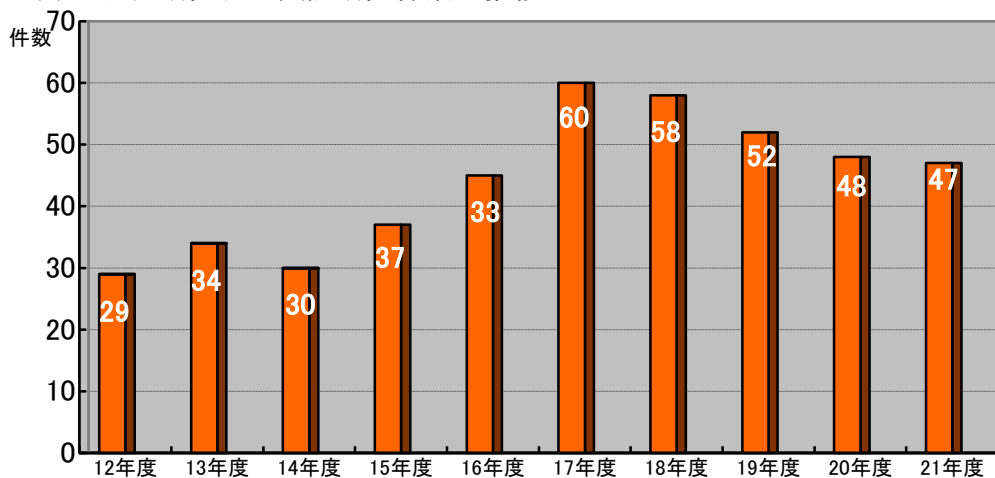
○地域連携コーディネーターの配置（2008年度から2016年度まで）

○社会連携コーディネーターの配置（2011年度から2021年度まで）

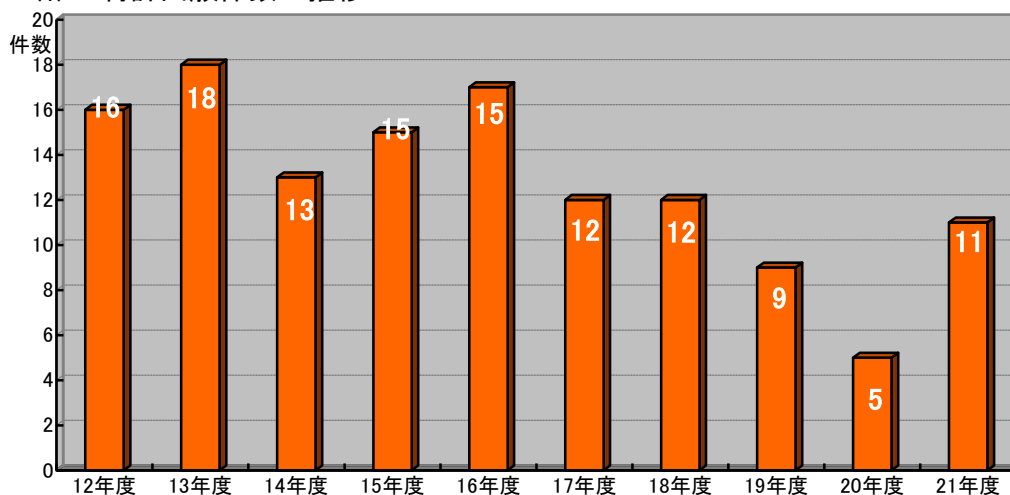
○産学連携コーディネーター及び地域連携コーディネーターの配置（2022年度から）

イ 研究・事業等の実施状況（2012年度～2021年度）

(ア) 共同研究及び受託研究件数の推移



(イ) 特許出願件数の推移



(ウ) 情報発信及び産学共同事業

◆広島市立大学産学連携研究発表会の開催

○2021 年度開催概要

日時：2021 年 9 月 17 日（火）13：30～16：30

場所：Zoom 等によるオンライン開催

<プログラム>

・講演会

招待講演：「複雑さへの挑戦

～イノベーションを実現する人財育成と産学連携の在り方～

（マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 首席研究員 足立 智彦）

研究者講演：「進化計算によるプログラムの自動生成の仕組みとその応用」

（情報科学研究科 教授 原 章）

情報科学研究科長講演：「産学連携教育による地域ぐるみのIT人材育成」

（情報科学研究科 教授 前田 香織）

・バーチャルマッチングセッション・交流会

バーチャル空間(oVice)でポスターセッション、個別相談を実施

出展数：27件

来場者：34名

<その他>

- ・産学連携研究発表会 2021 の特設サイトを開設し、本学研究者及び産学連携団体の事業をポスター展示により紹介した。

ポスター件数 研究紹介：45件

産学連携団体：4件

Web サイト URL <<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/>>

<視聴者数及び閲覧数>

- ・当日の講演視聴者数 203 名
- ・オンデマンド配信視聴 164 回（9 月 15 日から 10 月 20 日配信期間中）
- ・Web サイト閲覧数 1,190 回（8 月 17 日から 10 月 20 日掲載期間中）

広島市立大学 オンライン! 2021
産学連携研究発表会

広島発 地域から起こすイノベーション
大学と一緒に教育・人材育成を!

2021
9/7 (火)
13:30~16:30
参加費無料

oVice(オヴィス)で
バーチャル交流会も実施します!

広島市立大学では、研究内容を地域産業界や産学
官連携推進機関等へ公開することにより、産
学官連携活動（共同研究、研究成果の事業化）
の推進を図ることを目的とした産学連携研究
発表会をオンラインで開催します。今年度は、産
学官で地域の将来ビジョンを共有し、産学連携で
教育・人材育成に取り組む「産学連携教育」を
紹介します。

詳しくは、
特設サイトを
ご覧ください。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/>

広島市立大学社会連携センター
〒731-3194 広島市安芸南区大塚東3丁目4番1号
Tel: 082-830-1764 Fax: 082-830-1555 Mail: office-shakai@hiroshima-cu.ac.jp

広島市立大学
Hiroshima City University

産学連携研究発表会開催案内チラシ

◆広島市役所での地域貢献事業発表会

○2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

広島市や地域との連携事業をポスター展示により紹介する Web サイト「地域に貢献する広島市立大学」を開設

ポスター件数	広島市との連携事業紹介	: 17件
	地域・市民対象事業紹介	: 12件
	地域と連携した教育研究	: 6件
	その他	: 4件

Web サイト URL <<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/area/>>



地域に貢献する広島市立大学 Web サイト

◆イベント出展、講演、パネル展示等

- ・ 8月23日～9月17日：イノベーション・ジャパン 2021 大学見本市（オンライン）
- ・ 11月17日：マッチングフォーラム（広島）
- ・ 12月23日：新技術説明会（オンライン）

(2) 地域連携

ア 公開講座

≪2021 年度≫

〔国際学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
国際フェスタに合わせ開催している講座	現代世界とマイノリティ・多様性 -叢書「周縁に目を凝らす」から- 〔(公財)広島平和文化センターが主催する「国際フェスタ」の中のプログラムのひとつとして開催している講座。毎年、国際学部研究交流委員会において企画している。〕	11/20	1回	オンライン	無料	100人	62人
市大英語eラーニング講座	【市大英語eラーニング講座】 ①リーディング・リスニング・文法プログラム ②スピーキングプログラム ③ライティングプログラム ④小学校英語教育指導者養成プログラム ⑤通訳ガイド養成プログラム	(第1期) 5/22～8/12	—	オンライン受講 及び受講会場 (ゆいぽーと、 本学サテライト キャンパス) ※新型コロナウイルス 感染拡大状況に伴い会 場使用不可の期間有り	① 18,260円 その他 各5,000円	各期 80人	(第1期) 65人
		(第2期) 7/25～10/8					(第2期) 32人
		(第3期) 9/25～12/10					(第3期) 43人
公開講座	難民問題への問いかけ -ヒロシマの視点- 〔「国連 UNHCR 難民映画祭」に 合わせ開催している講座〕	2/26	1回	オンライン	無料	100人	55人
特別公開講座	広島原爆「黒い雨」訴訟 -全面勝訴とその影響-	2/19	1回	オンライン	無料	100人	53人

〔情報科学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
高校生向け講座	<p>高校生による情報科学自由研究 (全12テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータの科学～Twitterのツイート分析～ (対⇒対・オ) ・フォトグラメトリーで写真から実物のCGモデルを作る (オ) ・Google ColabでAI—Yoloを利用した物体検出— (対⇒対・オ) ・進化的アート—生物の進化を利用した画像生成— (対⇒オ) ・AIプログラミング入門以前～大富豪で行きましょう編～ (対) ・UE4/Unity+αで最先端VRコンテンツを作成してみよう！ (対⇒対・オ) ・量子コンピュータを用いたシミュレーション (オ) ・無線LANで通信実験！色々な場所で通信速度を調べてみよう (対) ・データに隠された知識をコンピュータで見つけよう—グラフ構造データからのデータマイニング— (対⇒対・オ) ・学習用バーチャル実験室を作ってみよう (対) ・作ってチャレンジ！ロボット・サッカー (対) ・サウンドデザイン～風鈴を科学する(対) <p>(対)：本学、対面実施 (オ)：オンライン実施</p>	7/20～ 8/31	テーマ 毎に期 間中、 2～3回	本学 又は オンライン	無料	2～10人	全12 テーマ 82人
高校生向け講座	(高校生による情報科学自由研究) オンライン研究成果発表会	10/10	1回	オンライン			参加高校生数46人 本学教職員・高校教員等37人 発表13組

一般向け講座	講演会	11/17	1回	本学サテライト キャンパス・ オンライン	無料	対：20人 才：80人	対：11人 才：32人
小中学生向け講座	いちだいデジタルパーク 小中学生を対象に、理科実験教室を行う。	3/25・26	6回	西区民文化センター	無料	210人	251人

〔芸術学部開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
一般向け講座	日本画コース	中止	-	-	-	-	-
	油絵コース	油絵（専門）	中止	-	-	-	-
		油絵（一般）		-	-	-	-
		版画	中止	-	-	-	-
	彫刻コース	彫刻	中止	-	-	-	-
	デザイン工芸コース	染織造形	中止	-	-	-	-
		メディア造形	中止	-	-	-	-
サマースクール	日本画コース	8/7・8	全2回	本学アトリエ・工房等 (県内在住者) オンライン (県外在住者)	6,200円	12人	対：7人 才：4人
	油絵コース	8/7・8	全2回		7,200円	15人	対：10人 才：2人
	彫刻コース	8/7・8	全2回		8,200円	20人	対：4人 才：3人
	デザイン工芸コース	8/7・8	全2回		6,200円	対：40人 才：10人	対：30人 才：10人

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料 (材料費別)	定員	受講者
芸術学部社会人講座 (工芸・版画通年コース)	漆	4/6～1/14	-	本学工房	212,000 円/年 (週 4 日)	計 10 人 各分野若干名	0 人
	金工				172,000 円/年 (週 3 日)		4 人
	染織				132,000 円/年 (週 2 日)		1 人
	版画				92,000 円/年 (週 1 日)		4 人
芸術学部社会人講座 (※夏季特別講座)	漆	中止	-	-	42,400 円 (週 4 日)	-	-
	金工				34,400 円 (週 3 日)		-
	染織				26,400 円 (週 2 日)		-
	版画				18,400 円 (週 1 日)		-

※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講する。

大学連携開催分

〔県立広島大学・広島市立大学連携公開講座〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
ひろしまを考える	防災マーケティング：広島から新しい防災を考える【県立広島大学】	7/7～ 7/28 (毎週水曜)	全4回	オンライン	無料	80人	39人
	災害に強い広島の実現に向けて～モニタリングネットワーク研究室の取り組み～【広島市立大学】						36人
	AI搭載型ドローンによる最先端コンクリート点検装置【県立広島大学】						34人
	「つぶやき」から見える世界～ソーシャルビッグデータを活用した災害情報分析～【広島市立大学】						26人
世界を知る	多国籍企業と組織文化：トヨタ自動車と三星電子の事例を用いて【県立広島大学】	10/1～ 10/22 (毎週金曜)	全4回	オンライン	無料	40人	34人
	国際政治から見る『三国志演義』【広島市立大学】						27人
	日本の植民地期の建築物のその後～台湾、韓国、旧満州などの比較から【県立広島大学】						27人
	パレスチナの女性たち 仕事・文化・アイデンティティ【広島市立大学】						21人

〔広島平和研究所開催分〕

区分	講座名	開催時期	回数	会場	受講料	定員	受講者
シンポジウム	流動化する東アジア	12/15	全1回	オンライン開催	無料	500人	170人
連続市民講座	原爆と新聞報道	1/7～2/10	全5回	オンライン開催	無料	500人	340人
	憲法9条と核兵器						
	広島と平和——「当たり前」を見直そう						
	The February 2021 Military Coup in Myanmar: Its Impact on Domestic Politics and Foreign Policy						
	The History of the Global Hibakusha						
フォーラム	ウクライナ侵攻—ロシア、人道危機、国際法	3/29	全1回	オンライン開催	無料	200人	151人

イ その他の事業

◆行政課題解決への協力

- ・基町プロジェクト（2020年5月広島市策定「基町地区活性化計画」に掲げる取組）
- ・土砂災害検知に向けた共同研究
- ・安佐南工場「大型ごみの受入体制の改善」研究
- ・「広島市障害者差別解消推進条例に基づく事業者登録・表彰制度」に係るシンボルマークデザイン
- ・広島市立北部医療センター安佐市民病院ロゴタイプ制作及びこれに伴うデザインマニュアルの作成
- ・京橋復元のためのモデリングデータの作成及びデザイン監修
- ・路面電車駅前大橋線の下路橋のデザイン作成
- ・あさみなみ芸術化構想2021-安佐南区役所展示
- ・広島矯正管区「矯正職員の採用広報に資するキャラクターデザインの追加ポーズの制作」
- ・大竹市「大竹手すき和紙と漆の壁面装飾タイルの制作」

◆NPO、市民などとの協働事業

- ・芸備線対策協議会「芸備線魅力発信・フォトジェニックオブジェ制作」
- ・「広島湾七大海の幸」普及推進委員会「地場産水産物消費拡大に効果的なポスターの制作」 など

ウ 広島市等の学外委員等の就任状況（任期に2021年度が含まれるもの）

【理事長・学長、理事・副学長】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島県	へいわ創造機構ひろしま※1	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2022/3/31
広島県	広島県留学生活躍支援センター	委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2022/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※2
その他	公益財団法人広島市産業振興センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※3
その他	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※4
その他	公益財団法人大学基準協会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※5
その他	公益財団法人ヒロシマ平和創造基金	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※6
その他	広島シンガポール協会	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ ※7
その他	公益財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/4/1	～ 2023/3/31
その他	公益財団法人もみじ銀行育英会	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/5/21	～ ※8
その他	公益財団法人ひろしん文化財団	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/6	～ ※9
その他	公益財団法人広島平和文化センター	評議員	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/14	～ ※10
その他	一般社団法人教育ネットワーク中国	理事	理事長 (学長)	若林 真一	2019/6/27	～ ※11
その他	一般社団法人公立大学協会	第3委員会委員	理事長 (学長)	若林 真一	2021/6/16	～ ※12

※1 2020年4月1日に「ひろしま平和貢献ネットワーク協議会」から「ひろしま平和推進ネットワーク」へ、2021年4月1日に現在の名称へ変更

※2 2022年に開催する定時評議員会の終結の時まで

※3 2023年度に関する定時評議員会の日まで

※4 2023年の定時評議員会の終結の時まで

※5 2024年6月開催予定の定時評議員会の終結の時まで

※6 2022年6月の評議員会の終結の時まで

※7 2022年度に関する定時総会の終結の時まで

※8 2024年5月開催の定時評議員会の終結の時まで

※9 2023年6月開催予定の定時評議員会の終結の時まで

※10 2022年度に関する定時評議員会の終結の時まで

※11 2023年6月の定時社員総会の日まで

※12 2023年度の定時総会の日まで

【国際学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市市民局人権啓発部人権啓発課	広島市多文化共生市民会議委員	教授	ウルリケ・ ヴェール	2020/3/1	～ 2022/2/28
広島市	広島市教育委員会	広島市社会教育委員	教授	金谷 信子	2021/10/1	～ 2023/9/30
広島市	広島市健康福祉局健康福祉企画課	広島市健康福祉局指定管理者指定審議会委員	教授	金谷 信子	2021/6/25	～ 2023/6/24
広島市	広島市健康福祉局保健部保険年金課	広島市国民健康保険事業の運営に関する協議会委員	教授	高橋 広雅	2022/1/25	～ 2025/1/24
広島市	広島市教育委員会	広島市教科用図書採択審議会委員	教授	渡辺 智恵	2021/7/21	～ 2022/3/31
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	広島城の展示整備に関する懇談会委員	准教授	城市 真理子	2021/9/7	～ 2023/3/31
広島県	広島県環境県民局学事課	広島県私立学校審議会委員	教授	太田 育子	2014/12/24	～ 2022/12/24
広島県	広島県土木建築局都市計画課	広島県都市計画審議会委員	教授	太田 育子	2018/2/1	～ 2022/1/31
広島県	広島県総務局総務課	広島県情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	金谷 信子	2018/12/1	～ 2022/11/30
広島県	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県博物館協議会	准教授	城市 真理子	2019/8/20	～ 2023/8/19
広島県	広島県教育委員会事務局文化財課	広島県文化財保護審議会委員	准教授	城市 真理子	2020/1/1	～ 2021/12/31
その他	大竹市総務部企画財政課	大竹市総合戦略推進会議委員	教授	金谷 信子	2020/6/1	～ 2022/5/31

その他	呉市都市部技術監理室	呉市公共事業評価委員会	教授	寺田 英子	2019/1/1	～	2022/12/31
その他	神戸市交通局	神戸市交通事業審議会委員	教授	寺田 英子	2021/7/21	～	2023/6/30
その他	福山市総務局総務部総務課	福山市公立大学法人評価委員会委員	教授	青木 信之	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	ASPUnivNet運営委員	教授	卜部 匡司	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構	ソシオネットワーク戦略研究機構共同研究員	教授	高橋 広雅	2019/4/1	～	2023/3/31
その他	大竹市市民生活部自治振興課	大竹市市民活動助成審査委員	教授	金谷 信子	2020/6/1	～	2022/5/31
その他	弓削商船高等専門学校	運営諮問会議委員	教授	寺田 英子	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	広島大学	広島大学附属高等学校第三者委員会委員	教授	福本 昌之	2021/11/4	～	2022/3/31
その他	岡山県教育委員会	令和3年度WVLコンソーシアム構築支援事業運営指導委員会	教授	福本 昌之	2021/8/19	～	2022/3/31
その他	大分県教育委員会	大分県立高等学校第三者評価委員	教授	福本 昌之	2021/4/23	～	2022/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	ひろしまオペラ・音楽推進委員会委員	准教授	城多 努	2021/4/1	～	2022/5/31
その他	独立行政法人日本芸術文化振興会	芸術文化振興基金運営委員会特別部会委員	准教授	城多 努	2021/7/21	～	2022/3/31
その他	東広島市立美術館協議会	東広島市立美術館協議会委員	准教授	城市 真理子	2020/10/1	～	2022/9/30
その他	三原市教育委員会	三原市企画展覧会運営協議会委員	准教授	城市 真理子	2021/9/1	～	2023/3/31
その他	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館共同研究員	准教授	山口 えり	2019/4/1	～	2022/3/31
その他	公益財団法人広島市文化財団	文化活動助成事業審査委員	准教授	山口 えり	2020/4/13	～	2022/3/31

【情報科学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市企画総務局総務課	住民記録システムの基本設計等業務総合評価審査委員会の特別委員	教授	前田 香織	2022年1月	～ 2022年3月
広島市	広島市企画総務局情報システム課	広島市第5次庁内LAN構築及び運用管理業務総合評価審査委員会	教授	前田 香織	2022/2/20	～ 2022/5/31
広島市	広島市企画総務局	広島市特定個人情報保護評価に係る審査員	教授	前田 香織	2020/5/1	～ 2022/4/30
広島市	広島市教育委員会	広島市立図書館協議会委員	教授	前田 香織	2020/10/1	～ 2022/9/30
広島市	広島市公文書館	広島市公文書館運営委員会委員	教授	前田 香織	2021/12/10	～ 2024/12/9
広島市	広島市市民局市民安全推進課	広島市安全なまちづくり推進協議会委員	教授	高野 知佐	2021/9/1	2023/8/31
広島市	広島市環境局環境保全課	広島市環境影響評価審査会委員	講師	香田 次郎	2019/5/10	～ 2023/5/9
広島県	広島県環境政策課	広島県公害審査会委員	教授	石光 俊介	2021/12/23	2024/12/22
広島県	広島県総務局総務課	広島県個人情報保護審議会委員	教授	前田 香織	2019/4/1	～ 2023/3/31
広島県	広島県商工労働局産業人材課	広島県商工労働局補助金等審査会(イノベーション人材等育成部会)委員及び「広島県未来チャレンジ資金」アドバイザー	教授	前田 香織	2021/3/1	～ 2022/3/31
広島県	広島県デジタル基盤整備課	広島県総務局情報システム公募型プロポーザル選定委員会(団体内統合宛名システム調達)委員	教授	前田 香織	2021/6/4	～ 2021/9/30
広島県	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田 香織	2021/6/1	～ 2023/5/31
国	四国通信総合局	土砂災害の未然防止のためのVHF帯周波数共用型テレメトリーシステムの調査検討会の委員	教授	西 正博	2021/12/1	～ 2023/3/31
国	総務省行政管理局	電子政府推進員	教授	前田 香織	2019/8/1	～ 2021/7/31
国	知的財産高等裁判所	東京高等裁判所、東京地方裁判所及び大阪地方裁判所所属の専門委員	教授	弘中 哲夫	2020/10/1	～ 2022/9/30
国	文部科学省科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター	科学技術専門家ネットワーク専門調査員	准教授	梶山 朋子	2020/4/1	～ 2022/3/31
国	総務省総合通信基盤局	「電波利用料による研究開発等の評価に関する会合」専門評価員	准教授	高橋 賢	2020/11/17	～ 2022/11/30
国	経済産業省産業技術環境局	日本産業標準調査会における臨時委員	教授	田中 宏和	2022年2月	～ 2024年1月
その他	東広島市	東広島市・広島大学Town&Gown構想推進協議会におけるオブザーバー	教授	前田香織	2021/12/21	～ 2023/3/31
その他	日本学術会議	日本学術会議連携携会員	教授	前田 香織	2017/10/2	～ 2023/9/30
その他	広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員	教授	前田 香織	2019/6/1	～ 2021/5/31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	理事	教授	角田 良明	2019/6/19	～ 2021年6月中

その他	一般社団法人ETA-AAL推進協議会	理事	教授	田中 宏和	2019/7/11	～	2023/6/30
その他	千葉大学	テニユアトラック助教中間評価委員	教授	藤坂 尚登	2019/9/13	～	2023/9/13
その他	広島市立沼田高等学校	学校運営協議会委員	教授	永山 忍	2021/4/1	～	2022/3/31
その他	北九州市立大学 環境技術研究所	「超高齢化社会に対応する先制医療工学研究拠点」運営委員会委員	教授	永山 忍	2021/7/1	～	2023/6/30
その他	広島県立安西高等学校	安西高等学校学校運営協議会委員	教授	井上 智生	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	広島県立祇園北高等学校	学校運営協議会委員	教授	井上 智生	2021/4/1	～	2022/3/31
その他	中国経済連合会	人材育成専門部会	教授	井上 智生	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	中国情報通信懇談会	中国情報通信懇談会放送部会幹事	教授	西 正博	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	公益財団法人ひろしま産業振興機構	公益財団法人ひろしま産業振興機構経営委員会委員	教授(社会連携センター長)	田村 慶一	2021/5/18	～	2024年6月理事会まで
その他	公益財団法人広島市みどり生きもの協会	評議員	教授(社会連携センター長)	田村 慶一	2021/6/11	～	2024年6月評議会まで
その他	公益財団法人広島市観光コンベンションビューロー	広島産学公連携MICE推進協議会委員	教授(社会連携センター長)	田村 慶一	2021/11/22	～	2024/6/30
その他	株式会社情報通信総合研究所	メディア融合時代の通信産業研究会委員	教授	前田 香織	2020/7/1	～	2022/3/31
その他	邑南町教育委員会	邑南町立石見中学校改築工事基本設計業務に係るリモート教育アドバイザー	教授	前田 香織	2020/11/25	～	2021/5/31
その他	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所	学術認証運営委員会委員	教授	前田 香織	2021/8/31	～	2022/3/31
その他	一般財団法人 日本規格協会	SMB対応委員会 特別委員	教授	田中 宏和	2021/6/10	～	2022/3/31
その他	一般財団法人 日本規格協会	高齢化社会対応標準化国内委員会 主要メンバー会合WG IEC SyC AAL WG	教授	田中 宏和	2021/6/9	～	2022/3/31
その他	広島大学	GSC広島コンソーシアム会議委員	教授	井上 智生	2021/2/22	～	2023/3/31
その他	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金	公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金理事	教授	前田 香織	2021/6/23	～	2023年6月
その他	九州大学	大学院システム情報科学府博士後課程学生アドバイザー委員	教授	三村 和史	2021/6/23	～	2024/3/31
その他	一般財団法人電子情報通信学会	情報理論とその応用サブソサイエティ委員	教授	三村 和史	2021/6/1	～	2022年6月
その他	広島県立広島井口高等学校	広島県立広島井口学校運営協議会委員	准教授	内田 智之	2020/4/1	～	2022/3/31
その他	専門学校コンピュータ教育学院	教育課程編成委員会委員	准教授	岩根 典之	2021/2/16	～	2023/2/15
その他	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	イノベーション創出教科研究推進事業評議員	准教授	釘宮 章光	2021/3/16	～	2022/3/31

【芸術学部】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市景観審議会委員	教授	吉田 幸弘	2020/10/20	～ 2022/10/19
広島市	広島市経済観光局産業振興部商業振興課	広島市特産品等ブランド化推進審議会委員	教授	吉田 幸弘	2021/4/1	～ 2023/3/31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	広島市都市デザインアドバイザー会議委員	教授	吉田 幸弘	2020/5/26	～ 2022/5/25
広島市	広島市市民局文化スポーツ部文化振興課	広島国際平和文化祭実行委員会専門部会委員	教授	笠原 浩	2021/5/11	～ 実行委員会解散の日
広島市	広島市健康福祉局障害福祉部障害福祉課	広島市障害者施策推進協議会委員	教授	吉田 幸弘	2020/5/29	～ 2022/5/31
広島市	広島市都市整備局都市計画課	「広島市ひろしま街づくりデザイン賞受賞者選考審議会」委員	准教授	中村 圭	2021/9/1	～ 2025/8/31
広島市	広島市教育委員会青少年育成部育成課	令和3年度「青少年からのメッセージ」審査委員	講師	城井 文	2022/4/14	～ 2021/11/20
広島市	経済観光局産業振興部ものづくり支援課	令和3年度第1回ものづくりの底力向上部会におけるデザインセミナー講師	教授	納島 正弘	2021/7/2	
広島市	広島市議会事務局秘書広報室	広島市議会定例会開会案内ポスターデザインの選考に係るアドバイザー	教授	納島 正弘	2021/12/1	～ 2021/12/31
広島市	広島市議会事務局秘書広報室	広島市議会定例会開会案内ポスターデザインの選考に係るアドバイザー	准教授	中村 圭	2021/12/1	～ 2021/12/31
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	第9回新県美展(第73回広島県美術展)審査員	教授	伊東 敏光	2021/6/8	
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	第9回新県美展(第73回広島県美術展)審査員	教授	大塚 智嗣	2021/6/9	
広島県	広島県環境県民局文化芸術課	広島県Web公募美術展審査員	准教授	中村 圭	2021/9/21	～ 2021/10/4
広島県	広島県高等学校美術連盟	第20回広島県高等学校 絵画・彫刻コンクール審査員	教授	伊東 敏光	2021/11/5	

国	法務省広島矯正管区	第39回管内新製品開発コンクール審査員	教授	吉田 幸弘	2021/11/12
国	国土交通省中国地方整備局	太田川河川整備懇談会	教授	吉田 幸弘	2022/3/10 ~ 2023/3/31
その他	NHK広島放送局	日本放送協会中国地方放送番組審議会委員	教授	笠原 浩	2019/5/1 ~ 2021/4/30
その他	公益財団法人広島市文化財団佐伯区民文化センター	「さえきアートキャンパス2021」講師	教授	森永 昌司	2021/8/21、8/22
その他	岩国市市民生活部文化振興課	第65回岩国市美術展覧会に係る審査員	教授	大塚 智嗣	2021/9/17
その他	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会	展覧会委員	教授	納島 正弘	2020/9/10 ~ 2022/6/30
その他	県立広島大学	「地域産業特別講義」講師	教授	納島 正弘	2021/12/10
その他	東広島市教育委員会	第34回東広島市美術展審査員	教授	森永 昌司	2021/12/7
その他	東広島市教育委員会	第34回東広島市美術展審査員	准教授	田中 圭介	2021/12/7
その他	株式会社ホキ美術館	「一般財団法人はなう美術振興財団」理事	准教授	石黒 賢一郎	2021/4/15 ~ 2022/3/31
その他	東広島市教育委員会	東広島市立美術館美術品等収集委員会委員	准教授	石松 紀子	2020/12/1 ~ 2022/11/30
その他	福岡県美術展覧会実行委員会	第76回福岡県美術展覧会審査委員	教授	伊東 敏光	2021/8/17、2021/8/18
その他	公益財団法人広島市文化財団広島市祇園公民館	祇園公民館ロゴマーク選考委員	教授	納島 正弘	2021/10/11 ~ 2022/1/31
その他	株式会社わんおぼ	フードロス削減啓発ポスター デザイン選考員	准教授	石黒 賢一郎	2021/12/9
その他	NHK文化センター広島支社	「油彩画～基礎から学ぶ油絵のセオリー～」講師	教授	森永 昌司	2021/4/1 ~ 2022/3/31
その他	広島県高等学校工業クラブ連盟	「広島県高等学校IDコンペ2022」審査員	教授	吉田 幸弘	2022/1/14、2022/1/29
その他	福山電業株式会社	福山市商業施設リノベーション再生事業におけるアート・プログラムの企画・運営ディレクション業務	講師	菅 亮平	2021/10/1 ~ 2022/9/30

【平和研究所】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市経済観光局観光政策部	ピースツーリズム推進懇談会委員	所長	大芝 亮	2021/4/1	2023/3/31
広島市	広島市企画総務局企画調整部政策企画課	広島市の拠点性強化に向けた懇話会ワーキンググループ会議	教授	水本 和実	2020/4/14	2022/3/31
広島市	広島市市民局国際平和推進部平和推進課	平和宣言に関する懇談会	教授	水本 和実	2021/5/17	2022/3/31
広島市	教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際平和と未来会議実行委員会委員	准教授	竹本 真希子	2020/4/1	2023/3/31
広島市	教育委員会学校教育部指導第一課	平和教育プログラムに係る改訂会議構成員	教授	水本 和実	2021/5/25	2021/5/25
その他	公益財団法人日本国際問題研究所軍縮・科学技術センター	広島県委託「ひろしまレポート作成事業」委員	教授	水本 和実	2021/12/1	2022/3/31
その他	財団法人放射線影響研究所	広島地元連絡協議会委員	所長	大芝 亮	2021/4/1	2023/3/31
その他	公益財団法人広島平和文化センター	理事	所長	大芝 亮	2019/4/1	2023年6月評議会まで
その他	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構	学位審査会審査委員	所長	大芝 亮	2021/4/15	2021/6/30
その他	NHK国際放送局	NHK国際放送番組審議会委員	副所長	永井 均	2021/4/1	2023/3/31
その他	広島市環境局環境政策課	広島市環境審議会委員	教授	沖村 理史	2021/7/1	2023/6/30
その他	島根県環境生活部環境政策課環境企画グループ	島根県環境審議会委員	教授	沖村 理史	2020/7/1	2022/6/30
その他	自治労広島県本部	広島地方自治研究センター理事	准教授	河上 暁弘	2021/2/1	2022/1/31

【附属施設・事務局】

区分	機関名	委員会名及び役職名	職	氏名	開始	終了
広島市	広島市教育委員会青少年育成部育成課	青少年国際未来会議2021実行委員会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2021/4/1	2022/3/31
広島県	広島県地域政策局国際課地域国際化グループ	広島県留学生・大学グローバル化研究会委員	国際交流推進センター長	松本 良徳	2021/4/1	2022/3/31
広島県	へいわ創造機構ひろしま	幹事	事務局次長	山藤 貞浩	2021/4/1	2022/3/31
その他	海田町まちづくり推進委員会	委員	理事・事務局長	天野 博司	2021/11/1	2023/3/31

その他	柳井市経済部商工観光課	柳井市観光振興ビジョン進捗管理会議委員	社会連携 センター 特任教授	國本 善平	2021/3/20	～	2023/3/19
その他	大塚公民館運営委員会	委員	事務局 次長	山藤 貞浩	2021/4/1	～	2023/3/31
その他	大塚伴南ふれあい祭り実行委員会	委員	事務局 次長	山藤 貞浩	2021/4/1	～	2022/3/31
その他	安佐南警察署協議会	委員	学生支 援室長	岡本 恒一郎	2021/4/1	～	2022/3/31

(3) 高大連携

ア 教育ネットワーク中国における高大連携（2021年度）

◆中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」（三次地区、安芸高田地区、庄原地区）

- 講座名 「ハリウッドにおける 中国武術—摩擦と融合」
- 参加者 吉田高校・向原高校の生徒22名（1年生8名、2年生14名）
- 日時 2021年10月23日(土)
10:00～12:05
- 実施場所 オンライン実施
- 内容 ブルース・リーのハリウッドにおける成功によって中国武術は広く世界に知られるようになったが、その間にあった映画製作における文化の摩擦、融合そして中国武術が従来のハリウッドの映画スタイルを大きく変えたことはあまり知られていない。中国武術はハリウッドの既成概念をどのように変えたのか。そして、今も続いているその影響について考える。

イ 広島市教育委員会との高大連携講座（2021年度）

◆芸術専門講座

- 講座名 「絹による日本画制作」
- 参加者 基町高校創造表現コース 生徒12名（1年生5名、2年生7名）、舟入高校生徒2名（1年生2名）、教諭1名
- 日時 2021年10月16日(土)、17日(日)の2日間
10:00～17:00
- 実施場所 広島市立大学
- 内容 絹を使用し、各種技法（裏彩色、金属箔等）を用いた日本画制作（4号程度の小品）を行う。日本画の膠（にかわ）による彩色は、紙に描くだけでなく様々な基底材が使用できる。今回は、絹に描くことで得られる効果を体験し、日本画材料の魅力を学ぶ。

◆国際講座

- 講座名 「21世紀の新型グローバル時代と国際ビジネス」
- 参加者 15名（基町高校 2人、舟入高校 1人、沼田高校 4人、美鈴が丘高校 4人、広島中等教育学校 4人）
- 日時 2021年11月20日(土) 13:30～16:30
- 実施場所 広島市立舟入高等学校
- 内容 帝国時代に遡って、現在に至るまでの世界秩序はどう変化していたか。我々の生活および世界の人々にどんな影響を与えたのか。その問いを国際ビジネスの視野、とりわけ「セミグローバル化時代」や「CAGE」（文化的、制度的、地理的、経済的）による国家間の隔たりを切り口として学んでいく。

ウ 高校での模擬授業の開催（2021年度）

実施日		高校名	内 容		対象者	人数 (人)	担当講師
月	日						
6	18	海田高校	模擬授業	国際	2年生	12	武田 悠
6	24	進徳女子高校	模擬授業	国際	3年生	17	山根 史博
7	14	美鈴が丘高校	模擬授業	国際	2年生	27	寺井 里沙
				情報		17	桑田 精一
7	14	基町高校	模擬授業	芸術	2年生	37	伊東 敏光
7	15	山口県立熊毛高校	オンライン模擬授業	国際	1.2年生	9	吉田 晴彦
8	3	山口県立 下関中等教育学校	探究活動報告への助言 (オンライン大学ゼミ訪問)	国際	2年生	5	井上 泰浩
9	2	賀茂高校	オンライン模擬授業	情報	1年生	23	常磐 達司
9	3	安芸府中高校	オンライン模擬授業	情報	1.2年生	53	下川 文明
9	30	高陽高校	オンライン模擬授業	国際	1年生	14	原 雅樹
10	7	広陵高校	オンライン模擬授業	国際	1年生	22	飯島 典子
10	13	呉宮原高校	オンライン模擬授業	国際	1.2年生	26	吉田 晴彦
				情報		35	高野 知佐
10	27	尾道高校	オンライン模擬授業	芸術	2年生	9	石黒 賢一郎
10	28	安芸南高校	オンライン模擬授業	情報	2年生	25	李 仕剛
11	2	祇園北高校	模擬授業	情報	1年生	36	大田 知行
11	9						
11	10	五日市高校	模擬授業	情報	1.2年生	25	川端 英之
				芸術		29	原 崇浩
11	15	沼田高校	模擬授業	情報	1.2年生	29	梶山 朋子
11	18	山口県立華陵高校	オンライン模擬授業	国際	1.2年生	46	古澤 嘉朗
11	20	舟入高校	高大連携講座	国際	1.2.3年生	15	アリフ, ヌルハイザル・ アザム
11	25	広陵高校	模擬授業	国際	2年生	17	目黒 紀夫
12	2	愛媛県立西条高校	オンライン模擬授業	国際	2年生	33	城多 努
2	16	大崎海星高校	オンライン模擬授業	情報	1.2年生	5	内田 智之
2	17	山口県立柳井高校	オンライン模擬授業	情報	2年生	17	内田 智之

(4) その他の連携 (2022年4月1日時点)

機関名	締結年月日	内容	備考
株式会社広島銀行	2005年 12月20日	相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。）	広島市立大学教育ローンに関する覚書（2007年10月31日締結）
公益財団法人広島 平和文化センター	2008年 9月30日 2019年2月 21日	・相互協力に関する協定（具体的案件及び内容は、協議して定める。） ・包括的連携協力に関する協定（相互の有機的連携等。定期的に連絡調整。）	財団法人広島平和文化センターが所管する「ヒロシマ・ピース・ボランティアを対象とした広島市立大学の授業公開等に係る覚書」（2004年9月30日締結）
広島修道大学	2009年 2月19日	・学生の教育に関すること ・学生の諸活動の支援に関すること ・学術研究に関すること ・地域貢献に関すること ・その他両者が協議して必要と認めること	
広島東洋カープ	2009年 3月10日 2019年 11月8日	国際学部「企業インターンシップ」に関する覚書 全学を対象とした「インターンシップ」に関する覚書	
広島大学	2009年 3月16日	・共同の研究プロジェクト ・教職員の交流 ・学生の交流 ・施設の利用 ・その他必要な事項	
広島市安佐南区	2010年 9月27日	・まちづくりの推進 ・教育・文化・スポーツの振興及び健康づくりの推進 ・人材の育成 ・その他両者が協議して必要と認める分野	
日本公認会計士協会 中国会	2012年 7月31日	・双方が主催する公開セミナー等への参加 ・本学が開講する会計及び監査関連講座への公認会計士協会の講師派遣 ・定期的な相互情報交換や意見交換	
広島大学、広島工 業大学、広島国際 大学	2012年 9月21日	大学間連携共同教育推進事業の共同実施に関する協定	臨床情報医工学プログラムの共同実施
長崎大学核兵器廃 絶研究センター	2012年 11月19日	・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する情報の調査、収集及び分析 ・核兵器廃絶、核軍縮及び核不拡散に関する研究会、シンポジウム等の実施 ・収集、分析及び蓄積した文献、資料、電子情報等の活用 ・研究者の人的交流 ・その他本協定の目的を達成するために必要な事項	

機関名	締結年月日	内容	備考
横浜市立大学ほか 13校	2014年 4月1日	就職支援パートナーシップ制度における パートナー大学での支援内容 ・就職支援 ・就職関連資料の閲覧 ・就職ラウンジの利用 山梨大学、首都大学東京（現東京都立大 学）の加入（2018年8月1日） 長野県立大学の加入（2019年10月1日） 山梨県立大学の加入（2019年12月1日） 信州大学の脱退（2020年4月1日）	（協定締結大学、本学を含む 全14校） 横浜市立大学、北九州市立 大学、静岡県立大学、兵庫 県立大学、広島市立大学、 大阪市立大学、福井県立大 学、都留文科大学、国際教 養大学、名古屋市立大学、 山梨大学、東京都立大学、 長野県立大学、山梨県立大 学
呉信用金庫	2014年 11月11日	・地域経済・地域企業の活性化に関する事 項 ・中小企業等の新分野進出・新規事業創出 の支援に関する事項 ・中小企業等の技術および経営管理の相談 や共同事業に関する事項 ・その他前条の目的に沿った諸課題に関する 事項	
広島修道大学商学 部	2015年 3月19日	大学連携による新たな教育プログラム開 発・実施事業	代表校：広島修道大学商学 部 連携校：広島市立大学国際 学部
世宗研究所	2016年 2月17日	相互協力に関する協定 ・国際会議の共同開催 ・研究調査及び学術交流 ・研究者の人的交流 ・その他協定の目的を達成するために必要 な事項	
国立ソウル大学校 統一平和研究院	2019年 1月10日	・学術協力及び研究協力 ・学術資料、刊行物等の情報交換における 協力	
特定非営利活動法 人広島横川スポー ツ・カルチャーク ラブ	2019年 3月20日	相互協力に関する協定 ・横川地域における学術・文化・芸術の振 興等 ・横川地域での教職員・学生の活動 ・スポーツクラブの活動等	
株式会社リバネス	2021年 10月26日	L-Radの利用に関する協定 ・外部資金獲得機会の創出 ・「科学技術の発展と地球貢献を実現する」 研究の推進	L-Rad とは株式会社リバネ スが運営する未活用研究デ ータベースシステム

7 国際交流

(1) 海外学術交流協定校（2022年4月1日時点）

計23大学

	国名	締結年月日	主な交流内容
梨花女子大学校	大韓民国	2009年3月4日	教員・学生交流 共同研究等
西京大学校	大韓民国	2005年3月15日	
慶北国立大学校	大韓民国	2020年12月25日	
国際関係学院	中華人民共和国	2008年4月4日	
西南大学	中華人民共和国	2006年11月17日	
上海大学	中華人民共和国	2018年11月30日	
蘇州大学	中華人民共和国	2019年3月20日	
ハワイ大学マノア校	アメリカ合衆国	2001年1月11日	
ベルリン・バイセンゼー芸術大学	ドイツ連邦共和国	2005年12月9日	
アラヌス大学	ドイツ連邦共和国	2005年10月12日	
ハノーバー専科大学	ドイツ連邦共和国	1997年5月30日	
ヴァインガルテン教育大学	ドイツ連邦共和国	2017年12月1日	
ベルリン・フンボルト大学 (学部間協定)	ドイツ連邦共和国	2013年9月24日	
オルレアン大学	フランス共和国	2003年6月4日	
レンヌ第2大学	フランス共和国	2011年10月4日	
マレーシア科学大学	マレーシア	2017年12月21日	
シラパコーン大学	タイ	2020年9月25日	
エミリー・カー美術デザイン大学	カナダ	2018年1月15日	
ケベック大学モントリオール校	カナダ	2018年6月4日	
コンコルディア大学	カナダ	2018年6月4日	
ブラッドフォード大学	英国	2018年2月1日	
国連平和大学	コスタリカ共和国	2012年11月6日	
モハメド五世大学	モロッコ王国	2000年12月12日	

(2) 国際交流事業実績（2021年度）

事業名	日程	内容	人員等
中国・国際関係学院との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している国際関係学院との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
中国・西南大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している西南大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
中国・上海大学との学生交流	学生交換 中止	学生交流に関する覚書を締結している上海大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・西京大学校との学術交流	学生受入 学生派遣 中止	学術交流協定を締結している西京大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：2名
韓国・梨花女子大学校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している梨花女子大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
韓国・慶北国立大学校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
マレーシア・マレーシア科学大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ハノーバー専科大学との学術交流	学生受入（オンライン） 学生派遣	学術交流協定を締結しているハノーバー専科大学との学術交流	学生受入：5名 (オンライン) 学生派遣：3名
ドイツ・ベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているベルリン・バイセンゼー芸術大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・アラヌス大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているアラヌス大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名

事業名	日程	内容	人員等
ドイツ・フンボルト大学との学術交流（学部間）	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているフンボルト大学との学術交流（情報科学部）	学生受入：0名 学生派遣：0名
ドイツ・ヴァインガルテン教育大学との学術交流（学部間）	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているヴァインガルテン教育大学との学術交流（国際学部）	学生受入：0名 学生派遣：0名
フランス・オルレアン大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているオルレアン大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
フランス・レンヌ第2大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているレンヌ第2大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているハワイ大学マノア校との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
カナダ・エミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生交換 中止	学術交流協定を締結しているエミリー・カー美術デザイン大学との学術交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
短期語学留学/ハワイ大学マノア校	学生派遣 中止	アメリカ合衆国・ハワイ大学マノア校での英語文化研修	学生派遣：0名
短期語学留学/オルレアン大学	学生派遣 中止	フランス・オルレアン大学での短期語学研修	学生派遣：0名
短期語学留学/西南大学	学生派遣 中止	中国・西南大学での短期語学研修	学生派遣：0名
短期語学留学/モスクワ大学	学生派遣 中止	ロシア・モスクワ大学での短期語学研修（隔年実施）	学生派遣：0名
短期語学留学/慶北国立大学校サマースクール	学生派遣（オンライン）	韓国・慶北国立大学校での短期語学・文化研修	学生派遣：7名 （オンライン）
交流プログラム/米国サンフランシスコ・セント・メアリーズ・カレッジの学生との交流	学生派遣 中止	セント・メアリーズ・カレッジでの授業参加、学生交流やホームステイの実施	学生派遣：0名
交流プログラム/シンガポール・シンガポール国立大学の学生との交流	学生受入 中止 学生派遣 中止	シンガポール国立大学との学生交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
交流プログラム/マレーシア・マレーシア科学大学の学生との交流	学生受入 中止 学生派遣 中止	学術交流協定を締結しているマレーシア科学大学との学生交流	学生受入：0名 学生派遣：0名
国連平和大学「夏季平和基礎コース」への派遣	学生派遣 中止	学術交流協定を締結している国連平和大学「夏季平和基礎コース」への参加	学生派遣：0名
台湾・国立台中科技大学からの学生受入	学生受入 中止	国立台中科技大学との学生交流	学生受入：0名
韓国・慶北国立大学校からの学生受入れ	学生受入 中止	学術交流協定を締結している慶北国立大学校との学生交流	学生受入：0名
夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE 2021」の開催	オンラインで実施	戦争と平和の本質を理解し、同時にグローバル化の時代における世界平和に関するより現代的な問題を探求することを目的に、国内外の大学生を対象として夏期集中講座を開催する。	国内外（学外）からの受講者39名、 本学学生10名 計49名

(3) オンラインプログラムの実績（2021年度）

国名	事業名	参加人数
大韓民国	慶北国立大学校とのオンライン交流	8名（11）
タイ	シラパコーン大学とのオンライン交流	18名（39）
マレーシア	マレーシア科学大学とのオンライン交流	7名（10）
マレーシア	マレーシア科学大学によるオンライン留学プログラム	3名
台湾	台中科技大学とのオンライン交流	17名（25）
ドイツ	ハノーバー専科大学第4学部ICMプログラム	1名
アメリカ	セント・メアリーズ・カレッジとのオンライン交流	36名（34）
コスタリカ	国連平和大学オンライン平和学基礎コース	1名

※（ ）内は相手大学の参加学生数